

令和7年度 事業報告書 下京いきいき市民活動センター

【指定管理者:MACHISHIGOTO 合同会社】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 10 名（常勤：3 名、非常勤 7 名）

【人材育成の取組】

- ・ 公共施設の管理運営に関する基本業務について、OJT（職場内訓練）を実施し、各スタッフが適切に業務を遂行できる体制を整えています。
- ・ 全体研修を通して、市民活動センターのスタッフとしての支援力向上やノウハウ共有などを行っています。
- ・ 定期的な面談を実施し、個々のスキルアップやキャリア形成を支援するとともに、ワークライフバランスの状況確認を行っています。
- ・ 月 1 回の全スタッフ参加による定例会議を実施し、施設運営上の課題や事業進捗を共有しています。現場の問題を早期に共有、解消できる仕組みを構築し、円滑な運営に努めています。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
305	328	357	359	349	387	447	393	351	352	358	397

(年間)

4383 件（前年度比 108%）

11,299 時間（前年度比 117%）

イ 利用状況

- ・ 利用件数、利用時間数ともに昨年度を上回る実績となりました。特に、10 月は前年度と比べて、143 件、338 時間の大幅な増加を記録しています。
- ・ 令和 7 年度より実施した 3 階会議室(会議室 3 および和室)の利用用途改訂が、全体の数値向上に大きく寄与しています。音楽利用ニーズに対応し、楽器の種類に制限を設けつつも 3 階全室での演奏を可能としたことで、各部屋の稼働率が上昇しました。
- ・ 集会室の土日利用については、3 ヶ月前の予約開始数週間で終日満室となる日程もあります。また、土日の日中(10 時～17 時)の時間帯は、他のお部屋においても予約が集中する傾向が見られます。
- ・ 一方、平日については、稼働率の低い曜日や時間帯があります。特に 17 時以降は空室が発生していることから、今後はターゲットとなる利用層を見極め、広報していく必要があります。
- ・ 新規団体登録は、月平均 13 件の申請がありました。既存利用団体からの紹介や、施設掲示板などをきっかけとした申請が主な要因となっています。

ウ 利用促進に向けた取組

- ・歩道に面した掲示板において、施設案内やイベント情報を継続的に発信し、通行者への認知度向上を図りました。
- ・新規登録者や来館者に対し、認知経路に関してお尋ねをし、得られた回答に基づき、効果的な周知方法の検討に努めました。

エ その他

サロン利用人数(述べ) 434 人(昨年度 361 人)

- ・常駐スタッフとの相談や交流を目的とした来館者も見受けられ、昨年度を上回る来館につながりました。
- ・定期的に利用する高齢者グループに加え、芸術大学の学生や親子連れなど、幅広い世代の来館が段階的に増加しています。
- ・施設の立地が分かりにくいという課題に対して、外部からの視認性を高める工夫が求められます。今後は、看板の設置や掲示板の充実を図り、日常的に利用可能な施設であることをより広く周知していきます。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ・ホームページや SNS (Facebook、Instagram) を活用し、実施事業の報告や貸館情報を定期的に発信しました。
- ・センターで展示を行う芸術大学の学生や利用団体へのインタビュー記事を掲載しました。単なる情報の羅列ではなく、活動の背景や魅力を伝えることで、読者の関心を高め、来館や活動参加を促す工夫を行いました。
- ・地域の行事や下京区内で開催されたイベントに関する情報を発信しました。

イ 取組の効果

- ・掲載したイベント情報や事業報告に対し、SNS 等を通じて「次回は参加したい」といった参加意欲を示す反応が寄せられました。

(4) 管理運営

- ・法定点検としてある、消防用設備点検、空調保守点検、建築設備点検、定期清掃などは業者に依頼し、期日までに実施をしました。
- ・上記の法定点検以外にも、日常的に施設の維持管理を定期的に行いました。
- ・防火管理者の選定、消防訓練など緊急時の対応を検討しました。
- ・その他、備品等の保守管理、保安警備業務等を実施しました。

(5) その他

- ・今年度も引き続き、近隣施設(デイサービス、包括支援センター、青少年活動センター、児童館)との連携を維持し、円滑な施設運営を図りました。
- ・地元の自治連合会や下京区役所と定期的な協議や連絡の場を持ち、情報共有を行い、地域の状況を理解した運営に努めました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】若者の力・アートの力を活用した地域課題解決の創造・伴走支援事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：① 令和7年4月～令和8年3月
② 令和7年5月～令和8年3月
- 2 開催場所：下京いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：①相談件数(延べ) 68件 / ②支援企画：3事例
- 4 協力団体等：京都市立芸術大学、下京青少年活動センター、七条第三児童館
- 5 ①予算：925,000円 / 決算：911,419円
②予算：965,000円 / 決算：926,215円

1 事業内容

① 若者による地域活動の相談窓口の開設・伴走支援

今年度は地域活動に関する相談 68 件に対応し、以下の 3 件を重点事例として伴走支援しました。

第一に、京都第 1 号のコミュニティナースの活動拠点づくりを支援しました。移動販売の場を交流拠点として提案し、ハンドトリートメントを通じた住民との関係構築を全 7 回継続。地域に溶け込む基盤を構築しました。

第二に、キッチンカーを活用した出張相談窓口を京都市立芸術大学内に開設しました。シニアグループ「かもちゃんクラブ」が参画し、手料理や箸袋制作を通じて学生との多世代交流を実現しました。

第三に、商店街と児童館、芸大生が連携した「七条空想プレイハウス」を開催しました。まちあるきや空き家活用案の検討を通じ、子どもの創造力を地域資源に結びつける活動を展開しました。

② 芸大・美高生による地域アートプロジェクトの促進

京都市立芸術大学の学生・教員と連携し、地域資源を活かしたアートプロジェクトのコーディネートを行いました。

主な取組として、第一に彫刻専攻院生による展示「猫を探しています」を支援しました。センター内のロビー空間を活用し、地域から着想を得た作品を展示することで、住民が日常的に芸術に触れる機会を創出しました。

第二に、卒業制作「ふたつの居場所」において、学生と地元の喫茶店 2 軒を仲介しました。店内での音声収録や展示のプロセスをサポートし、地域の日常をアートとして再構成する活動を後押ししました。

第三に、油画専攻による「街の中の風景画展」を実施しました。まちあるきを通じて地域の歴史や文化を反映した作品を展示し、住民が馴染みのある風景を新たな視点で捉え直す場を提供しました。

2 準備段階での工夫

京都市立芸術大学の教授や下京青少年活動センターのユースワーカーなど、周辺施設の専門職と継続的な情報交換を行いました。その結果、各施設からセンターへ相談者を繋いでいただく事例や、外部評価を通じた信頼の広がりにより、新規の相談や照会につながるケースが見受けられました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・若者による地域活動の事例を4件以上創出することを目標に設定しました。
- ・活動系経験の少ない若者が直面する心理的、実務的な障壁を緩和することを目指しました。センターによる伴走型の相談支援を行うことで、活動着手へのハードルを下げ、円滑な実施を促すことを意図しました。

(2) 事業実施による目標の達成度

①では、これまで地域との接点が少なかった学生がセンターでの取り組みを通して、地域住民や関係機関との連携体制を構築し、地域活動における第一歩を踏み出すことができました。若者による主体的な活動がきっかけとなり、その実施過程において、多様な世代との交流が生まれました。

また、活動継続を通じて、対象者(子どもや高齢者)に変化がみられる様子がありました。具体的には、今まで口数が少なかった独居高齢者が積極的に場に参加し、会話する様子や控えめだった子どもたちが積極的に自分たちの意見やアイデアを出し合い参加する様子などがみられました。

②では、展示機関中、出展した学生や教員が来館者に対して自律的に作品解説を行う姿が確認されました。アートを媒介としたことで、日常的には接点の少ない層同士に自然な会話や交流が誘発され、コミュニケーションの場を創出することができました。展示に携わった教員および学生からは、センターの相談しやすい支援環境や地域住民に直接作品を公開できる点について、好評です。

また、作品を鑑賞した地域住民からは、作品に対する感想が寄せられました。

4 今後の抱負

単発的なイベントとして実施するものがある一方で、継続的な活動へとつなげていくためのサポートを検討していく必要があります。特に学生においては、大学の卒業に伴い活動一区切りがつくケースが多くあります。その中で、地域における活動をどのような形で残していくのか、あるいは一過性のものとして完結させるのか、地域と若者の双方にとって最善な在り方を検討していく必要があります。

① コミュニティナースの活動拠点づくり支援



② 京都市立芸術大学 作品展 2026 「ふたつの居場所-まちに重なる音-」



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】一人ひとりがまちの主役になる「ともにすごすツアー」を通じた市民エンパワメント事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：①令和7年6月14日 / 11月30日 / 12月7日（計3回）
②令和7年7月～令和8年3月
- 2 開催場所：①下京区各所 ②下京いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：①述べ21名 ②ポッドキャストフォロワー30名
- 4 協力団体等：七条中央サービス会、崇仁デイサービスうるおい、崇仁児童館
- 5 ①予算：1,145,000円 / 決算：1,140,660円
②予算：535,000円 / 決算：5165,489円

1 事業内容

①地域の一人ひとりが主役になる「ともにすごすツアー」の実施

個人の視点や哲学に共感し、地域の新たな魅力に触れるマイクロツアープログラムを実施しました。

第一に、「商店街の表裏」では、ボランティアなどで商店街に長く関わる方と商店街を巡りました。買い歩きや仕事体験を通じ、参加者は商店街の人の温かさや多面的な魅力に触れました。

第二に、「樹木の記憶」では、アーティストと崇仁地域の樹木を巡るフィールドツアーを行いました。挿し木や地植えされた樹木一本一本に込められた、住民の想いや記憶に想像を巡らせました。

第三に、「牛すじの煮ごり」では、アーティストと共に地域の伝統料理を再現しました。調理体験を通じて、食文化の背景にある当時の暮らしや人々の心情への理解を深める機会となりました。

②プロジェクトに共感するコミュニティの形成

「ともにすごすツアー」を基軸に、個人の生活や価値観を緩やかに開示し合える関係性の構築を目指しました。

本年度は、副業型研究員 EKKYO と連携したオンラインミーティング「朝からともすご研究会」を計8回開催し、居住者の価値観を表出させる「仕掛け」について検討を重ねました。その成果として、京都駅東部エリアの日常の声を届けるポッドキャスト番組「ハイパーローカルラヂオ」を制作。近隣4施設に寄せられた意見の紹介や、地域住民をゲストに招いた収録を行いました。

7月から3月にかけて計17本を配信し、延べ再生数227回を記録。メディア発信を通じて、地域の多様な視点を可視化する試みを展開しました。

2 準備段階での工夫

①では、個人の視点や大切にされている考えがツアーに反映されるよう、事前の対話を重ねました。これまで継続してきた取り組みであることも踏まえ、企画者本人の主体性を

大切にしながら準備を進めました。

②では、地域の方々の声を幅広く集めるため、青少年活動センター、デイサービス、児童館など、さまざまな団体と協力体制を整えました。準備の過程では、都度、コミュニケーションをとり、進めました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・ ツアープログラムの実施件数 5 件、およびコミュニティ参加者数 50 名を目標として設定しました。
- ・ 企画者個人の視点による、地域の良さや魅力を知り、参加者の共感を得る取り組みを目指しました。単なる一時的なイベントに留めず、終了後も継続的な関心を維持し、地域への再訪を促すなどのきっかけとなる機会を創出することを目的としました。

(2) 事業実施による目標の達成度

①では、プログラム実施数 3 件(目標 5 件)、参加者数 21 名(目標 50 名)となり、定量的な目標については、未達成となりました。要因として、準備段階での広報が十分にできなかったこと、新しい企画者の発掘ができなかったことが挙げられます。

一方、当初の目的であった、「企画者個人の視点を通じた共感の醸成」については、新聞等のメディア掲載による周知効果や参加者の高い満足度、さらにツアー実施後の再訪事例が確認されるなど、質的な側面にびては、一定の成果が得られました。

参加者からは、大型店舗では得られない人の温かさを実感したという声や、伝統的な食文化に込められた想いに触れ、地域の歴史を迫体験する貴重な機会となりました。また、子どもから大人まで幅広い世代が参加し、交流が生まれました。

②では、毎月 100 件を超えるアンケート回答が寄せられ、想定を上回る規模で地域住民の参画を得ることができました。デイサービスを利用する高齢者から児童館を訪れる児童まで、幅広い世代が自信の生活や価値観を言語化、表現する機会を創出しました。

また、アンケート記入場所や掲示すぺー図が、地域住民同士の自然な対話や交流を誘発する「場」として機能しました。

4 今後の抱負

本年度の取り組みを通じて、共感に基づく場やコミュニケーションの場を創出することはできましたが、地域や個人に対する持続的な行動変容や社会的な波及効果という点では、さらなる進化の余地があると考えています。

事業における課題を整理し、企画者が自律的に活動を継続できるような、持続可能な仕組みの構築を検討していきます。

① 「牛すじ煮ごり、つくりますか？」ツアーの様子



① 食べておいしい、喋ってあったかい 商店街の裏表



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ダイバーシティを学び・表現するための多世代交流拠点化事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：①令和7年5月～令和8年3月(随時)
②令和7年5月～令和8年3月(随時)
- 2 開催場所：ふれあいサロン、下京いきいき市民活動センター 1階ロビー
- 3 参加人数：来館者述べ 431名
そもそもケンキュウカイ：9名(8月7日開催)
夏休みこども体験ワンダーDAY：20名(8月21日開催)
みんなのあそびば実験室：27名(1月19日開催)
うたごえ広場：173名(9回開催)
- 4 協力団体等：下京東部地域包括支援センター
- 5 ①予算：725,000円 / 決算：624,960円
②予算：455,000円 / 決算：444,786円

1 事業内容

① 誰もが気軽に立ち寄れる空間づくり

ふれあいサロンを多世代が気軽に利用できる場とするため、環境整備と来訪促進を継続的に実施しました。

施設管理面では、日常の清掃や樹木の伐採に加え、不具合のあった扉の修繕を行い、安全で快適な空間を維持しました。活用促進面では、シニア女性の運動サークル「かもちゃんクラブ」の活動を軸に、多世代交流を促進しました。ラジオ体操や折り紙など、共に手やからを動かせるプログラムに京都市立芸術大学の学生らの参加を呼びかけた結果、継続的に1～2名の学生が加わるようになりました。こうした取り組みにより、サロンにおいて世代を超えた交流が日常的に行われる基盤を整えました。

② 地域の多様な声を活かした取り組みを生み出す場づくり

ふれあいサロンやロビーを活用し、多様な声の収集と課題解決に繋がる場づくりに取り組みました。

第一に、哲学対話の手法を用いた「そもそもケンキュウカイ」を開催しました。「はたらく」をテーマに社会人と大学生が対話し、新規層の来館を促しました。

第二に、「夏休みこども体験ワンダーDAY」では、落語やマジックなど5つの利用団体が講師となり、小学生向けの体験型ワークショップを実施しました。

第三に、「みんなのあそびば実験室」を実施し、音楽やゲームを通じて、通行人がふらりと立ち寄り交流できる空間を創出しました。

第四に、「うたごえ広場」では楽器演奏を通じた交流を図り、デイサービスへの訪問演奏等を通じて地域への活動還元を行いました。

2 準備段階での工夫

センター利用団体が協力するイベントにおいて、事業趣旨への理解を求め、企画段階から主体的に参画いただけるよう、うちあわせを重ねました。

広報チラシを作成し、下京区内の飲食店や諸施設へ配架依頼しました。直接訪問による対面での依頼を積極的に行い、各施設との関係性を深め、地域に根ざした周知活動に努めました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・サロン利用者 700 名、およびイベント開催数 10 件以上を目標に設定しました。
- ・ふれあいサロンやロビーの効果的な活用を通じて、子どもから高齢者まで多様な層が集い、交流を深める場を目指しました。どちらかが、与える / 与えられるといった固定的な役割に留まらず、参加者一人ひとりが主体となり、共に活動を創出することを目的としました。

(2) 事業実施による目標の達成度

①では、昨年度比で 100 名以上、来館者増でしたが、目標人数には至りませんでした。ただ、シニア層の活動に大学生が参画したり、乳幼児を連れた近隣世帯が日常的に来館したりするなど、多世代が活用できる施設としての認知が少しずつ広がっています。

②では、センター利用団体に対して日々の活動を活かす機会を共同で実施したことで、各団体の意欲向上を促すことができました。特に、これまで新たな企画への着手を検討していた層に対し、実践の場を提供できました。さらに、通常は接点の少ない利用団体同士が、イベント運営を通じて対面・交流する機会を創出し、団体間の相互理解にも繋がりました。

4 今後の抱負

今年度の目標であった来館者数 700 名には届きませんでした。当サロンは立地としてわかりにくいため、初めて訪れる方でも迷わず来館できるような仕掛けづくりや、既存利用者を介した口コミによる広報など、周知方法を検討していく必要があります。

② そもそもケンキュウカイ



② 夏休み子ども体験ワンダーDAY！



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

- 1 利用料金の収入実績
 令和 7 年度実績：7,509,280 円（前年度比 118%）
 内訳 会議室等：7,429,600 円
 附属設備：79,680 円 ※自主事業分を除く
- 2 管理運営に係る経費の収支決算
 別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

- 1 利用者満足度の把握状況
 - (1) 全センター共通窓口サービス調査
 【実施時期】令和 7 年 1 1 月実施
 【調査項目】窓口サービス
 - (2) センター独自アンケート
 事業実施時にアンケートを実施
- 2 利用者満足度把握の結果
 - (1) 全センター共通窓口サービス

	満足	普通	不満	無回答
① 案内表示の わかりやすさ	73.3%	25.7%	0%	1%
② 挨拶や声かけ	82.2%	16.8%	0%	1%
③ 身だしなみ	83.2%	14.9%	1%	1%
④ 表情や態度	90.1%	6.9%	1%	2%
⑤ 言葉づかいや 説明の丁寧さ	90.1%	8.9%	0%	1%
⑥ 説明の わかりやすさ	84.2%	14.9%	0%	1%
⑦ 整理整頓	79.2%	18.8%	0%	2%

- (2) センター独自アンケート
 - ・特になし
- 3 意見等への主な対応状況
 - ・「キャンセルしても返金されない。以前に比べて料金が高くなったので、条件付きで返金してほしい」という声がありました。こちらは、京都市の条例により対応することができないことを回答しました。
 - ・網戸の清掃と取り替えが必要であるとコメントをいただきました。こちらは、年末の大掃除の際やスタッフの余力があるタイミングで少しずつですが、実施していることを回答しました。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ **取り組んだ事業等の総括を記載してください。**

貸館業務については、昨年度と比較して利用件数が大幅に増加しました。これは昨年度初頭に実施した利用用途の改定が、利用促進に大きく寄与したものと分析しています。今後も利用者のニーズや実情を把握し、柔軟な運用・改善に努めてまいります。

各事業を通じて、子どもから高齢者まで多世代にわたる交流の促進や、地域活動に参画する契機を創出することができました。特に新規の活動希望者に対しては、初期段階の活動支援を重点的に行い、新たな担い手の発掘に繋がりました。

- ・ **今後、解決すべき課題等があれば記載してください。**

貸館については、会議を主目的とする会議室については、さらなる稼働率向上のための施策を検討する余地があります。具体的には、オンライン会議や打ち合わせ等の需要に対応するため、Wi-Fi 環境の整備などを視野に入れ、利便性の向上を図る予定です。

事業については、相談件数が増加するなかで、個別の相談を具体的な活動の継続や定着まで繋げきれていないケースも多く、今後の重要な課題として認識しています。今後は単発的なイベントに留まらず、活動の自走化に向けた「継続的な伴走支援」や「地域資源とのマッチング」など、センターとしての支援機能のさらなる拡充を図る必要があります。

- ・ **次年度に向けた対応について記載してください。**

貸館については、さらなる稼働率向上に向けた施策の検討とともに、利用者のニーズを捉えた付加価値の提供を継続して実施します。また、利用件数の増加に伴い、施設内の衛生管理や美化活動を一層強化し、各団体がより快適に活用できる利用環境の維持・向上に努めます。

事業においては、下京区全域を視野に入れた広域的な展開を推進します。地域住民や活動団体、個人が直面する課題を的確に把握し、それぞれの実情に即した効果的な支援のあり方を追求します。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

特になし

京都市下京いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

指定管理者名 MACHISHIGOTO合同会社
代表者名 三木 俊和

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		18,734,540	18,734,540	0
利用料金収入		6,559,680	7,509,280	949,600
	会議室等	6,480,000	7,429,600	949,600
	スモールオフィス	0	0	0
	付属設備（自主事業を除く）	79,680	79,680	0
その他収入	光熱水費分担金	2,300,000	2,663,604	363,604
当期収入合計		27,594,220	28,907,424	1,313,204
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		11,064,400	11,366,142	▲ 301,742
	職員11名	9,544,400	9,727,371	▲ 182,971
	法定福利費	1,500,000	1,616,298	▲ 116,298
	福利厚生費	20,000	22,473	▲ 2,473
光熱水費		5,780,000	6,044,573	▲ 264,573
	電気代	2,700,000	2,861,878	▲ 161,878
	ガス代	1,080,000	1,132,905	▲ 52,905
	水道代	2,000,000	2,049,790	▲ 49,790
施設管理費		2,074,899	2,162,149	▲ 87,250
	定期清掃等	386,375	386,375	0
	機械警備	270,864	270,864	0
	消防保守点検	60,500	41,250	19,250
	E V保守点検	264,000	264,000	0
	空調保守点検	264,000	264,000	0
	フロン抑制法に基づく点検	110,000	110,000	0
	自家用電気工作物	188,760	188,760	0
	雑用水用給水設備	264,000	264,000	0
	建築設備点検	154,000	154,000	0
	樹木剪定	0	27,500	▲ 27,500
	一般廃棄物	92,400	92,400	0
	産業廃棄物	20,000	99,000	▲ 79,000
事務費		1,227,136	1,602,350	▲ 375,214
	旅費交通費	450,000	435,690	14,310
	消耗品費	100,000	147,512	▲ 47,512
	印刷費	3,000	4,810	▲ 1,810
	リース料	171,336	171,336	0
	通信費	460,000	670,447	▲ 210,447
	新聞図書費	22,800	24,800	▲ 2,000
	会議費	0	2,000	▲ 2,000
	支払報酬	0	132,000	▲ 132,000
	支払手数料	20,000	13,755	6,245
修繕費		1,000,000	946,220	53,780
	1階男子トイレ修繕点検		6,820	▲ 6,820
	1階男子トイレ修繕		30,800	▲ 30,800
	網戸の取り付け		5,500	▲ 5,500
	玄関建具修繕		34,100	▲ 34,100
	消防設備修繕		869,000	▲ 869,000
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0	0
	なし	0	0	0
租税公課		1,600,000	1,657,682	▲ 57,682
	消費税	1,600,000	1,657,682	▲ 57,682
その他		15,120	13,550	1,570
	賠償責任保険保険料	15,120	13,550	1,570
施設運営業務支出合計		22,761,555	23,792,666	▲ 1,031,111
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,570,000	3,493,783	76,217
	若者の力・アートの力を活用した地域課題解決の創造・促進支援事業～若者による地域活動の創出～の開設・促進支援	925,000	911,419	13,581
	若者の力・アートの力を活用した地域課題解決の創造・促進支援事業～若者・若者による地域アートプロジェクトの促進	965,000	926,215	38,785
	一人ひとりがまちの主役になる「ともにすこすつアール」を通じて市民エンパワメント事業～地域の一人ひとりが主役になる「ともにすこすつアール」の促進	1,145,000	1,140,660	4,340
	一人ひとりがまちの主役になる「ともにすこすつアール」を通じて市民エンパワメント事業～プロジェクトに共創するコミュニティの形成	535,000	515,489	19,511
サロン運営・活用事業費		1,180,000	1,069,746	110,254
	ダイバーシティを学び、表現するための多世代交流拠点化事業～誰もが気軽に立ち寄れる空間づくり	725,000	624,960	100,040
	ダイバーシティを学び、表現するための多世代交流拠点化事業～地域の多様な声を活かした取組を推進する空間づくり	455,000	444,786	10,214
その他	事業実施業務繰越	0	0	0
事業実施業務支出合計		4,750,000	4,563,529	186,471
当期支出合計		27,511,555	28,356,195	▲ 844,640
当期収支差額		82,665	551,229	468,564

令和7年度 事業報告書 東山いきいき市民活動センター

【指定管理者:MACHISHIGOTO 合同会社】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 8 名（うち常勤 2 名、非常勤 6 名）

【人材育成の取組】

- ・各スタッフの専門性に合わせた OJT の実施
- ・窓口応対向上のための全体及び個別レクチャーの実施
- ・定期的な個人面談の実施
- ・より専門性を高めるための外部研修の奨励

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
516	583	579	574	562	641	657	621	611	566	563	571

(年間)

7,044 件（前年度比 102%）

イ 利用状況

利用総数は前年度より増加した、利用団体の増加も今年度は多かったのも要因しているのではないかと考える。今後もさまざまな形でのアプローチを試みていきたいと考える。

ウ 利用促進に向けた取組

今年度は新たに机の入れ替えや部屋の使用制限の緩和を行い、利用頻度の少ない部屋も利用が増えていった様に思います、利用者様のニーズに合わせた部屋の運用を行いより一層新規利用団体の獲得に努めます。

エ その他

左京東部いきいき市民活動センターの廃止に伴い、これまで左京東部を利用されてきた団体の受け皿としてもしっかりと機能を果たしていきたい。また現在予約の 3 割ほどはオンライン予約によるものである、今後も利用者の利便性を高める運営を行います。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

Instagram を活用した情報発信に力を入れてまいりました。投稿内容としては、センター認知度につながる情報に加え、センター事業に関する投稿や東山区にまつわる人や場所やものやイベントなどの発信だけでなく、センタースタッフの人となりを知っていただき、気軽に窓口相談いただけるよう工夫を行いました。

イ 取組の効果

各事業の報告を発信し続けたことで各事業への参加者の数も徐々に増加していきました。

(4) 管理運営

今年度も通常通り建築物の保守管理、保安警備業務、清掃業務、植栽保全、エレベーター保守点検等を実施しました。

(5) その他

ウェブ予約の周知を進めた結果、ウェブからの申し込みをされる団体も増えてきました。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】 市民の「やりたい」を形にする対話型ワークショップ創出事業～東山しゃべくり大作戦～

事業の概要

- 開催日時：令和7年6月7日（土）10時30分～12時
令和7年11月26日（土）10時～12時
令和8年2月21日（土）11時～13時
- 開催場所：東山区総合庁舎1階展示ホール／古川趣蔵
- 参加人数： ①17名②28名③20名
- 協力団体等：東山くらしよし／栗田まちづくり協議会
- 予算： 610,000円 / 決算： 560,221円

1 事業内容

東山区内において、地域やまちづくりなどを含めた公益的な取り組みを行っている・または行いたい方々のつながりの場がありません。東山区の盛り上げ・新たな活動の担い手・既存の活動の担い手とのつながりの機会創出を目的とした「東山しゃべくり大作戦」を実施しました。

2 準備段階での工夫

1回目は通常版で東山区総合庁舎を活用し、参加者よりテーマを募り、対話を重ねました。

2回目では、「居場所づくり」をテーマに、ゲストスピーカーを2名お招きし、トークセッション後に来場者を交えて話し合いを行いました。3回目では、会場を当センターのすぐ近くにある「古川趣蔵」に移し、地域の方々との地域との協働による交流企画として実施しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

元々は区役所で実施されていた「まちカフェ」を継承し、年間4回程度、各回15名程度の参加者を見込みながら、センターの存在を知らない層にセンターの存在の周知と新たな担い手の発掘とネットワークづくりを目標に掲げていました。

（2）事業実施による目標の達成度

センターを飛び出して会場を変えて行ったことで、これまでセンターで開催していた時と比べて参加者層が若干変わってきました。テーマを持たせると、そのテーマに関心のある方が集ってきて、とても賑わいました。参加者の中から共創が生まれ、新たな活動層の発掘とマッチングに繋がりました。

4 今後の抱負

4年ほど継続した結果、参加者のマンネリ化と固定化が進んでいたため、今回は色々な形を試してみました。その中で、テーマを持たせた形の対話の場にはやはり需要があり、これまでつながりのなかった方の参加もあり、とても新鮮だった。今後についてはテーマ性を持たせた形で対話を重ねていく形式を模索していきます。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の学び直しの場づくりと地域活動の担い手創出事業 「みんなの学校ごっこ」

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年9月20日（土）21日（日）10時～17時
令和8年2月8日（日）10時～17時
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター全館、多目的ホール、東山区区役所
- 3 参加人数： 延べ880名
- 4 協力団体等：みんなの学校ごっこ実行委員会
- 5 予算： 910,000円 / 決算：915,935円

1 事業内容

みんなの学校ごっこは、まちの方々の知識やスキルを学びに変え市民活動への参加を促すとともに新たな活動の一助となることを目的に実施しています。まちのみなさんがスキルをセンセイとして教え、まちのみなさんが生徒になって学び合い教え合う場として開催しています。今年9月に東山いきいき市民活動センターそして2月に東山区役所で開催しました。

2 準備段階での工夫

今年度も実行委員会を組織し、公募で集まった市民の方たちと事業を構築していきました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

多様な市民の方々がご自身のスキルや知識や経験を出し合える町にしていきたいという想いから、多様な「センセイ」の発掘と市民の有志による実行委員会の自主的運営を目標としていました。

（2）事業実施による目標の達成度

今年度も多くの方がセンセイとなりました、9月では70名、2月では45名の方が参加しました。事業を担うプレイヤー達が自身で考え実行していく取り組みも増えていき規模も昨年を上回るものとなり一定の事業効果をあげることができました。実行委員会も大学生や30代から50代までの多様な世代の方が集まる場にもなりました。センターを飛び越えての開催ではよりこの取り組みを拡げていく機会の創出ができました。

4 今後の抱負

9月開催については前年度を超える参加者となったが2月に関しては衆議院選挙と大雪であまり参加者が予想より振るわなかった、今後は開催日程についてもより熟考した上で行っていきたい。実行委員会ではより運営に関わってくれる人材を発掘していきたいと考えています。そのための準備を既存の実行委員と進めていけるように引き続きコーディネートを行なっていきたい。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域課題・社会課題受発信事業(メディアセンター事業)

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年4月～令和8年3月（月1回程度）
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター
- 3 参加人数：①各回5名～10名程度②市民ライター3名③各15名程度
- 4 予算：1,400,000円／決算：1,467,745円

1 事業内容

① 動画製作集団の組織化「Social Echoes」

本事業ではソーシャルグッドな動画を制作し発信することで新たな地域活動やトレンドの表出と動画の発信の担い手の創出と新たな市民活動の担い手創出を行いました。月に1回程度の定例会議でメンバー同士の交流・技術の向上・動画企画の立案などを行い参加者の撮影と編集のサポートを行いました。

② WEBメディア「iINA」の発行・インターネットラジオ

『あなたのいいなが、まちのいいねに…』をテーマに、WEBメディア「iINA」は京都市東山区を中心に、市民の方に「それイイな、やってみよう」と思えるような、地域で活動する人の考え方や取り組みを発信しました。今年度は3名の市民ライターとともに、記事作成をしてまいりました。

インターネットラジオについては、ゲストとパーソナリティとの日程調整がうまくいかず、今年度は1回のみの発信になってしまいました。

③ 動画スクールの開校

令和8年1月と3月に動画制作初心者向け講座を開催しました。講師は東京でミュージックビデオや企業向けプロモーションを制作している西京極映像プロダクションが担当しました。2日間の講座ではアルファ米を使った防災食を撮影テーマに撮影の基礎から動画の編集までを行いました。

2 準備段階での工夫

多様な方々が参加できるよう、SNSや広報ツールを使用し、メンバー獲得に注力し、コミュニケーションの機会も多く持てるように工夫しました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

より多くの方々に発信の担い手になっていただけるよう、チームづくりと発信機会の創出を目指していきました。

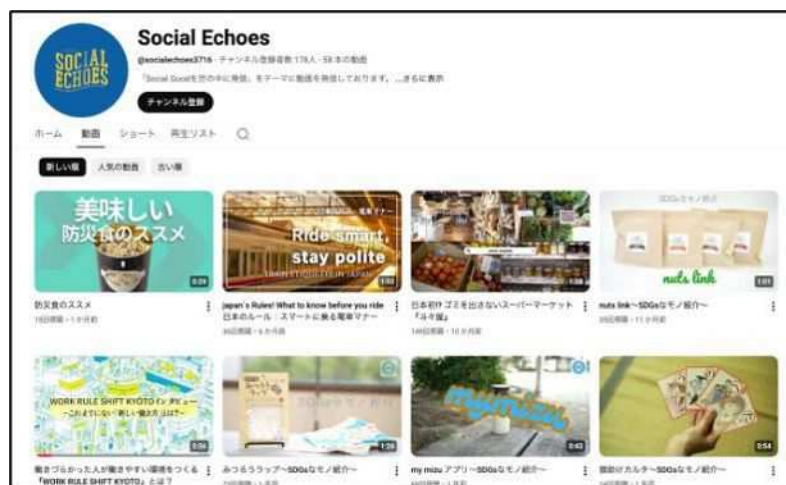
(2) 事業実施による目標の達成度

①については複数の作品を同時並行で動画制作を行い制作のペースを上げることにつながりました。②については市民ライターが執筆しました。③については多くの方に受講いただき、数名の方には①に参加していただき継続して動画製作をおこないました。

4 今後の抱負

昨年度より制作の頻度が上がり参加者が集まる機会も増えました、今後も活発に活動していけるように体制を整えていきたい。SNSや動画制作の新たなトレンドをメディアセンター事業にも取り入れていきたいと考えています。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】e スポーツ・アナログゲームを通じた世代間交流事業

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年4月～令和8年3月
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター／東山区役所
- 3 参加人数： 延べ120名
- 4 予算： 240,000円 / 決算： 230,381円

1 事業内容

e スポーツを通して、多世代の交流をおこなうことを目的に事業を行いました。会場はセンター3階の撮影室をPCルームに1部転用しました。e スポーツチーム『おいなり』を組織化し、月1回程度、活動を実施しました。

2 準備段階での工夫

SNS などを活用し、活動の周知などを行なっていました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

近年市民権を得てきているe スポーツを活用し、多世代交流事業を行うことで多様な人々のつながり・連携を生み出していきたいと考えていました。

(2) 事業実施による目標の達成度

今年度も引き続きボランティアと協力しe スポーツの経験がなくとも参加しやすいように工夫して実施しました。チームおいなりとして活動し公式サイトを作成やSNS などにも力を入れ、広報活動も拡大して行きました。小学生や大学生、高齢の参加者など様々な世代が参画し交流したことで目標が達成に繋がりました。今年度よりサロン除却によりこれまでと活動場所が変わり設備の移設などもありましたが、参加者とともに新たな場を構築することができました。

4 今後の抱負

今後も新たに参加者を増やす取り組みとして広報活動を強化するとともに、チームとして目標を設定し広報用のコンテンツをこちらで作っていききたいと思う。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の多世代交流拠点創出事業

“地域の縁側” ひがしやまオープンガーデン・Free coffee

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年4月～令和8年3月
- 2 開催場所：東山いきいき市民活動センター 中庭
- 3 参加人数：各回約15名
- 4 予算：240,000円 / 決算：207,563円

1 事業内容

本事業では、地域の方々や利用者などが気兼ねなく交流できる場づくり“地域の縁側”として、センターの中庭を活用したアーバンファームを実施します。月に1回程度、畑づくりを通して緩やかに交流する“地域の縁側”的機能をセンターに付与させていきたいと考えています。また、館内や出張版という形でFree coffeeを実施し、参加者や利用者同士の緩やかな交流を生み出していきます。

2 準備段階での工夫

興味ある方々にやってもらうのではなく、センター職員と一緒に汗をかき楽しむところから始めていきました。SNSでグループを作り、常に情報発信と共有を行い、誰もが参加しやすいように工夫していきました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

中庭の利活用を通じて多様な方が集うきっかけを提供することを目的として始めました。

(2) 事業実施による目標の達成度

「オープンガーデン」では、月1回の定期活動に留まらず、参加者が日常的に中庭を訪れ、自主的な手入れや玄関への植栽を行う姿が見られました。施設が単なる「利用場所」から、市民が主体的に関わり愛着を持つ「自分たちの居場所」へと深化したと言えます。多様な関心層が交差する人の流動と出会いの創出を実現しました。「Free Coffee」では、館内ロビーや他事業へ出張版として実施したことで、コーヒーを媒介に世代や属性を超えた会話が自然に生まれ、緩やかな交流の入口を創出しました。

4 今後の抱負

季節に左右されない交流の循環を仕組み化することが課題です。また、参加者の「花を植えたい」「手伝いたい」という自発的な意欲をより円滑に受け止めるため、活動内容を館内で共有するコミュニケーションボードの設置など、誰もがいつでも関わりやすい環境の整備が必要だと感じます。本年度実施した出張版「Free Coffee」の手応えを踏まえ、次年度はさらに地域の公共スペースや他団体との連携先を拡大し、センターに足を運ぶ機会が少ない層へのアウトリーチに挑戦します。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の多世代交流拠点創出事業 さわげる図書館プロジェクト

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年4月～令和8年3月 隔月の第2日曜日
- 2 開催場所：東山図書館
- 3 参加人数：各回約30名
- 4 予算： 230,000円 / 決算： 226,412円

1 事業内容

令和6年度から試験的に開始した東山図書館との連携による「さわげる図書館プロジェクト」を令和7年度でも引き続き実施していきつつ、図書館だけではなく多様な公共空間の価値の再定義を図るプロジェクトを生み出していました。

2 準備段階での工夫

運営に京都女子大学ロールプレイ&アクション研究会や「京亀」といった、アナログゲームに精通している市民団体やサークルとの協働にも発展し、また一緒に運営しているキッズ用品交換会「ぐるり京都」との協働により執り行うよう工夫しました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

公共空間の利活用を進めていくにあたって、これまで暗黙の常識となっている部分を見つめ直すことで、実はプレイスルーすることができることがあるかもしれません。公共空間の一つである図書館についても、現状の課題として小さなお子さん連れの親御さんが、どうしてもうるさくしてしまう子どもを叱りながら、周囲に「すみません」と謝りながらそそくさと帰ってしまう現状の図書館に、「騒いでもいい」という日を作ることで、少しずつ「うるさい」から「にぎやか」にイメージを変えていくことができるのではないかと考え、キッズ用品交換会とボードゲームパーティをセットにした「さわげる図書館プロジェクト」を実施することになりました。

(2) 事業実施による目標の達成度

図書館からも、この企画を通じて新たな利用層の獲得につながったと評価いただきました。また、運営に京都女子大学ロールプレイ&アクション研究会や「京亀」といった、アナログゲームに精通している市民団体やサークルとの協働にも発展し、また一緒に運営しているキッズ用品交換会「ぐるり京都」とも良好な関係性を築き上げることができています。

4 今後の抱負

この企画を皮切りに、図書館という公共空間の利活用のプロトタイプ事例を発信していき、多様な公共施設でも横展開できるように進めていきたい。

事業風景の写真



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域の学び直しの場づくりと地域活動の担い手創出事業

地域をもっと楽しくする！あなたのアイデアを形にする講座

事業の概要

- 1 開催日時：令和7年4月19日、26日、5月10日、17日 いずれも13時～16時
- 2 開催場所：東山区総合庁舎
- 3 参加人数：各回約8名
- 4 予算： 200,000円 / 決算： 50,000円

1 事業内容

東山区役所と連携し、新たに活動を始めたい方々を生み出していくセミナーを開催しました。このセミナーを受講し、そのまままちづくり助成事業にチャレンジするという流れを作ることで、区役所が抱える課題と東山区全体で新たな活動層の輩出を生み出していきました。

2 準備段階での工夫

区役所と協議し、区役所のまちづくり助成金への接続を意識したプログラム構成にすることを工夫しました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

全4回の講座に、申込者は8名でした。4回を通じて新たな活動づくりへと結びつけることができたのは4名でした。そして、東山区のまちづくり助成事業への接続を考えていたが、残念ながら参加者の中からそこまでチャレンジできる活動へと育て上げることができなかった。

（2）事業実施による目標の達成度

今回、区役所との連携事業としてプロトタイプ的に始めた事業に、8名の申し込みがあり、最終的に4名の方が最後まで参加し、乳幼児を対象とした居場所づくり事業や子育て情報発信事業など、新たな活動が生まれた。

4 今後の抱負

助成金へのチャレンジには今回は結びつきませんでしたが、地道に新たな活動層を増やしていくことがゆくゆくは地域の活性化につながると考えます。引き続き取り組んでいきたいと考えています。

事業風景の写真



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和 7 年度実績：11,772,430 円（前年度比 97%）

内訳 会議室等：10,893,800 円
 附属設備：52,290 円 ※自主事業分を除く
 スモールオフィス：826,340 円

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】 令和 7 年 11 月実施

【調査項目】 窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

① 案内表示は分かりやすかったですか。

満足	普通	不満	無回答
67.3%	31.7%	1%	0%

② あいさつやお声がけはきちんとできていましたか

満足	普通	不満	無回答
72.1%	26.9%	1%	0%

③ 身だしなみは業務にふさわしいものでしたか

満足	普通	不満	無回答
68.3%	31.7%	0%	0%

④ 表情や態度は感じが良かったですか。

満足	普通	不満	無回答
74%	23.1%	1.9%	1%

⑤ 言葉づかいや説明は、親切で、ていねいでしたか。

満足	普通	不満	無回答
78.8%	19.2%	2%	0%

⑥ 説明は的確で分かりやすかったですか。

満足	普通	不満	無回答
70.2%	27.9%	1.9%	0%

⑦ 整理、整頓は行き届いていましたか

満足	普通	不満	無回答
66.3%	30.8%	1.9%	1%

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。

各貸室の Wi-Fi 設備の増設や事務処理や窓口対応の迅速化の為に IT を活用した。

要望の多かったトイレの洋式化工事を実施した。

研修などでスタッフの質の向上を図った

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

これまで、利用の用途を制限していた結果、あまり使われていないお部屋として、202と301の2部屋が挙げられます。この2部屋の利用用途を音楽・運動利用可能に変えたことで、若干利用件数の改善につながったと考えます。

また、和式トイレを洋式に修繕ができたことで、これまで要望が多かったトイレの洋式化問題に終止符を打つことができ、満足度向上につながったと考えます。

- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。

夏の気温上昇に伴うお部屋の温度管理について、どうしても日差しが厳しいお部屋については利用者から何か対策を講じてほしいという要望がありますので、何か対策を検討して利用満足度の向上に努めたいと考えています。

京都市東山いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

MACHISHIGOTO合同会社
代表社員 三木俊和

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		18,683,050	18,683,050	0
利用料金収入		12,177,440	11,772,430	▲ 405,010
	会議室等	11,000,000	10,893,800	▲ 106,200
	スモールオフィス	878,640	826,340	▲ 52,300
	付属設備（自主事業を除く）	298,800	52,290	▲ 246,510
その他収入	光熱水費分担金	300,000	305,063	5,063
	個別事業参加費	0	0	0
				0
				0
				0
当期収入合計		31,160,490	30,760,543	▲ 399,947
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		14,050,000	12,928,959	1,121,041
	職員9名	12,820,000	11,643,345	1,176,655
	法定福利費	1,180,000	1,270,432	▲ 90,432
	福利厚生費	50,000	15,182	34,818
光熱水費		6,300,000	6,654,340	▲ 354,340
	電気代	4,300,000	4,649,436	▲ 349,436
	ガス代	1,600,000	1,623,595	▲ 23,595
	水道代	400,000	381,309	18,691
施設管理費		2,800,000	2,672,434	127,566
	樹木剪定		43,012	▲ 43,012
	定期清掃等		898,590	▲ 898,590
	機械警備		188,540	▲ 188,540
	消防保守点検		110,000	▲ 110,000
	E V保守点検		251,460	▲ 251,460
	空調保守点検		107,561	▲ 107,561
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検		49,500	▲ 49,500
	自家用電気工作物		272,448	▲ 272,448
	雑用水用給水設備		0	0
	建築設備点検		59,400	▲ 59,400
	空気環境測定等		178,200	▲ 178,200
	フロン機器点検		87,363	▲ 87,363
	建築物の敷地及び構造物の定期報告		220,000	▲ 220,000
	塵芥処理費		206,360	▲ 206,360

事務費		2,304,890	3,153,387	▲ 848,497
	通信費	750,000	749,856	144
	旅費交通費	900,000	855,276	44,724
	会議費	0	10,000	▲ 10,000
	消耗品費	300,000	443,904	▲ 143,904
	リース料	152,640	342,826	▲ 190,186
	保険料	32,250	25,290	6,960
	支払報酬	0	560,000	▲ 560,000
	支払手数料	170,000	166,235	3,765
	雑費	0	0	0
修繕費		500,000	308,615	191,385
	多目的トイレ修繕	0	5,500	▲ 5,500
	調理室漏電修繕	0	30,800	▲ 30,800
	空調修繕	0	218,921	▲ 218,921
	LED化工事現地調査	0	18,700	▲ 18,700
	調理室蛇口修繕	0	34,694	▲ 34,694
備品購入費（５万円以上の物品）				0
				0
				0
				0
租税公課		1,200,000	1,171,209	28,791
	消費税	1,200,000	1,171,209	28,791
				0
				0
その他				0
	賠償責任保険保険料			0
				0
施設運営業務支出合計		27,154,890	26,888,944	265,946
２．事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,830,000	3,658,257	171,743
	地域の学び直しの場づくりと地域活動の担い手創出事業	1,720,000	1,526,156	193,844
	地域課題・社会課題受発信事業（メディアセンター事業）	1,400,000	1,467,745	▲ 67,745
	地域の多世代交流拠点創出事業	710,000	664,356	45,644
				0
				0
サロン運営・活用事業費		0	0	0
				0
				0
				0
その他 事業実施業務繰越				0
事業実施業務支出合計		3,830,000	3,658,257	171,743
当期支出合計		30,984,890	30,547,201	437,689
当期収支差額		175,600	213,342	37,742

令和7年度 事業報告書 中京いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人 あかしやふれあいネットワーク】

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 12 名（常勤 2 名非常勤 10 名）

【人材育成の取組】

・月に 1 度のミーティングは必ず行い、業務連絡や日々の業務での改善について意見交換をして、従事者全体が内容や状況を共有し、業務が円滑に進み、来館者からの疑問に対する回答が的確になる事や案内等にも話し合います。広報については、担当者とセンターの周知や事業・イベント広報についても細部まで話し合う事で、適切な広報に繋がっています。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
144	153	157	151	142	168	187	174	152	153	169	157

(年間)

1,907 件（前年度比 107%）

イ 利用状況

○ 年間での利用状況について、傾向などを記載してください。

- ・前年度より利用件数も増えています。新規の利用団体や個人での利用も増えています。新規の利用者には当センターを知ったきっかけを必ず伺うようにする中で、HP や SNS を見てと言われます。時代の風潮なのか、SNS はチラシとは違い、良い意味で広範囲に周知することが出来て、広報にはとても効果的だと実感しています。
- ・定期的に利用されている団体やサークルは定着して利用されており、3 か月前の予約は欠かさず申請に来られます。定着して利用していただいている団体やサークルが利用されなくなる事はほぼ無いので、利用していただきやすい環境や場所の提供ができていないのではないかと考えています。
- ・仮予約については浸透していて、定期的に利用される団体や個人の方もホームページやメール・SNS を利用して問い合わせがあり、とても利用しやすくなった。との声も多いです。日にちが近い場合や、当日などの仮予約については、電話でも問い合わせがあるので、短時間での空室状況も伝えることが出来て、利用状況の増加に繋がっています。遠方、他府県からの問い合わせや申込みもあります。ある沖縄の大学舞踊サークルが京都で出演する予定で、前日リハーサルに利用されたこともありました。

○ 課題や改善が見られた部分があれば記載してください。

- ・冷暖房器具の改修工事に伴い、工事中の暖房器具が使用できない期間についてはライトハウスからストーブを 9 台借用し、当センターでも 2 台購入して対応しました。暖房器具が使用出来ない期間に利用される団体や個人の方には事前に伝えていたので、特にトラブルや苦情も無く利用してもらう事ができました。
- ・料理室の利用団体も少しずつ増えている中で、調理器具や食器の購入も行い、利用者からは、このような施設があって良かった、調理器具なども揃っていて利用しやすいとの声も聞けました。

ウ 利用促進に向けた取組

○ センターで取り組まれたことを記載してください。

- ・昨年度から当センター担当者が制作している「いきいき通信」の今年度はページ数も増やし内容も濃くし、昨年度よりアップグレードしました。見た目のイメージも変えて、今年度としてインパクトのあるいきいき通信が完成しています。この「いきいき通信」は利用団体からも自分たちの活動の広報に繋がることを喜ばれ、新規利用者や当センターのPRとしてとても分かりやすく、役立っていると自負しています。併せて、時々、SNSで事業やイベントの広報をする中で、当センターに興味を持たれて問い合わせがあり、その後の利用に繋がることもあります。
- ・来館者には常に会話や声掛けを心掛けて、交流する事で利用の内容や活動内容を知ることができ、新たな備品導入や利用しやすい環境づくりができています。多種多様な利用や活動をサポートする事で、利用促進に繋がっています。
- ・新規利用者には、利用開始時間前に活動されている場面や状況をSNSに載せて広報として使用したい旨を伝えて、活動の様子を見学し、インタビューをさせてもらい、その活動を発信することやセンターの活用例を外部にもわかりやすく示しています。多くの団体は快く受け入れて下さり、SNSに掲載する事も是非とも掲載してほしい。と言っていただく事が多いです。そこには、市民活動に繋がり当センターの利用促進にも繋がると考えています。

エ その他

○ サロンについて、利用状況や前年度と比較した増減の分析等を記載してください。

- ・利用の増減については、前年度比90%となっていますが、利用人数だけではなく利用時の満足度は高いと考えています。利用者の思いやニーズに応えられるよう会話し、イベントの内容を考えて開催するなどしています。来年度は家庭や学校ではない、居場所づくりとして小学生から高校生を対象に大学生ボランティアと協働しながら進めていきます。サロンが新たな居場所づくりの場となるように活用したいと考えています。
- ・サロンでの活動状況をSNS等で知り、協働して取り組みたい方の問い合わせもあり、活動のスタートアップとして多世代交流事業を活用して頂いています。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

○ SNSをはじめとする広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例について記載してください。

- ・告知チラシは、一目で「どんなイベントなのか」「イベントの楽しさ」が伝わるデザインを意識して制作を行いました。必要情報を見やすく整理し、リード文や写真などで興味を持ってもらえるよう工夫し、初めての方でも気軽に参加しやすい、親しみやすい雰囲気づくりを心掛けました。
- ・HPは毎月のイベント情報の更新を継続し、利用者の方へ分かりやすく情報発信を行いました。新たに助成金に関するページを作成し、助成金についての紹介や、YouTubeチャンネルへのリンクを掲載するなど、情報発信の充実を図りました。そのほか、各イベントやお知らせなども随時更新を行い、利用者の方が必要な情報を確認しやすいHP運営に努めました。

- ・いきいき通信はページ数を P8 から P12 へ増やし、中京いきセンで開催しているイベント情報をより多く掲載しました。イベントの活動報告や会議室の利用団体の紹介などを充実させ、センターでどんな取り組みが行われているのか、利用例など具体的に伝わる内容を意識しました。また、スタッフコメントや学生ボランティアの感想を掲載し、利用者の方に安心感や親しみを持ってもらえるよう工夫しました。その他、会議室の利用方法について、「初めての方には分かりにくい」ということも踏まえ、予約方法や利用の流れをできるだけ分かりやすく掲載し、より気軽に会議室を利用してもらえるよう情報を整理しました。
 - ・Instagram の投稿について、イベント直前の告知にストーリーズ投稿やリール動画を活用し、イベントレポートに写真だけでなく動画を利用しイベントの雰囲気が伝わるようレポートし工夫しました。
 - ・イベントの SNS 発信（画像編集・動画編集）は Instagram・LINE・YouTube ショート等を活用し、幅広い世代に向けイベントの魅力が伝わる内容にすることで、参加者増加やセンターの認知向上に繋がりました。
- センターの認知度向上だけでなく、市民活動に関わる様々な情報を工夫して周知された取組があれば記載してください。
- ・6月7日にみやこめっせで開催された「オーガニック EXPO」にスタッフ数名参加し、当センターの事業で活かせるヒント集めに行き、SDG s に繋げ事業を行いました。ココナッツシュガーを使った、米粉のココナッツマフィンを子ども達と作り、綿の実の種を植え、栽培し、育った綿を使いクリスマスリース作りとして SDG s 事業を行いました。
 - ・当センター近隣にある三条商店街があり、商店街活性のために商店街関係者だけではなく、大学生団体や市民活動を行っている団体とも連携し、毎年七夕祭りを開催されており、その催しに今年度も参加し、当センターの PR を行うとともにオリジナルうちわやパンフレットを配布し、センターの周知を行いました。
 - ・今年度も学生ボランティアを募集し、各大学の協力で電子掲示板やチラシを置いて頂き、様々な学校から参加してくれました。花園大学はゼミの時間にボランティアの理論と実践として説明に出向き、学生達を受け入れました。

イ 取組の効果

- アの取組により効果が見られた事例を記載してください（団体の立ち上げや事業の実施につながった など）。
- ・食を通じた SDG s やオーガニックを伝えるワークショップになり、参加者や保護者など、関心が多く、意味のあるイベントになりました。
 - ・HP や SNS、いきいき通信を改善したことで、登録者数が増加したことや事業やイベントの申込み、事業を一緒に行いたい活動団体、活動を広めたい相談など、広報から当センターに興味や理解を持って繋がられることが増えています。
 - ・当センターの広報（SNS やいきいき通信）を見られた方の感想は見やすいし、様々な事されていて見るのが楽しみと好評で、時には活動の広報の相談など受けました。
 - ・大学へのボランティア募集は、毎年行っていることで、随時、希望者からの問い合わせがあり、LINE での誘導で、繋がり、活動へ協働しています。

(4) 管理運営

- 防火管理者の選定、建築物の保守管理、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務、保安警備業務、植栽等保全業務の実績について、代表的なものを記載し、最後に「等を実施」と記載してください。
- ・防火管理者の選定（中京消防署にも消防計画を提出済）、建築物の保守管理(日常点検等)、建築設備の保守管理、備品等の保守管理、清掃業務（日々・空調）、保安警備業務、植栽等保全業務等を実施しました。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」で実施したものがあれば、その内容を記載してください。
- ・関係機関や繋がりのある団体の為になる講演やワークショップにも、スタッフ自ら参加し、情報共有や交流を行い、施設管理の向上に向け新たな視野を広めています。中には中京区役所の屋上で活動されている「中京・花と緑の会」と交流する機会があり、センター内の花壇のアドバイスをもらい、植栽を行いました。
- ・従事者の視野を広げるために、いきセンに届く広報や関係団体等のイベントや講演に積極的に参加し、個々の知識を高め、業務に取り入れられ内容は、会議等で共有し、質を高めています。(SDGsを意識した京都町屋の世界倉庫でのワークショップ・醍醐いきセン「コミュニティデザインのワークショップ」・京都府社会福祉協議会「子どもの居場所づくり基礎講座」など)
- ・独自の意見箱を設置し、気軽に来館者の意見を取り入れられるよう努めています。その意見の中で、改善すべき点がある事項についてはミーティング等で話し合い、スタッフがその内容(備品の購入や不備の確認)を共有し少しでも改善できるように心掛けています。
- ・周辺学区や周辺で活動されている市民活動団体や福祉施設の方とは常に交流を持ち、イベントや交流会・学習会等に参加し、当センターと共催して事業やイベントを行い、お互いの活動内容を知ることで今後に繋がるよう努めました。
- ・中京区社会福祉協議会や高齢サポート・西ノ京は、定期的な交流会や意見交換会には参加し、情報交換や連携を持っています。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】SDGs 事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①7/26 エコバックづくりワークショップ(京都大学)
②7/26・10/25・1/31 スマホの相談会ワークショップ（大学生）
③6/28・8/30・11/29 ものづくりイベント(京都工芸繊維大学の学生)
④7/19 シーグラス金継ぎ体験
⑤5/17・9/6・10/4・12/20 食育ワークショップ（学生団体ボーノ）
⑥7/26 風鈴づくりと流しそうめん（花園大学・先端科学大学 学生ボランティア）
⑦7/12 ネットトラブル防止セミナー（京都府警）
⑧1/24 介護に備えるワークショップ
（高齢者サポート西ノ京・シニアケア美容の小寺氏）
⑨12/6 綿の実クリスマスリースづくり
⑩9/27 いきセンフェスティバル
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター 会議室・料理室・サロン
- 3 参加人数： ①15名 ②7名 9名 11名 ③7名 12名 5名 ④25名
⑤8名 9名 11名 13名 ⑥25名 ⑦10名 ⑧10名 ⑨12名
⑩55名 計 244名
- 4 協力団体等：京都大学エコ〜るど京都学生・京都先端科学大学学生・花園大学学生・
NPO 法人ディーブピープル・学生団体ボーノ・京都工芸繊維大学の学生・
学生ボランティア JVO・高齢者サポート西ノ京・市民活動団体他
- 5 予算： 2,827,500 円 ／ 決算： 2,885,120 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

地域住民，市民活動団体，大学生と連携し取り組む SDG s プロジェクトに取り組みました。

いきいき市民活動センターから発信し，人々への SDG s 意識を高め，自分のため将来のためという重要なことを心に響かせて，活動団体と協働で取組みを企画し，地域の活動の支援と SDGs 参加者の意識を高める目的で開催しました。協働する団体は，独自の活動を活かし，得意なことやアイディアを引き出し，センターは，場所・広報・事業のまとめ役を主に行いました。

①京都大学の学生主体で，環境問題をテーマにエコバックづくりを行い，子ども達の意見を聞きながら自分事して考えるワークショップを開催しました。万博にちなみ，みやくみやくデザインのバックも見られました。

②現在社会を生きやすくするために，大学生主体で日々のちょっとした悩みを解決できるよう，「スマホのプチお悩み相談会」のワークショップを 3 回開催しました。

③京都工芸繊維大学の学生の企画による，科学に関連する内容のワークショップを 3 回開催しました。

④子どもや親子対象に，海のごみシーグラス，シー陶器を使って，金継ぎ体験を行いました。

⑤学生団体ボーノの企画による，食についてのワークショップを 4 回開催し，子ども達に食について，伝えました。

- ⑥学生の意見も取り入れ、風鈴づくりと流しそうめんを行いました。地域の竹で作った流しそうめんをサロンの外で行い、風情ある体験ができました。
- ⑦京都府警のネット安心アドバイザーをお招きし、ネットトラブルから身を守るためのワークショップを開催しました。1人1台、タブレットを使いネットに潜む罠について実践的に学びました。
- ⑧高齢者サポート西ノ京とシニアケア美容の小寺氏をお招きし、介護や認知症の知識や、いざ目の前に起きた時の予備知識やサービスの使い方、経験者から経験談など、身近で役立つワークショップを開催しました。
- ⑨中京いきセン敷地内にてオーガニックE X P Oで購入した綿の実を育て、その実を使った、クリスマスリースを作るワークショップを開催しました。
- ⑩SDG s 事業に参加された団体や中京いきセンを行き交う団体で、いきセンフェスティバルを開催しました。上記のワークショップ等でできた作品の展示も行いました。

2 準備段階での工夫

- ・今年度も、継続して協働したい団体と新たに一緒にやってみたいという団体に恵まれ、メールや電話で、事前の打ち合わせとスケジュールを小まめに行ない、参加者が楽しめる準備や配慮を心がけ開催に向けました。
- ・市民に興味を持たせ参加してもらえるよう、それぞれの団体の特性を前面に打ち出せるよう、広報やチラシ等で示す工夫をしました。
- ・大学生ボランティアも学校に配布したり、学校のサイトに載せてもらったりして他方からの学生が協力してくれ、事前に研修会を行い、学生が気軽に参加できるようにしました。学生はLINEへ繋がってもらい、LINEグループで連絡や日程調整を行い、スムーズに取り組みました。学生とのやり取りの中で、意見も取り入れました。
- ・参加された方とは、アンケートだけでなく、気さくに話しかけ、興味や感想など、意見も聞くよう、スタッフが意識し、行いました。また、パンフレットや事業のチラシを置き、質問に随時答えるよう担当者が張り付きました。来場者の中には、利用したい声も聞け、LINE登録などの誘導も心掛けました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・幅広い層の方に、自分のため将来のためという重要なことを心に響かせて、参加団体との連携を図ります。
 - ・協働する団体と情報共有、連携することで、開催する目的ができ、具体的に伝えることが見え、質の良い高い取り組みが期待できます。
 - ・参加人数の増加や協働による活動、多種多様なアイディアの取り入れを目的とし、参加者団体が主体の事業となり、自主性を引き出します。
 - ・それぞれの意見を取り入れ、地域住民に伝え人々の意識改革と自然にSDG s（環境）の達成に向けて一歩踏み出す取り組みとなり、あらゆるひとを巻き込むことで、将来性のあるまちづくりを目指します。

- ・いきセンフェスティバルでは、当センター利用団体だけでなく、他方面で興味のある方を募り、申込みがあった団体にも参加してもらえ、参加者からも感動の涙や声を頂き、出演者の励みになりました。

（２）事業実施による目標の達成度

○ （１）の達成度について自己分析し、記載してください。

- ・子どもから高齢者まで幅広い層の方に参加してもらえる事業となりました。
- ・市民活動団体、大学生、学生団体、の日頃の活動を活かして **SDGs** に繋げる内容の事業となり参加者の満足へ繋がりました。参加者からの反応も良く、継続して行って欲しい声や要望などが聞けました。
- ・大学生は、それぞれの学生の考えや行動を活かすため、上手く誘導することで、徐々に意見や行動が芽生え、将来の担い手の支援ができました。その後も、他の事業に参加される学生もおおり、回数を重ねるごとに成長が感じられました。
- ・参加者の主体性を引き出すために、協働団体と連携し計画・実行できました。
- ・イベントは、継続して欲しい声や参加したい声、年に１回を２回にして欲しい声が聞けています。様々な団体が自主性を持って交流し合え、センターとしてはサポート体制で取り組みました。

４ 今後の抱負

○ 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

- ・まだまだ **SDGs** へ関心と材料があると思うので、中京いきセンを拠点に活動団体と市民を繋げる内容を模索し **SDGs** の知識と課題解決に繋げる事業を計画します。そのために、常に情報を取り込み、活動団体と連携をもって進めていきます。
- ・繋がった団体や学生は、継続して連携し、協働で行い取り組む内容を計画していきます。
- ・近年繋がっている、当センターを理解してくれている大学とは、連携し、ボランティアを募っていきます。
- ・また、**SDGs** については、従事者が常に外部の情報にアンテナを張り、参加できるイベント等に自ら参加し、自身の知識や見聞をアップデートします。

【事業名】多世代交流事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①「いきいき憩いの場」 毎週水曜日 10:30～12:00
②「ふれあい基地」 毎週土曜日 10:30～12:00
③「ふれあい喫茶」 毎週土曜日 13:00～14:30
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： ①371名（46回） ②350名（42回） ③393名（47回）
- 4 協力団体等： ひなぎくヨガ・書道サークル・フラワーアレンジメントサークル・水彩画サークル・スローエアロビクスサークル・金継ぎ体験・折り紙サークル・京都工芸大学ぽっけ・京都先端科学大学学生・花園大学学生・産業大学学生・光華女子大学学生・学生団体 JVO 他
- 5 予算： 1,929,500 円 / 決算：1,985,829 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

地域で抱える問題も多様化していることからお互いを理解していく交流「多世代交流」できる事業を行いました。孤立しがちな環境で暮らす子育て世帯や高齢者、核家族化や地方から来ている大学生など、家族構成や問題は様々で、外部のコミュニケーションを取ることでお互いを支え合う活動に結びました。リタイヤした高齢者の知恵や大学生の新しい発想や行動力を生かした事業に、より安心して子育てできる環境づくりを展開します。そこで感じる高齢者への生きるための目的要素や個人では得られない多世代から得る情報によって双方にメリットを起こす取り組みを狙いにします。3つの対象者に分け取組みを実施します。どの取り組みも団体と協働で活動し、始めようとする団体のスタートアップのサポートや活動団体の活動の励み、活性化に繋がります。

- ①「中京いきいき憩いの場」 乳幼児と保護者×高齢者 協力は子育てサークル・ひなぎくヨガ・フラワーアレンジメントサークルなど。

内容は昔の懐かしい歌や手遊び・紙しばいや読み聞かせ・ヨガ体験・ブリザーブドフラワー体験・書道体験・レコード鑑賞など。

- ②「中京ふれあい基地」 小・中学生×大学生 協力は・京都工芸大学ぽっけ・京都先端科学大学学生・花園大学学生・産業大学学生・光華女子大学学生・学生団体 JVO。

内容は科学体験や工作、体を動かすレクリエーション、料理体験、お祭りを模した季節のイベント・太鼓体験・金継ぎ体験など。

- ③「中京ふれあい喫茶」 高齢者×大学生 協力は・京都工芸大学ぽっけ・京都先端科学大学学生・花園大学学生・産業大学学生・光華女子大学学生・学生団体 JVO。

内容は麻雀やボードゲーム・カラオケ体験・スマホの触り方・健康体操・クイズで脳トレ・歌や音楽鑑賞・ものづくり体験・レコード鑑賞など。

2 準備段階での工夫

- ・スタッフと協力団体が定期的に、会議をして、各年齢層が来て楽しめる内容や学生が自然に入れるきっかけなど、それぞれに問題点を確認しながら事業に取り組みました。特に団体の特徴をチラシに明記し、参加者に細かく伝わるよう心掛けました。例えば、手話が可能な方がおり、手話や筆談での参加可能を広報しました。

- ・活動は写真と動画で、わかりやすくし、チラシ、HPやSNSに毎週、情報公開し、繋がりのある方からは、その情報を見て申込みや問い合わせがありました。また、興味のある方は繋がってもらえたら詳しくわかりますと誘導し、そこから申込みされていました。
- ・大学生ボランティアは随時募集し、見学や体験も行い、年間で途中参加もありました。チラシ等は大学にお願いし、配布し、電子掲示板に載せて頂いたりしました。グループLINEをつくり、連絡や周知をやりとりしました。昨年に続き、スムーズにやり取りでき、学生の意見も取り入れ学生主体の企画も実施しました。事業の後は、大学生からも感想や思いを聞き、今後に繋げていきます。
- ・毎週あるので、外にはコルクボード、館内にはホワイトボードにスケジュールを示し、来場者にわかるように、予定表やチラシでわかるようにしていました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・多世代で関わる中でコミュニケーション力やふるまいの向上を図ります。地域の大人と一緒にあって子どもの豊かな体験（人との関わりや伝統文化の行事体験など）を生み出し、活動することの価値に気づき、成長過程にある子どもたちにはとても大切な経験となり、地域で理解も深まり日常生活で欠けている部分を補うことを目標にします。
 - ・共働き家庭や少子化による兄弟の減少などの傾向のある小・中学生に必要なコミュニケーションと人の繋がりがもてる居場所づくりを目指します。大学生は次世代を担う人材の育成を目的とします。
 - ・高齢者の「孤立化」や「無縁化」、「貧困化」などが深刻化するなか、少しでも多くの高齢者が社会的なつながりを持ち、心豊かな生活を送れるよう支援することと、大学生に見られる、異世代間の交流が少なく、社会性や人間関係の乏しさなどの問題解決を目的とします。お互いの足りない部分が補われ、この取り組みでしか得られない機会となり交流の輪に繋がります。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1)の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・新たな活動団体の支援や貸館への誘導ができました。
 - ・学生ボランティアが運営にかかわることで、参加者とスタッフの距離が近くなり、会場全体に親しみやすい雰囲気が生まれていました。
 - ・参加者同士の顔なじみが増え、地域コミュニティの活性化に繋がりました。
 - ・乳幼児と保護者の間に高齢の方の温かい見守りや声の掛け合いが、子ども達も自然になじめる雰囲気となり、保護者も安心して参加され、経験豊かな話を興味深く聞かれ、まさに多世代交流となりました。
 - ・学生へSNS用画像制作を一緒に取り組んでもらい、完成したものをSNSにて発信し、関わってくれたことも紹介することで、地域活動の周知に繋げることができ、その結果、SNSの再生回数増加にも繋がり、学生にとっても今後のプレゼン資料作成など社会で活かせる経験となりました。
 - ・大学生が主体となって進めることで、小・中学生と大学生の積極的なやり取りが増え、関係性を築きやすくなっていると考えます。センタースタッフともコミュニケーションの機会が増えたことから気軽に話せる関係性ができ、談笑や相談、報告などをフラットにできる環境を維持できています。大学生にとって、さらなる学びや地域との関わりにつなげてもらっています。

- ・どの取り組みも、市民活動団体が快く参加され、意欲をもって企画され、活発な動きが見られました。また、この事業をきっかけに活動を始めた団体は、その後、センター会議室を定期的に借りて活動されています。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
- ・様々な世代の方との交流で、それぞれの良さが入り交り、他では体験できない事業なので、協力団体・参加者・大学生、それぞれの意見を取り入れ、今後も企画します。また、新しく繋がる個人や団体も大切にし、人が交流し合える仕組みを継続します。広報では、HP と SNS は継続しつつ、新しい手段で取り組めるよう検討します。
- ・この事業に参加や協働できたことをきっかけに、新しい活動やより良い活動へ繋がられるよう、新しい情報を取り入れ企画・運営していきます。
- ・また大学生には、将来、社会で役立つ一歩をサポートできるよう努めます。

※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】市民活動応援事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： ①5/12 9/22 1/14 18:00～20:00
②5/31 10:30～12:00 ・ 9/6 10:30～12:30
12/25 10:00～12:00 ・ 1/17 10:00～12:00
③3/10 18:00～20:00
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター 会議室
- 3 参加人数： ①18名 15名 ②28名 ・ 19名 ・ 16名 ・ 10名 ③17名
- 4 協力団体等： 音楽活動されている姉妹 ・ 藍染サークル・ 料理サークル ・
京都市食育指導員 ・ 学生ボランティア
- 5 予算： 88,000 円 ／ 決算：160,600 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

市民活動団体やこれから始めようとする人と、組織を構成し互いの活動を応援する事業を行いました。日常の不安や問題・成功例などを話しまとめ、そこから問題を解決できるワークショップやイベントを行いました。

①市民活動相談会として意見交換を行いました。

②意見交換から出た案やそれぞれ抱える問題の解決に繋げるイベントを企画、開催しました。

歌と三味線コンサート ・ 藍染Tシャツづくり体験 ・ うどん打ち体験 ・
サラダコンテスト1位のサラダづくり

③イベントで協働した団体同士で個々の活動の近況会を行い、双方の問題点や良いところを話し合いました。

2 準備段階での工夫

- ・①の相談会で、グループに分かれ、個々で自由に意見交換できるよう形式で進めました。お互いの問題を知ること、それぞれの活動を知る機会になりました。イベントに繋げるためにも双方の活動を知り、それぞれが意見を出し合い、協働で取り組める企画へ繋がられました。
- ・イベントでは、それぞれの得意分野を発揮できるよう企画、センターから助言しながら、進めました。
- ・ワークショップに参加される子育て世代の方が、子供を連れて参加できるように、サポートできる場所と子育てサークルの方にも協力頂き、サポートしました。
- ・様々な意見交換をする中で、オリジナルTシャツの藍染体験や、団体の知り合いの「うどん屋さん」にご協力頂き、うどん打ち体験、広範囲の意見を募り、サラダコンテストを行い、1位になったレシピを作るという面白い企画も生まれました。サラダづくりには、京都市の食育指導員にご協力頂き、一緒にレシピを選んだり、当日、一食クッキングを行いました。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・市民活動や個人の方で、身近な困りごとを話す機会を持つことで、他の人の考えを聞く機会ができ視野が広がり、活動や行動の問題解決につながります。
 - ・グループディスカッションすることで、それぞれの思いや考えを伝え、みんなの意見で企画に繋げることができます。
 - ・一歩外へ出るきっかけや他人と話すきっかけづくりができます。
 - ・全く違う活動や環境の方の話を聞くことで、今まで気づかなかったことを発見し、見直す機会をもてます。
 - ・問題から企画に繋げ、それぞれが前向きな考えとなり、今後の活動意欲に繋がります。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・グループに分かれての交流会では、それぞれに困りごとを話し合い、問題解決に向け、自主的に意見を言い合えることができ、解決に向けた取り組みとして、イベントとワークショップを計画し実行できました。
 - ・このイベントにより、他団体が知っている補助金の話しや広報の方法、参加できるイベントなど知ることができ、その後、団体間の交流をされています。
 - ・活動団体と他団体をマッチングさせることで、より良い活動にもなり、また活気づき、参加者が賑わうイベントを作ることができました。
 - ・参加団体の主体性を引き出すために、協働団体の得意分野を活かせるイベントに繋がりました。また企画・運営も団体に任せることで、活動意欲にも繋がられ、今後もイベント等行っていくとの声が聞けました。
 - ・様々な団体が自主性を持って交流し合え、センターとしてはサポート体制で取り組みました。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・グループディスカッションは重ねるごとに、意見も言いやすく、活発になるので、その形式で行い、センターは団体間のつなぎ役で努めていきます。
 - ・参加された団体とは良い意見交換ができ、協働で取り組める機会が持て、問題解決に向け前進できる事業となりました。
 - ・サラダコンテストは参加者からも面白い意見が多く、内容を変えて再度行っても良いかと思いました。
 - ・団体のサポートができ、参加された方も喜んでおられ、気持ちが前向きになれた感想が聞け、この取り組みは意味のある事業になり、今後も、内容を変え、市民に寄り添い、応援、サポートできる取り組みを企画していきます。
 - ・イベントを行う事で、学生が意欲を発揮していたので、今後も学生の成長に向けた取組みは計画していきます。

【事業名】「みんなの文化祭」交流事業（活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 3月15日（日） 11:00～16:00
- 2 開催場所： 中京いきいき市民活動センター 会議室
- 3 参加人数： 10センター（しみセン・9いきセン）
出展団体数 ステージの部；16団体
作品展示の部：24団体
スタンプラリー数170
- 4 協力団体等： 市民活動総合支援センター・いきいき市民活動センター・
各センターより出演者、出展者
- 5 予算： 35,000円 / 決算：32,015円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

いきいき市民活動センター（いきセン）、市民活動総合センター（しみセン）を拠点に活動する団体の活動発表や作品展示の場を提供する文化祭的イベントを開催しました。それぞれのいきセンの催しを、ひと・まち交流館 京都に場所を変え、また広く京都市民を対象として来場者を募ることで、より大きな場所で発表する機会ができ、より広い地域の人に演技や作品を見てもらえる、イベントです。

2 準備段階での工夫

- ・ZOOMによる実行委員会を3回、意見交換を行い、それぞれの不安を取り除き、当日がスムーズに進むように進めることができました。
- ・出演者や出展者をよりわかりやすく示すために、事前に各詳細を伝え、プログラムとして、しみセンが取りまとめ、配布できるよう作成されました。
- ・参加された団体が交流や繋がりが持てるよう、各団体の詳細をしみセンが一覧に作成されました。
- ・当日は、各コーナーをスタンプラリーで、均等に回れるよう配慮しました。
- ・いきセン・各団体のアンケートを取ることで、今後の改善対策に繋がりました。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。

- ・出演・出展団体は日常より大きな場所で展示・発表する機会ができ、より広い地域の人に演技や作品を見てもらえる目的です。
- ・参加した各センター（いきセン・しみセン）の出展者同士の交流が生まれることが期待します。
- ・いきセン、しみセンも、互いの交流によりイベント開催のノウハウの交換や学びの機会にもつなげます

(2) 事業実施による目標の達成度

○ (1) の達成度について自己分析し、記載してください。

- ・実行委員会や当日の準備、後片付け等でしみセンと各いきセンの交流につながりました。
- ・各いきセンの団体を知ることができ、知っておくことで、今後の利用者の方から問いにも誘導ができると考えました。
- ・出演・出展することで、利用団体からの喜びや励み、今後の目的にも繋がりました。

4 今後の抱負

○ 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

- ・まだ他にもたくさんの市民活動団体があるので、活動の後押しができるよう、このような大きなイベントへの誘導をしていきます。
- ・日々のセンター来場者、団体と常に交流を持ち、参加を希望する方への誘導をしていきます。
- ・今後も事前の実行委員会議に参加し、意見交換の上、市民活動の応援ができるよう努めます。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：3, 135, 200円（前年度比108%）

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

（1）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和7年11月実施

【調査項目】窓口サービス

（2）センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

（1）全センター共通窓口サービス

（2）センター独自アンケート

○結果の概要を可能な範囲で記載してください。（例：概ね満足 等）

項目事項①

たいへん満足 52.9%満足 47.1%不満 0%無回答 0%回収数 100%

項目事項②

たいへん満足 47.1%満足 52.9%不満 0%無回答 0%回収数 100%

項目事項③

たいへん満足 44.2%満足 55.8%不満 0%無回答 0%回収数 100%

項目事項④

たいへん満足 39.4%満足 60.6%不満 0%無回答 0%回収数 100%

項目事項⑤

たいへん満足 35.6%満足 64.4%不満 0%無回答 0%回収数 100%

項目事項⑥

たいへん満足 33.7%満足 66.3%不満 0%無回答 0%回収数 100%

項目事項⑦

たいへん満足 32.7%満足 67.3%不満 0%無回答 0%回収数 100%

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。

- ・職員内でヒヤリングを開催し、アンケート結果を基に話し合い、「あいさつ」や「言葉遣い」・「対応時の表情」について来館者を思いながら対応する事を徹底しました。

・仮予約システムについて、通常は3日以内に当センターへ来館の上、申請と利用料金の支払いとなるが、地方や遠方で期限までに申請できない団体や個人の方へ、申請期限日に再度連絡をいただく事で仮予約の延長を認めるなど、利用者にとって便利な方法を取りながら進めていました。特に遠方からの利用者は「とても助かる」「丁寧な対応で気持ちよく利用できた」などと満足していただきました。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。
- ・ 仮予約システムの導入は利用者にとって便利で有効なシステムで、広報や声掛け等の影響もあり、浸透してきており、仮予約は確実に増加しています。その為、出勤時、必ず、グーグルフォームと LINE のチェックを行い、開館してからの申込者の順番が正しく受付できるよう、スタッフ一同、心掛けています。
- ・ HP、SNS、中京いきいき通信の広報は、担当スタッフが随時、改善してくれていることで、見る人が増えたり、繋がったり、情報が正しく発信できるなど、良い結果が生まれています。変更していく中で、他のスタッフの意見交換をしながら、様々な視点の考えや思いを、広報の形に進化できており、今後も継続して行っていきます。
- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。
- ・ 事業やイベントを行う中で、より一層参加者や来場者の意見に耳を傾ける事で利用者が求めている思いを実現に近づけられると考え、今後も利用者への声掛けや、話しやすい環境づくりができるよう努めていきます。
- ・ 事業や取組みの中で、新しい団体や学校、市民団体と協働することで、発信の幅を広げていき、たくさんの方に利用価値を知ってもらえるよう努めていきます。
- ・ エレベーターは設置されていない為、階段を利用できない方や団体については、利用できる会議室が制限されている状況が続いています。改善が早急に求められている中、設置が必要だと考えます。
- ・ 次年度に向けた対応にについて記載してください。
- ・ 施設運営を行う中で、日々スタッフ間での情報共有や、新しい事への取組みについて話し合う機会を増やし、運営だけではなく中京いきいき市民活動センターが進化し続けられるよう引き続き進めていきます。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

指定管理者名	特定非営利活動法人
	あかしやふれあいネットワーク
代表者名	理事長 岡本 賢治

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		15,658,990	15,658,990	0
利用料金収入		3,000,000	3,135,200	135,200
	会議室等	3,000,000	3,135,200	135,200
	付属設備（自主事業を除く）			0
その他収入	事業参加費	235,000	252,600	17,600
				0
当期収入合計		18,893,990	19,046,790	152,800
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		9,271,990	9,558,093	▲ 286,103
	常勤職員	7,821,990	8,095,558	▲ 273,568
	非常勤職員	1,450,000	1,462,535	▲ 12,535
光熱水費		1,500,000	1,233,228	266,772
	電気代	800,000	618,545	181,455
	ガス代	600,000	527,424	72,576
	水道代	100,000	87,259	12,741
施設管理費		1,580,000	1,809,660	▲ 229,660
	樹木剪定	65,000	70,800	▲ 5,800
	定期清掃等	500,000	616,040	▲ 116,040
	建築・空調・受水槽・高架水槽及び点検	520,000	533,000	▲ 13,000
	一般廃棄物処理代	50,000	79,200	▲ 29,200
	自家用電気工作物	270,000	325,820	▲ 55,820
	警備保守	175,000	184,800	▲ 9,800
事務費		595,000	552,647	42,353
	電話代	150,000	87,787	62,213
	通信費（インターネット・郵便切手代）	190,000	221,363	▲ 31,363
	交通費	5,000	2,700	2,300
	消耗品費	100,000	92,419	7,581
	印刷費	150,000	115,792	34,208
	手数料		32,586	▲ 32,586
修繕費		200,000	43,835	156,165
	建築修繕	200,000		200,000
	空調設備機器修繕（4/2）		25,949	▲ 25,949
	空調設備機器修繕（3/11）		17,886	▲ 17,886
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0	0
				0
租税公課		850,000	843,000	7,000
	消費税	850,000	843,000	7,000
その他		17,000	15,440	1,560
	賠償責任保険保険料	17,000	15,440	1,560
施設運営業務支出合計		14,013,990	14,055,903	▲ 41,913
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		2,950,500	3,047,735	▲ 97,235
	SDGs事業	2,827,500	2,855,120	▲ 27,620
	市民活動応援事業	88,000	160,600	▲ 72,600
	みんなの文化祭	35,000	32,015	2,985
サロン運営・活用事業費		1,929,500	1,985,829	▲ 56,329
	多世代交流事業	1,929,500	1,985,829	▲ 56,329
				0
その他 事業実施業務繰越				0
事業実施業務支出合計		4,880,000	5,033,564	▲ 153,564
当期支出合計		18,893,990	19,089,467	▲ 195,477
当期収支差額		0	▲ 42,677	▲ 42,677

令和7年度 事業報告書 左京西部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1 施設運營業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）

【人材育成の取組】

- ・非常勤職員にも、積極的に事業の立案、実施に関わってもらうことで、センターを活用したまちづくりに貢献できる人材育成をしている。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
345	353	319	324	342	405	407	396	325	306	383	354

(年間)

4259 件（前年度比 109%）

イ 利用状況

- 利用料金制度への移行後 4 年目でようやく利用件数、利用時間が増加に転じた。前年度と比べ件数で 340 件、時間ベースで 583 時間の増加となった。全体の利用率は 51.7%だった。（前年度 48.5%）

令和 7 年度利用団体 430 団体の内訳は文化芸術系団体の利用が約 60%、次いでスポーツ系団体、健康系団体の利用がそれぞれ約 10%となっており、2023 年度から大きな変化はない。変化が見られたのは、こども会や子育てなどの団体で、約 8%（前年度約 4%）となった。営利目的でない事業者の利用は 7 件 24 時間だった。

- 課題や改善が見られた部分があれば記載してください。

ウ 利用促進に向けた取組

- 故障していた会議室 1 のエアコンを 6 月に入れ替え、支障なく部屋の貸し出しができた。
- 利用者の利便性向上のため、2024 年度から本格的に導入した当日利用の電話予約は年間 259 件 498 時間の利用があった。（前年度 220 件 485 時間）

エ その他

- サロンの自由利用者数は、のべ 812 名で、前年度比 147%（前年度利用者数のべ 552 名）となった。法事が 2 件、地域活動利用が 38 件だった。廃材アート、フリーガーデンなど、センターの事業を 59 件実施し、センターの認知度向上と地域活性化に取り組んだ。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ○ センターのホームページのほか、Twitter、Facebook での情報発信を行っている。令和 7 年度から実施した事業の様子を note にあげ、活動を見やすくした。
- 利用者紹介コーナーの設置、サロンでの地域に係る展示や、かもがわデルタフェスティバルを使った、利用者の成果発表など利用者や地域の魅力を発信する機会を作っている。

イ 取組の効果

- 事業に興味をもたれたボランティアが増えた。提案事業から自身で助成金をとり、有料でセンターの施設を使用する団体も出てきた。

(4) 管理運営

- 廃材を利用した棚やテーブルを共有スペース（ロビー）に設置し、美しく居心地のいい空間づくりを心がけている。

(5) その他

- 利用者への積極的な声掛けや、地域の取り組みへの積極的な参加を行っている。
特に養正市営住宅は再開発に着手しており、今後どんな地域にしていきたいかという課題を地域住民とともに話す場として、サロンを使ってもらうなど、地域の発展に貢献できるよう努めている。

また、地域内の小中学校とも連携し、事業を行っている。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】多文化交流事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和8年9月6日（金）／令和8年14月（日）
- 2 開催場所：養正児童公園／左京西部いきいき市民活動センター 会議室3
- 3 参加人数：来場者約1,000名
- 4 協力団体等：かもがわデルタフェスティバル実行委員会／カポエイラ・アンゴラ インジンガ京都／養正小学校／高野中学校／田中村六斎念仏保存会
- 5 予算：1,160,000円／決算：1,157,020円

1 事業内容

- 当センターも実行委員として参加している「かもがわデルタフェスティバル」の関連企画として、「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」の協力を得て、カポエイラやブラジルの伝統人形劇などの紹介を行い、同じ舞台で「高野中学校吹奏楽部」の演奏や「田中村六斎念仏保存会」の六斎念仏踊りの発表を組み合わせることで、地域の方と海外にルーツを持つ方との交流の場をつくった。また、ステージでの発表に加え、地域に住む海外にルーツを持つ方たちとのトークショー「多文化共生トーク」を行った。
- ステージだけでなく、トークイベントを実施することで直接的な交流の場を作った。

2 準備段階での工夫

- 当センター利用団体である「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」「ようせいこども会」「田中村六斎念仏保存会」「養正小学校」「高野中学校」のご協力をいただき、実施した。
- 地域の複数の団体で構成された「かもがわデルタフェスティバル実行委員会」（当センターも参加している）の協力のもと、広報活動、準備活動を実施し、スムーズな運営ができた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 1,000名程度の参加者を目標とした。
地域の方々と特に外国籍の左京西部いきいき市民活動センター利用者との交流の場を作り、文化紹介を行い相互理解を深めるという効果が見込まれた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は100%。
- 「それぞれのお国自慢や、日本に住んで感じたことなどが聞けて良かった」「多文化ステージが本当に多文化で面白かった」などの意見がきかれた。

4 今後の抱負

- パフォーマンスだけでなく、海外にルーツを持つ方々を交えたトーク、シンポジウムのようなものが開催できたので、トークに関しても継続、発展させたい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】廃材アートワークショップ（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和8年4月19日より毎月第3土曜日 10時～13時、計12回
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約50名、計のべ約600名
- 4 協力団体等：スタジオぐるり
- 5 予算：680,000円／決算：681,079円

1 事業内容

- 水野哲雄京都芸術大学名誉教授が主催するスタジオぐるりと協力して、高齢者や親子が参加できる廃材を使ったアート作品創作ワークショップを毎月第3土曜日に行った。また、9月15日と2月～3月に作品の展示会を実施した。

2 準備段階での工夫

- 使用する材料の調達、ワークショップの進行、展示など「スタジオぐるり」の協力を得て実行した。
- SNSを使った広報と口コミによる周知。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 各回約50名、年間600名の参加を目標とし、アート作品制作を通じて環境問題やSDGsの取り組みに対する理解を深める効果が見込まれた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は100%。
- ワorkshop、展示を通じて環境問題、SDGsに対する関心を喚起し、理解を深めることができた。

4 今後の抱負

- 遊びながら環境問題、ごみ問題についての理解を深められるこの企画は好評で、引き続き実施していこうと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ベビー&キッズ用品交換会（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月19日より毎月第3土曜日10時～13時、計12回。
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約50名、計のべ約600名
- 4 協力団体等：AT-Kyoto
- 5 予算：660,000円／決算：659,596円

1 事業内容

- 主に子育て世代を対象とした、リユース交換会を行っている任意団体 AT-Kyoto と協力し、子育てに必要なもの、すでに不要になったものの交換会を毎月1回、計12回行った。また、企画の周知や、開催日に参加できないひとのために、左京西部いきいき市民活動センター入口に交換会で残ったものを並べる棚を拡充した。

2 準備段階での工夫

- 会場設営など AT-Kyoto の協力を得て実施した。
- SNS を使った広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 各回25組の親子50名×12回 のべ600人を目標とした。
子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDGs への関心や意識向上を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は100%。
- 子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDGs への関心や意識向上に寄与することができた。

4 今後の抱負

- 大変好評な事業であり、子育て支援、ふれあいサロンの活動という観点からも事業を継続していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】まちづくりサポーター育成事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R7年4月21日より毎月第3日曜日の10時～12時（計12回）
かもがわデルタフェスティバル9月14日・防災イベント2月8日
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：ボランティア参加者18名。
- 4 協力団体等：ようせいこども会／かもがわデルタフェスティバル実行委員会／養正学区
自主防災会／養正学区まちづくり協議会設立準備会
- 5 予算：770,000円／決算：769,265円

1 事業内容

- 月1回のペースで当センター周辺の事情や、地域の市民活動活性化のための研修、ディスカッションを行い、「かもがわデルタフェスティバル」や「ようせいアートむら」でボランティア活動をした。また、地域の自主防災会、養正学区まちづくり協議会設立準備会と連携し、「ふれあい防災イベント・自宅避難時に役立つ調理教室」を実施した。

2 準備段階での工夫

- ようせいこども会、かもがわデルタフェスティバル実行委員会、養正学区自主防災会、養正学区まちづくり協議会設立準備会のご協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 各回10名の参加者を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 大学生含むボランティア8名、小学生のボランティア17名が参加した。
- 「ようせいアートむら」では「みんなで工作して企画をするのが初めてで、やったことがないことに挑戦できた」、「防災イベント」では、「こういうイベントで、若い人たちにも防災について広めていきたい」などの声が聴かれた。

4 今後の抱負

- 地域の小中学校や自主防災会とつながり、地域の課題を一緒に楽しみながら解決していける企画を実施していくことで、参加者を増やし、地域力向上に寄与していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】サロン活性化サークル育成事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月25日(木)より毎月第4木曜日の11時～15時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約15名程度
- 4 協力団体等：京都学生演劇祭実行委員会／かもがわデルタフェスティバル実行委員会／
ようせいこども会／東山青少年活動センター
- 5 予算：860,000円／決算：858,064円

1 事業内容

- ようせいこども会と協力し、小中学生対象のWS「ようせいアートむら」を実施した。
「ようせいアートむら」ではダンスや怪談作り、演劇のWSを行い、サロンでお化け屋敷や、演劇作品の上演を実施した。
また、東山青少年活動センターと協力して障害を持った中高生を対象とした居場所づくり事業「Co.Co.ひろば」を実施した。
「バケツ田んぼ」や「フリーガーデン」「みんなの本棚」を継続し、ふれあいサロンの魅力を高める活動をした。

2 準備段階での工夫

- 京都学生演劇祭実行委員会、かもがわデルタフェスティバル実行委員会、ようせいこども会、東山青少年活動センターの協力を得て事業を実施した。
- SNSを使った広報。他の提案事業との協働。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回5～10名の参加を目標とした。ふれあいサロンを訪れる人を増やし、地域の活性化を促すことを目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 各回10～15名の参加があり、目標を上回った。
- 「劇を作るのが楽しかった」「初めて焼き芋をした」「わたしも来年は何か野菜を育てたい」などの声がきかれた。

4 今後の抱負

- 「立ち寄りやすいサロン」「なにか面白いことをやっているサロン」を目指し、更なる工夫をこらした事業を展開したい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域に係わる展示事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：『出町柳今昔写真展』：年間通し／
『いきセンの思い出』展示会：R8年2月20日(金)～2月28日(土)
- 2 開催場所：ふれあいサロン／左京西部いきいき市民活動センターロビー
- 3 参加人数：来場者約300名
- 4 協力団体等：大谷大学地域連携プロジェクト「聞き取りを通じた共生社会推進プロジェクト」／左京東部いきいき市民活動センター
- 5 予算：260,000円／決算：258,194円

1 事業内容

- ふれあいサロン和室に『出町柳今昔写真展』と銘打って地域の古い写真を常時展示した。また、大谷大学、左京東部いきいき市民活動センターと協力し、『いきセンの思い出』と題し、地域の方々にインタビューしたものをパネルにして展示した。

2 準備段階での工夫

- 大谷大学地域連携プロジェクト「聞き取りを通じた共生社会推進プロジェクト」、左京東部いきいき市民活動センターのご協力をいただき、実施した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 100名の来場を目標とした。
地域の歴史や特色を知ることによって古くからの住民と最近引っ越してきた住民との交流を促進し、外部に発信することで、地域の魅力を地域外の人に知ってもらうことを目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 展示期間中の来場者は約300名で目標を上回ることができた。
- 「話しているうちに子供のころのことを思い出せた」「自分が今やってる活動の基みたいなことを再確認出来てよかった」などの意見が聴かれた。

4 今後の抱負

- 再開発で地域の景色が変わっていく中で、地域の歴史を保存し、声を残していく取り組みは継続したいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ふれあい食事会（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R7年4月26日(木)より毎月第4木曜日の12時～15時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：のべ140名
- 4 協力団体等：モンパン食堂 京都 Tera.Coya 京都市立養正浴場 ようせいの家
- 5 予算：360,000円／決算：352,750円

1 事業内容

- 誰もが参加できる「ふれあい食事会」を毎月第4木曜日、年計12回開催した。R8年1月から食事会だけでなく、参加者自身が食べ物を作るワークショップも開催した。

2 準備段階での工夫

- モンパン食堂、京都 Tera.Coya、京都市立養正浴場、ようせいの家のご協力をいただき、実施した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- のべ120名程度の参加者を目標とした。
「ふれあい食事会」を介した多世代交流がを促し、高齢者だけでなく、幅広い年齢層の居場所づくりを促進することを目指した。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数はのべ約140名で、目標を上回った。
- 参加する高齢者の方々も配膳やワークショップなどに協力してくれるようになり、喜んでいただいている。

4 今後の抱負

- 食事会を単に無料で食事ができる場所と捉えた湖底の参加者が出てきたため、令和8年1月から食事会+ワークショップとした。単に食事を共にするだけでなく、「交流の場」であることを強く打ち出した。今後は各地の郷土料理なども取り入れ、食文化研究会として、食事を通じた多文化交流の場にもしていきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：4,967,400 円（前年度比 105.3%）

内訳 会議室等：4,901,000 円
付属設備：66,400 円 ※自主事業分を除く

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】 令和7年11月実施

【調査項目】 窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

満足	普通	不満	無回答	総数
82.5%	17.3%	0.2%	0%	103

(2) センター独自アンケート

○概ね満足との回答を得た。

3 意見等への主な対応状況

○ 丁寧な対応を評価されていたので、全職員に一層の対応、清掃を心がけるよう伝えた。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

実施した提案事業は概ね好評なので改良しながら継続していきたい。

左京東部いきいき市民活動センターが除却になった影響で左京西部の利用が増加していると思われる。

- 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

左京西部と左京東部は距離的にも近く、お互いの職員が融通しあうことができたが、今後は難しいため、新たな職員の募集、育成が急務と考える。

- 次年度に向けた対応について記載してください。

引き続き利用者の利便性向上と、地域の活性化を促し、利用率上昇につなげたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

特になし

【締め切り】

5月22日（金）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙18部提出

※ 収支決算書は、5月15日（金）までに提出してください。

京都市左京西部いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

指定管理者名 特別非営利活動法人劇研
代表者名 杉山 準

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		12,202,090	12,202,090	0
利用料金収入		4,900,000	4,967,400	67,400
その他収入	会議室等		4,901,000	4,901,000
	スモールオフィス			0
	付属設備（自主事業を除く）		66,400	66,400
	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費			0
				0
				0
当期収入合計		17,102,090	17,169,490	67,400
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		7,722,090	8,085,476	▲ 363,386
	常勤職員		3,372,710	▲ 3,372,710
	非常勤職員		3,305,443	▲ 3,305,443
	法定福利費		884,444	▲ 884,444
	福利厚生費		522,879	▲ 522,879
光熱水費		1,970,000	1,787,383	182,617
	電気代		1,370,812	▲ 1,370,812
	ガス代		40,957	▲ 40,957
	水道代		375,614	▲ 375,614
施設管理費		950,000	449,535	500,465
	樹木剪定			0
	定期清掃等			0
	機械警備		245,850	▲ 245,850
	消防保守点検		162,800	▲ 162,800
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物			0
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検			0
	空気環境測定等			0
	ゴミ廃棄		40,885	▲ 40,885

事務費		450,000	638,812	▲ 188,812
電話代				0
印刷費			67,508	▲ 67,508
通信費			278,787	▲ 278,787
消耗品費			176,104	▲ 176,104
事務用品			79,343	▲ 79,343
支払い手数料			37,070	▲ 37,070
雑費				0
修繕費		200,000	63,470	136,530
給湯器修繕			63,470	▲ 63,470
〇〇修繕				0
				0
備品購入費（５万円以上の物品）			0	0
				0
				0
				0
租税公課		1,060,000	948,822	111,178
消費税			948,822	▲ 948,822
〇〇税				0
				0
その他			6,100	▲ 6,100
賠償責任保険保険料			6,100	▲ 6,100
				0
施設運營業務支出合計		12,352,090	11,979,598	372,492
２．事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,270,000	3,266,960	3,040
多文化共生促進事業		1,160,000	1,157,020	2,980
廃材アートワークショップ事業		680,000	681,079	▲ 1,079
ベビー＆キッズ用品交換会事業		660,000	659,596	404
まちづくりサポーター育成事業事業		770,000	769,265	735
				0
サロン運営・活用事業費		1,480,000	1,469,008	10,992
サロン活性化サークル育成事業		860,000	858,064	1,936
地域に係わる展示事業		260,000	258,194	1,806
ふれあい食事会事業		360,000	352,750	7,250
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		4,750,000	4,735,968	14,032
当期支出合計		17,102,090	16,715,566	386,524
当期収支差額		0	453,924	453,924

令和 7 年度 事業報告書 左京東部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 7 名（常勤 1 名、非常勤 6 名載）

【人材育成の取組】

・定例の研修会の実施（ハラスメント研修）

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
310	288	265	366	397	425	412	409	331	307	368	397

(年間) 4276 件 (前年度比 95%)

イ 利用状況

閉館に向けての最終年度となったが、多くの利用者が閉館ギリギリまで利用してくださり、前年度とさほど変わらない利用件数となった。利用時間についても前年比 98% という事で、ほぼ前年並みが維持された。

多くの閉館を惜しむ声が聞かれた事はこのセンターに愛着を持っていただけだ証だと感じた。

ウ 利用促進に向けた取組

特になし。

エ その他

自由利用がほぼなくなった。地元自治会による子ども食堂などの事業が増加し、占有利用は前年度比 150%となった。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

X による情報発信を定期的に続けた。閉館に関わる投稿では 7.8 万回が表示され、いいねが 710、リツイートが 248 つくなど大きな反響があった。最終的なフォロアー数は 595 (前年比 109%)。

イ 取組の効果

施設で働いていた若者が企画した、クロージングイベントの一環で壁に貼られた紙に老若男女、外国の方まで多くの方が温かいメッセージを寄せていただいた。センターの存在が活動を後押ししていたことが実感できた。

(4) 管理運営

義務化されている防災設備点検。建物点検、電気設備点検等を実施した。日常的な清掃、美化活動に加え、年数回全員で庭の草刈り、剪定、館内の大掃除等を実施した。

(5) その他

センターが過去に行ってきた事業のチラシの展示、クロージングイベントでの館内案内、いきセンの建物にまつわる思い出のインタビューを実施し、センターの存在が利用者や市民の思い出に刻まれるような活動を実施した。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み1 『多様な交流の促進事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 令和7年5月3日（土）18時30分 等
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター 集会室
- 3 参加人数： 885名（前年比191%）
- 4 協力団体等： 京都国際舞台芸術祭、C.T.T.京都事務局、T-position Ballet など参加団体
- 5 予算： 1,964,900円 / 決算：2,161,800円

1 事業内容

「新緑の文化祭」「秋の文化祭」「冬の文化祭」と題して、センター利用者の活動を紹介する交流事業を実施した。センターの利用者間の交流のみならず、京都国際舞台芸術祭や演劇の試演会を上演する団体 C.T.T.と連携するなどし地域内外の交流促進を促進した。

2 準備段階での工夫

京都国際舞台芸術祭との連携などができたことで、集客数やセンターを今まで知らなかった方々に多く足を運んでいただけた。

演劇上演では会場のしつらえに手間と人手がかかるが、そうした場面で演劇に関心ある、若者がボランティアとして運営に関わってくれた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

センターの利用者間の交流のみならず、地域内外の交流促進を目指す。

センター利用者による講座やワークショップ、演奏会等の催しを同時期に開催し、センター利用者の活動内容を紹介するとともに、地域団体と連携した催しも実施する。

（2）事業実施による目標の達成度

○ トータルで885名の集客があり、概ね全回満席という盛況で終えることができ、かつ老若男女、地域内外、外国ルーツの方もたくさんお越しいただき、アンケートの結果からはほとんどの方から大変満足、満足の評価をいただくことができた。当初の目標は十分達成できた。

○ アンケートからは以下のようなご意見も聞かれた

市民劇公演「昨年見て面白かったのでまた岐阜から見に来ました。本当にエモいです。

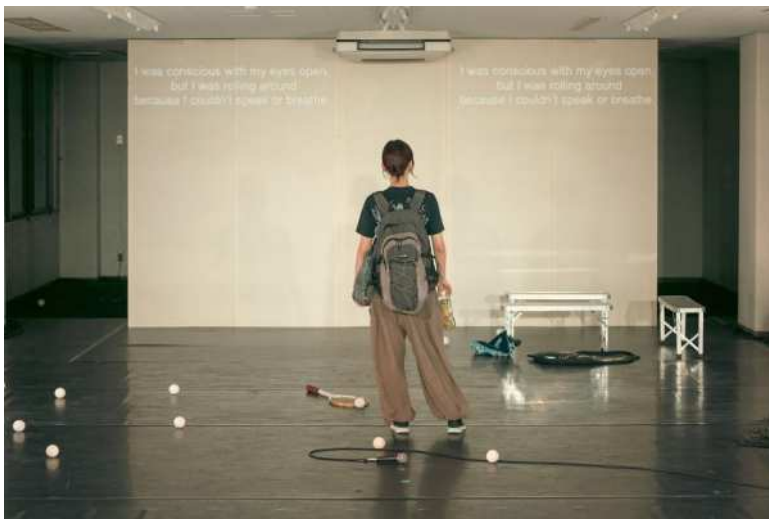
本当に面白い。ファンです。2回見て舞台のすみずみまで見ましたが、本当に色々細かくてすごい。言葉と動作があつてセリフとかおもしろいなって思いました。」「I had great time,even if I could not get everything.Please continue!」

4 今後の抱負

- せっかくここまで盛り上がってきた催しがここで終了するのは大変残念である。ここでのノウハウをまた別の場所で活かしていきたい。



新緑の文化祭 市民劇公演『ニューオンド ラボ』



秋の文化祭 村川企画『テニス』

撮影：吉見峻 提供：KYOTO EXPERIMENT Photo by Ryo Yoshimi. Courtesy of Kyoto Experiment



秋の文化祭後期 京都レディースシンガーズ

【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み2『市民への聞き取り事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：2025 年 6 月 5 日（木）11 時～12 時 等
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 聞き取りボランティア(大学生)：6 名 展示来館者多数
- 4 協力団体等： 大谷大学社会学部
- 5 予算： 879,700 円 / 決算：879,700 円

1 事業内容

今後 10 年かけて変貌を遂げつつある、錦林市営住宅および、養正市営住宅団地にお住まいの方（以前に暮らしていた方）に聞き取りを行い、それを冊子にまとめ、発表した。聞き取りのテーマは「いきいきセンター（学習センターまたは隣保館）の思い出」。聞き取りにあたっては、大谷大学社会学部と共同で実施した。聞き取りに参加する学生やボランティアには、聞き取りのための研修としてコミュニケーションワークショップを実施、また聞き取り関する研修も聞き取りグループごと個別に実施した。

2 準備段階での工夫

今年も大谷大学社会学部と連携し、授業の一環で大学生も共に聞き取りを行った。聞き取りを行う大学生に対して、ワークショップや研修を実施した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

インタビューを通じて、地域のことや建物のこと、そこで行われていたことなどを広く知っていただく。

（2）事業実施による目標の達成度

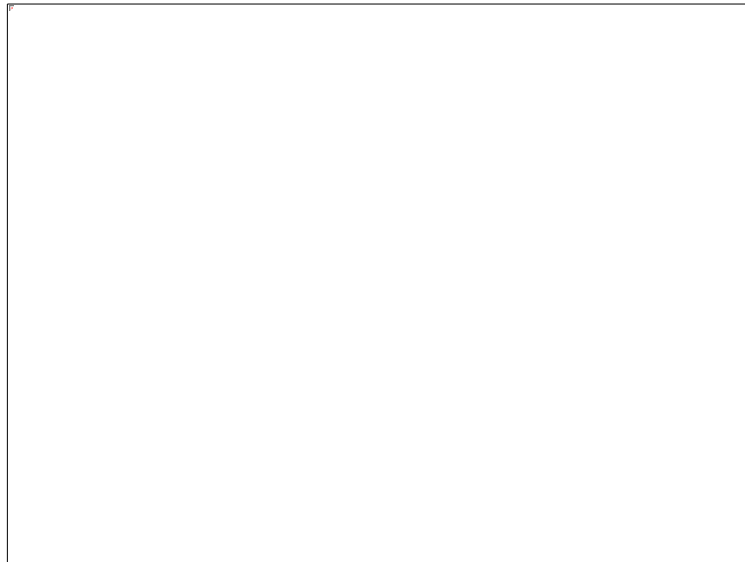
現在のいきいきセンターがそれ以前にどのような場所でどのようなことがおこなわれていたかを、伺うことができ、いきセン利用者に知ってもらえた事は意義があった。また、それを大学生と共有できたことも彼らにとって有意義な学びの機会となった。インタビューさせていただいた皆さんに、大変好意的に成果を受け取っていただいた。

4 今後の抱負

この事業のノウハウを他のセンター等で活かしていきたい。

事業風景の写真

インタビュー風景



【事業名】芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み3『文化ボランティア育成事業』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 4 月 28 日（月）10 時～15 時 等
- 2 開催場所： 左京東部いきいき市民活動センター 集会室、サロン
- 3 参加人数： 9 名
- 4 協力団体等：スタジオぐるり、At-Kyoto、すわるばキッズ
- 5 予算： 220,400 円 / 決算：220,400 円

1 事業内容

事業の運営を支え、協力してくれる「文化ボランティア」を募集し、当センターが主催する文化関連の事業において受付等の手伝いなどボランティア活動を行っていただいた。事業ごと SNS を活用した募集を行い、説明も随時開催した。

2 準備段階での工夫

サロン活性が事業で協力いただいた、スタジオぐるりさん、At-Kyoto さん、すわるばキッズさんに特に募集にあたって協力いただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

当センターの事業をサポートしてくれるボランティアを 10 名集め、サロン活性化事業等に関わっていただく。

（2）事業実施による目標の達成度

10 名の目標は達成できなかったが、9 名のボランティアに今年は参加していただいた。交流促進事業（文化祭）や、サロン活性化事業で設営や受付、子供たちが多く集まる際にボランティアをお願いした。ボランティアの皆さんにもやりがいがあり、満足していただけた。交流事業の受付補佐なども担っていただけたのは昨年より機会が増えてよかった。

4 今後の抱負

ここでできた繋がりや、別の場所でもいかしていきたい。

ボランティア活動風景



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】居場所作りを通じた、市民活動支援事業 取り組み1『サロンに集おう』（「影絵人形を作ろう」、「影絵とアートと交換会」）（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：影絵人形を作ろう：令和7年9月12日10時～12時 等
- 2 開催場所：左京東部いきいき市民活動センター サロン
- 3 参加人数： 117名
- 4 協力団体等： 錦林保育所、錦林社会福祉協議会
- 5 予算： 1,058,000円 / 決算： 1,058,000円

1 事業内容

錦林東山学区の社会福祉協議会、錦林保育所と連携して、サロンにより多様な方が集える事業を実施する。高齢者や親子連れが集って手作業をおこなう『影絵人形を作ろう』および『子育て中の親子の交流事業』として、おもちゃ、絵本、衣服など子供用品の無料交換会を実施するとともに、『影絵人形を作ろう』で制作した影絵の上演、および廃材を使った親子向けアート講座を実施した。

2 準備段階での工夫

ボランティアの協力を求め、廃材アートなどでボランティアに活躍いただいた。

錦林保育所の子供達に参加を呼びかけたり、社会福祉協議会の役員さんに影絵人形作りの協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

多世代交流やサロンの活性化

（2）事業実施による目標の達成度

参加された方々のほとんどから満足の声をいただいた。

4 今後の抱負

会場を替えてぜひ引き続き継続していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

【事業名】市民の社会関与を促進する事業 取り組み1『市民活動団体活動勉強会』（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 10 月 ～ 12 月 等
- 2 開催場所：左京西部・東部いきいき市民活動センター及びサロン 等
- 3 参加人数： 冊子配架 1000 部／過去分合わせて映像再生回数 593 回
- 4 協力団体等： ようせいこども会
- 5 予算：898,000 円 / 決算：898,000 円

1 事業内容

養正学区で活動するこども会の上林会長さんにヒアリング調査を行い、地域の課題の実情を把握する。また、ヒアリングした内容や活動を映像で記録し編集の上インターネットで紹介するとともに、紙媒体でのレポートも作成し、センター等で配布した。

2 準備段階での工夫

左京西部いきいき市民活動センターと連携関係にあるようせいこども会さんを取りあげ、その活動を取りあげることで、その他の活動の後押しとなることを企図した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

社会活動をおこなう方を紹介し、その活動や意義を広く知っていただく。

(2) 事業実施による目標の達成度

すでに3人の方を紹介して、その後もホームページでインタビューの動画を見られるようにしているが、年を経るごとに再生数が増加している。今年取り上げた上林さんの再生数はまだ少数だが、今後増えていくことが予想される。

4 今後の抱負

次年度以降も場所を移し継続していきたい。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：5,832,850 円（前年度比 93%）
内訳 会議室等：5,674,000 円
付属設備：158,850 円 ※自主事業分を除く

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和7年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
90.1%	9.9%	0%	0%	0%

(2) センター独自アンケート

一般に開かれた事業でのアンケート結果／100%が満足、大変満足という意見をいただき、感想などほぼ全てがセンターの存続を希望する意見だった。

3 意見等への主な対応状況

特になし。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

・事業は概ね好評をいただき、今までの取り組みが積み重なったことで、広がりを産むことができた。

・センター閉館を惜しむ声と感謝の声が多く聞かれた事はこのセンターが一定市民の理解支持を得られた証だと評価している。

・ここでのノウハウをまた別のセンター等で活かしていきたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

特になし

【締め切り】

5月22日（金）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙18部提出

※ 収支決算書は、5月15日（金）までに提出してください。

京都市左京東部いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

指定管理者名 特定非営利活動法人劇団
代表者名 理事長 杉山 準

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		16,433,320	16,433,320	0
利用料金収入		7,509,520	5,832,850	▲ 1,676,670
その他 収入	会議室等		5,674,000	5,674,000
	スモールオフィス			0
	附属設備（自主事業を除く）		158,850	158,850
	光熱水費分担金		1,036,445	1,036,445
	個別事業参加費	211,000	467,900	256,900
				0
				0
当期収入合計		24,153,840	23,770,515	▲ 383,325
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		11,022,840	10,757,248	265,592
	常勤職員		4,330,440	▲ 4,330,440
	非常勤職員		4,851,253	▲ 4,851,253
	法定福利費		1,222,809	▲ 1,222,809
	福利厚生費		352,746	▲ 352,746
光熱水費		4,700,000	5,073,505	▲ 373,505
	電気代		4,725,491	▲ 4,725,491
	ガス代		41,293	▲ 41,293
	水道代		306,721	▲ 306,721
施設管理費		840,000	520,322	319,678
	樹木剪定			0
	定期清掃等			0
	機械警備		171,270	▲ 171,270
	消防保守点検			0
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物		314,292	▲ 314,292
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検			0
	空気環境測定等			0
	ゴミ廃棄		34,760	▲ 34,760

事務費		700,000	954,108	▲ 254,108
	電話代			0
	印刷費		36,307	▲ 36,307
	通信費		641,260	▲ 641,260
	消耗品費		85,811	▲ 85,811
	事務用品		54,498	▲ 54,498
	支払い手数料		52,695	▲ 52,695
	雑費		83,537	▲ 83,537
修繕費		530,000	114,400	415,600
	ピアノ調律		42,900	▲ 42,900
	空調修理		71,500	▲ 71,500
				0
備品購入費（５万円以上の物品）			0	0
				0
				0
				0
租税公課		1,400,000	1,181,704	218,296
	消費税		1,181,704	▲ 1,181,704
	〇〇税			0
				0
その他			13,240	▲ 13,240
	賠償責任保険保険料		13,240	▲ 13,240
				0
施設運營業務支出合計		19,192,840	18,614,527	578,313
２．事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,963,000	4,159,900	▲ 196,900
	芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業取り組み１	1,964,900	2,161,800	▲ 196,900
	芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み２	879,700	879,700	0
	芸術・文化を活用した地域のまちづくり事業 取り組み３	220,400	220,400	0
	市民の社会関与を促進する事業	898,000	898,000	0
サロン運営・活用事業費		1,058,000	1,058,000	0
	居場所作りを通じた、市民活動支援事業	1,058,000	1,058,000	0
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		5,021,000	5,217,900	▲ 196,900
当期支出合計		24,213,840	23,832,427	381,413
当期収支差額		▲ 60,000	▲ 61,912	▲ 1,912

令和7年度 事業報告書
久世いきいき市民活動センター

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 4 名（常勤 2 名 非常勤 3 名）

【人材育成の取組】

- ・月に 1 回全体ミーティングを行う。窓口アンケートを調査し、分析するなどにより運営の質を向上するよう努めた。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
31	30	27	30	56	52	42	51	53	43	50	57

(年間)

522 件（前年度比 136.3%）

イ 利用状況

- ・前年度比で大幅に増加した。

ウ 利用促進に向けた取組

- ・令和 6 年度にダンスなどに使える鏡がある部屋を 1 部屋増やしたことで、利用を確実に捉えることができた。
- ・直接、声掛けをすることにより定期的な利用につなげることができた。
- ・令和 8 年度を見据え、地域住民にも声をかけ、いきセンに足を運んでもらえるように取り組んだ。また、試験的にサロンを活用した地域住民向けの取組を企画するなど新たな取組を実施した。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ・HP を刷新した。
- ・X を活用した SNS での情報発信は引き続き行うとともに、地域住民に直接声をかけるなどした。

イ 取組の効果

- ・8 月以降に利用が増加するなど効果が見られた。

(4) 管理運営

- ・年に 2 回メンテナンス（消防・建物管理）を行った。
- ・毎日の清掃、周辺の管理は従業員全員で行った。

(5) その他

- ・利用者等の利便性向上のため、飲み物の自動販売機を設置した。
- ・センターへの来所手段である公共交通機関の本数が少ないという弱点を克服するため、LUUP（シェアサイクル）の誘致を試みた（結果的に採用されなかった。）。

2. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

- 1 利用料金の収入実績 **【暫定値】**
令和7 年度実績：561,600 円（前年度比 130.4%）
〔内訳 会議室等：561,600 円〕
- 2 管理運営に係る経費の収支決算
別紙収支決算書のとおり **【提出待ち】**

3. 施設の利用者満足度の把握

- 1 利用者満足度の把握状況
(1) 全センター共通窓口サービス調査
【実施時期】 令和7年11月実施
【調査項目】 窓口サービス
(2) センター独自アンケート
事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

- (1) 全センター共通窓口サービス

満足	普通	不満	無回答	総数
97.6%	2.4%	0%	0%	83

- (2) センター独自アンケート
・概ね満足と回答していただいた。
- 3 意見等への主な対応状況
・改善を要望する内容はなかった。

4. 管理運営業務の評価

○取り組んだ事業等の総括

- ・ 市民活動支援・活性化事業を実施しておらず、貸館が主体となるため、貸館の利用促進に取り組み、前年比で約4割増となったことは評価できる。

5. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

特記事項なし

令和7年度 事業報告書

岡崎いきいき市民活動センター



【指定管理者：特定非営利活動法人 音の風】



1. 管理運営の状況 1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 11 名（常勤 1 名、非常勤 10 名）

【人材育成の取組】

- ・ OJT 研修
- ・ 自己研修

(2) 貸館等

ア 利用件数 (表 1)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
R6	141	134	150	139	135	161	165	148	130	134	126	160	1,723	101.12%
R7	147	147	142	136	140	144	164	152	141	134	125	125	1,697	99.59%

(年間) 1,697 件 (前年度比 99.59%)

(表 2) 月別時間

R7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
午前	132	127	112	114	128	122	122	133	113	113	115	113	1,444
午後	180	182	174	163	142	165	189	184	168	160	175	188	2,070
夜間	53	48	45	34	39	48	70	47	50	39	27	23	523
R7年計	365	357	331	311	309	335	381	364	331	312	317	324	4,037
R6年計	330	315	358	336	313	389	379	364	315	322	299	394	4,114
R5年計	316	320	319	313	330	387	342	292	293	276	318	371	3,877
前年度比	110.61%	113.33%	92.46%	92.56%	98.72%	86.12%	100.53%	100.00%	105.08%	96.89%	106.02%	82.23%	98.13%
一昨年度比	115.51%	111.56%	103.76%	99.36%	93.64%	86.56%	111.40%	124.66%	112.97%	113.04%	99.69%	87.33%	104.13%

イ 利用状況

① 年間の利用状況について

件数でみると前年から微減し 99.59% (表 1)、時間は 98.13%と減っている。

R7 年に新規登録件数は 61 件あったが、利用時間にはプラスとして反映されていない。

表 1



② 改善

- 課題 ・ 会議室に比べ和室の利用が少ない。夜間の利用が少ない。



ウ 利用促進に向けた取組【センターで取り組んだこと】

和室利用に向けた体操やヨガのサークルへ積極的に働きかけた。大学生のサークルの新入生歓迎イベントなど、椅子・机を必須としない団体にも利用を勧めた。

また比較的空いているので、いつも利用していた会議室が使えず、和室を使った子ども書道のサークルは、小さな子どもは低い長机のほうが集中できたと喜んでおられた。

夜間の利用に関しては、大学生サークルの定期的な利用が減ったので、幅広く声をかけている。

(3) 情報発信等

ア 取組実績【SNS 等広報媒体により、情報発信に積極的に取り組んだ事例】

- ・HP、Facebook、X（旧ツイッター）と3つのSNSを情報発信の特性に応じて分けている。
- ・HPはこれから行う事業の告知と、終了した事業を報告している。いくつかの提案事業では専用ページを作り、内容の告知や出演するサークルの紹介などを行った。

また新規利用者の登録がスムーズに進むように登録用紙や利用規約をダウンロードして記入できるようにしている。新規利用について電話で問い合わせがあった際は、来館しなくても登録できるように利便性を高めている。

- ・Facebookでは事業の報告、Xは日々のニュースや、他のセンターや近隣施設のポスト、そして助成金情報などのリポストなどを日々気軽におこなっている
- ・地域自治推進室を通じた区民新聞への広報もこまめに広報依頼をしているほか、京都新聞のお知らせ欄「まちかど」にも依頼している。
- ・地元町内会対象に「岡崎いきセン便り」を季節ごとに作成し回覧している。

イ 取組の効果

- ・レコードを聴く会、ワールドミュージックを聴く会などでは事業終了後にすぐFacebookで報告をあげるとともに、次回の事業の予告を行っている。企画者の終了後の満足度の向上と共に次回への集客につながっている。
- ・区民新聞や、京都新聞のお知らせ欄「まちかど」に掲載することで、事業への新たな参加者が一定数おられる。また新規のサークルにも「まちかど」のことをお伝えし参加者が増えたと喜んでおられた。
- ・地元町内の回覧や、センターの掲示板で事業を周知したことで、事業の参加や会議室利用につながった。

(4) 管理運営

京都市との協定書及び仕様書に基づき、適切に管理運営を行っている。

防火管理者の講習は2人のスタッフが受けている。

業者による、建築設備、消防設備の保守点検を受けた。年に2回のワックスがけ等の清掃もしている。普段の清掃、保守管理、草花の植栽はスタッフにより実施している。

(5) その他

【施設運営の質を高めるための取組】

- ・京都市の定期アンケートのほか独自アンケート、事業ごとにアンケートを実施し利用者の意見を聞いている。詳細は後述「4 施設の利用満足度」。
- ・各建物にご意見ボックスを設置し、窓口でも利用者への積極的な声掛けで良好なコミュニケーションをとっている

【将来に向かって地域と共に進化するための取組】

- ・地元密着型公共施設として地域とのパートナーシップを強化し、小回りを利かせた活動で地域団体との協働をすすめている。地元施設からの依頼で、学校や当センター利用者を地元施設イベントの出演につなげている。
- ・今年初めて **Kokoka** 京都市国際交流会館の春のマルシェのステージ出演者の募集に協力した。予定以上の出演者を集めイベント運営に寄与し国際交流会館との連携が深まった。
- ・左京区役所ふれあいまつり等の地域イベントに当センターのサークルを紹介し盛りあげた。

2. 市民活動支援・活性化事業

【事業名】市民活動自立自走事業 相談・育成事業

1 事業の概要

	業務内容	日時	場所	人数	協力団体等
①	ロームスクエアライブ 『岡崎パークステージ』 出演グループコーディネート	10/4, 10/5	ロームシアター京都パーク プラザ西側	出演 328 名 観客多数	ロームシアター京都
②	ドラムサークルグループ A) スキルアップ講座 B) スキルアップ実践体験	A) 1/17, 1/25 B) 7/22, 7/24	A) センター B) 京都大学学 童保育	A) 各日 16 名 B) 募集 4, 5 名に 対して両日 5 名	
③	しみセン・いきセン合同 『みんなの文化祭』	3/15	ひとまち交流 館大会議室、 第 1, 2 会議 室他	16 団体のステー ジ（当センター 2 団体）、24 団体 出展（同 6 団 体）	しみセン、9 か 所のいきセン
④	センター利用団体の活動 サポート、地域へのコー ディネート ア) 左京区ふれあい祭 イ) kokoka 春のマルシェ ウ) 古典ヨガ、社会福祉協 議会	ア) 11/3 イ) 3/28, 3/29, 4/4, 4/5 ウ) 3 月	ア) 左京区役所 イ) 京都市国際 交流会館	ア) 出演者 7 名＋ 観客多数 イ) 出演団体 15 組 コーディネート	ア) 左京区役所 イ) 国際交流会 館 ウ) 左京区社会 福祉協議会
⑤	センター利用者メンバー 募集チラシ&HP	チラシ 6 月発 行	センター	チラシ 19 団体 HP 22 団体	
⑥	サークル活動アドバイ ス、チラシ作りお手伝い	常時	センター	ヨガ、書道、ギ ターサークル	
予算：1,222,000 円 決算：1,221,488 円					

2 事業内容

① ロームスクエアライブ『岡崎パークステージ』に地域団体や当センター利用者の出演をコーディネート 10/4：あおい苑（障がい者施設）、子どもコーラス Comodo、岡崎リトルポップスターズ、キャナリアンヴォイセズ、シャイニングスターズ、Kyopella、錦林児童館、文教中学高等学校ダンス部 10/5：ドラムサークルグループ、翠響、歌って健康コーラス、DuoElle、バルヴィノク、岡崎中学校吹奏楽部 ② ドラムサークルグループサポート ドラムサークル養成講座受講生向けにフォローアップ講習を行った。また実践経験を積むために学童保育でのドラムサークル活動のコーディネートを行った。 ③ みんなの文化祭 しみセンと 9 つのいきセンの利用グループが展示とステージ発表を行った。当センターからもステージ発表に 2 団体と展示に 6 団体をコーディネートした。他のセンターのスタッフの方と一緒に当日の運営を行った。 ④ センター利用団体の活動サポート、地域へのコーディネート 左京区民ふれあい祭りに、センター利用団体こどもコーラス Comodo を出演、オープニングイ
--

ベントで会場を盛り上げた。国際交流会館の春のマルシェイベントのステージ出演者の募集に協力をした。センター利用団体の他、幅広く声をかけて予定出演枠 12 枠を超えて集めた。枠は結果 16 団体まで増やし内 15 団体を当センターでコーディネートした。

- ⑤ サークルメンバー募集のチラシ 19 団体掲載と HP に 22 団体を載せたメンバー募集頁を作成
- ⑥ ヨガサークル、書道サークル、ギターサークルの立ち上げのサポート。ヨガサークルは不定期に、書道サークルは定期活動につながった。

3 準備段階での工夫

- ① ロームスクエアライブでは、出演者の今後の自走活動への広がり期待し、センター利用者のみの出演に留まらず、地域の多様な主体との双方向の出会いの場となるよう事前に働きかけを行った。
- ② 講座終了後のドラムサークルグループに参加していないメンバーが参加しやすい講習内容とし、メール、ライングループ以外に葉書などで全員に呼び掛けた。
- ③ 当センタースタッフが、当日の役割のため出演グループのフォローなどが十分にできないことを想定し、出演者、出展者には事前に当日の動きや準備片付けなどの説明を綿密に行った。
- ④ 国際交流会館の担当者の方が新しくなり、ズーム会議などで打合せを行った。その際に募集に必要な詳細を十分にヒアリングし、出演者に効率よく募集条件を伝えた。
- ⑤ メンバー募集チラシに掲載できなかったサークルについては、HP でメンバー募集を行った。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

当センターの利用者、グループの活動の活性化をはかる。市民活動グループの自立自走を目指す。またグループの活動活性化を促進することで、貸館利用の拡大も狙う。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・ ローム・スクエアという大きな会場で発表した地域出演団体は、それぞれ活動へのモチベーションが高まっていた。また、ご家族だけでなく地域の方々多数いる会場なので、団体の認知向上で地域との関係が深まり、今後の地域活動の幅も広がることが想定される。
- ・ 発表の場を求めている、地域団体、サークル活動を活性化することができた。
- ・ メンバー募集チラシや HP で、新規加入者があり活動が活性化した。
- ・ 一般市民にセンターの取組みを周知することができた。

○アンケート結果より

① ロームスクエアライブより：地域イベントへの協力について

- (ア) 地域イベントに参加し様々な方たちとの交流ができる機会是有難いです。(あおい苑)
- (イ) 本当に貴重な機会で有難く思っております。地域の方々に無料で見ていただける、保護者にも見ていただけることはとても嬉しいですし、観客の皆さんとの距離も近かったのもより楽しく踊れました。(文教中学高等学校)

5 今後の抱負

- ・ 普段の対応や会話から、サークル活動の立ち上げや活性化のサポートを続けていきたい。
- ・ 利用者のサークル活動を、児童施設や老人福祉施設、障がい者施設にボランティアに出かけるような市民活動へ進化させていきたい。
- ・ 新規サークルの立ち上げや利用団体の活動の活性化による貸館利用時間の増加を目指す。

市民活動自立自走事業「相談・育成事業」



ロームスクエアライブ 文教高校ダンス部



ロームスクエアライブ 国際交流会館より紹介
ウクライナのダンス パルヴィノク



ドラムサークルスキルアップ講習



みんなの文化祭 当センターよりオカリナサークル



みんなの文化祭 設営風景



左京区ふれあい祭り 子どもサークルコーディネート



Kokoka 春のマルシェ コーディネート



Kokoka 春のマルシェ

【事業名】 市民活動自立自走事業 イベント企画支援「青空おんがく会、おかっぱ」

1 事業の概要

- 1 開催日時:ホシノカケラ主催 R7 年 10 月 19 日(日)、ピアノサロン主催 R7 年 11 月 12 日(水)
おかっぱ R7 年 9 月 21 日 (日)
- 2 開催場所:センター 音の庭 (二条通に面した小庭)
- 3 参加人数:ホシノカケラ 企画者:ホシノカケラ 3 名、出演者:8 組、観客、約 50 名
ピアノサロン 企画者:ピアノサロンより 3 名、出演者:12 名またはグループ
おかっぱ 企画者:オカリナ奏者 1 名、
- 4 予算: 504,000 円 / 決算: 503,056 円

2 事業内容

【実施目的】 サークル活動から市民活動へ一歩踏み出すために、自ら市民交流イベントを開催する企画力の養成を行う。

【実施内容】

センター利用団体に、センター二条通に面した庭での音楽イベント企画を募集し、昨年と同じくコーラスグループ「ホシノカケラ」と新しくピアノサロンが応募。グループに合わせてイベントの企画立案から運営までのサポートを行った。また 1 人で楽器演奏をしたいという要望もあり対応した。

【役割】

- ・企画者: イベントの出演者の出演依頼、企画立案、チラシ作成、広報、準備、設営、司会進行、音響等、片付け。
- ・センター: 場所、市内各所へのチラシ配架依頼、SNS 等での広報。音響。写真・動画撮影、他運営補助全般。

3 準備段階での工夫

- ・ピアノサロンのおんがく会は企画者にとっては初めてのイベント企画で、シニアのチラシ作成へのアドバイス、メンバー間での役割分担など丁寧に説明した。
- ・一人で演奏したいという希望者があったので、音の庭で発表できるルールを作成した。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

サークル活動から市民活動へ一歩踏み出すために、自らイベントを開催する企画力の養成

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・【ホシノカケラ主催】 イベントの運営には慣れ、第一段階の目標は達成された。また経験を積むため、京都市のサブウェイパフォーマーに R8 年より登録している。
- ・【ピアノサロン主催】 初めての企画でグループ内で役割を分担し発表することができた。

5 今後の抱負

両企画グループ自身が次年度への課題を見つけており、今後の課題の克服に向けて考えているので、センターとして見守る形で企画力の育成を図る。

また、おかっぱについては広く告知し、様々なグループの発表の場を提供したい。

ホシノカケラ主催 青空おんがく会 2025年10月19日(日)



午前中より、準備。リハーサルの様子



インド音楽ユニット K&I



はじめての発表、ジェリーズ



二条通からも見守る観客

ピアノサロン主催 青空おんがく会 2025年11月12日(水)



サロンメンバーによる司会と演奏



メンバーによる集合写真

おかっぱ(岡崎アートパフォーマンス)
2025年9月21日(日)



(右おかっぱ)8
近隣施設のイベントに合わせてのオカリナ演奏

【事業名】市民活動自立自走事業 まちあるき&手作りマップ

1 事業の概要

- 1 開催日時：①アトラクター講座 11/24（月）13：00～16：00
②まちあるきギャラリー巡りツアー 1回目 11/29（金）12：45～16：30、2回目 12/6（土）12：45～16：30
- 2 開催場所：①当センター会議室2と岡崎近辺のギャラリー、美術館
②当センター和室と岡崎近辺のギャラリー4か所
- 3 参加人数：①18人 ②11/29：9人 12/6：9人
- 4 協力団体等：アートギャラリー百継、ALC Library&Gallery、MtK Contemporary Art、京都市京セラ美術館、ギャラリー胡々湾、ギャラリー一点、計6か所
講師：①美術作家：多田幸浩氏、京セラ美術館副館長：小林中氏
②11/22 多田幸浩氏、11/30 小林中氏
- 5 予算：556,000円 決算：537,788円

2 事業内容

【実施目的】

- ・①ギャラリーやアート作品の魅力を発信するための文章をつくるコツを学ぶ。
- ・②岡崎のまち歩きを楽しみながら、地域の魅力の発見、市民目線での発信を目指す。

【実施内容】

- ・①ギャラリー巡りツアーの講師が講師を勤め、参加者にアート作品や展示情報を文章にし、発信するコツを学ぶ当講座を開催した。また展示会場でアート作品を鑑賞し、参加者同士が文章を発表するワークショップを行った。
- ・②11/29 は美術作家のヒロ氏と、12/6 は京都市京セラ美術館副館長の小林氏を講師に迎え、岡崎エリアを中心としたギャラリーと美術館をそれぞれ各3か所巡った。まち歩きを楽しむとともに、各ギャラリーをペア同士で分かれて取材。センターに戻り、各ペア同士で発表し記事にまとめた。その記事を元にアートのまちである岡崎の魅力を伝えるギャラリーマップを作成し、岡崎の美術館やギャラリーに配布した。

3 準備段階での工夫

- ・①今年度はギャラリー巡りツアーと関連付けるため、ギャラリー巡りツアーの講師のお2人が講師を担当した。
- ・②昨年度はギャラリー間の移動距離が長かったこともあり、距離が短くなるよう配慮した。

4 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・①と②を行い参加者が自主的にギャラリーやアート作品の魅力を発信に目を向けるようになることを期待する。

事業実施による目標の達成度

- ・①今後ギャラリー巡りをした時はSNSに情報発信したいと、数名の参加者が回答していた。

5 今後の抱負

- ・①アンケート結果が高評価だったこともあり、今後も続けていきたい。
- ・②次回は岡崎全域のマップを作成できるようにしたい。また参加者が情報発信できるような工夫をしたい。

市民活動自立自走事業) まちあるき手作りマップ①アートライター講座 ②まちあるきギャラリー巡りツアー

①アートライター講座 11/24



鑑賞した作品を文章化するコツの説明を聞く参加者



展示会場で作品を見ながらペアで文章を考える参加者

②ギャラリー巡りツアー11/29、12/06



ギャラリー巡り出発前にルールの説明を聞く参加者



京セラ美術館の展示を副館長の講師に話を聞く参加者



ギャラリーで講師の話を聞く参加者



ギャラリーオーナーに取材する参加者



作家に質問する参加者



センターで取材発表をする参加者

【事業名】市民活動自立自走事業 パンから考える食品ロス問題

1 事業の概要

- 1 開催日時：2026年2月23日（月祝）13時から15時半
- 2 開催場所：会議室2
- 3 参加人数：24人（定員20人）
- 4 協力団体等：環境政策局資源循環推進課 田中真弓氏
パン夜市めぐる 田村泰雅氏 村田麻実氏
- 5 予算：154,000円 決算：152,969円

2 事業内容

【実施目的】

売れ残ったパンを安価で販売し食品ロスを減らす活動「パン夜市めぐる」の取組と京都市の食品ロス対策を掛け合わせ、市民一人ひとりが身近な問題として食品ロスを考える機会を提供する。パンをテーマにすることで親しみやすく、参加者が気軽に学び、交流できる場を目指す

【実施内容】

- ・京都市環境局より京都市のフードロス問題について、またその対策や取組の講話。
- ・「パン夜市めぐる」主催者より、活動を始めるきっかけや、パン屋のフードロス問題について講話。講師として田村氏と、共同主催者の村田氏2名が登壇。
- ・環境局の方とパン夜市講師の方々との対談。
- ・交流タイムでは、パンを食べくつろいだ雰囲気の中で、質疑応答や意見交換を参加者も交えて行った。

3 準備段階での工夫

当初の企画内容では、京都市担当者、パン夜市めぐる主催者の発表後、すぐに参加者の交流タイムを予定していたが、両氏の対談を通して参加者の理解がより深まることを期待し、企画を練り直した。

4 事業実施による効果・達成度

- 1) 京都市環境局より、ゴミ削減への市の取組説明を受け、各自が日々のゴミを減らす取組を学ぶとともに、食品ロスの削減につながるフードシェアリングアプリなど新しい市の政策を知ることができた。
- 2) パン夜市めぐるの2人が行っている、**食品ロスの削減**、個人経営のパン屋（**小規模事業者**）の**支援**、活動へ共感した販売場所での**地域のつながりづくり**などの市民活動の紹介をすることができた。
- 3) 賞味期限が短いパンの保存方法や、食べる前にリベイクするおいしい食べ方などを学ぶとともに、食品ロス削減の啓発につながった。
- 4) 活発に参加者から質問、意見交換が行われ食品ロスの取組を広げたい機運が高まった。

5 今後の抱負

今回参加者の方々の意見を話す場を設けなかったが、グループディスカッションなど参加者交流の時間を充実させていきたい。

パンから考える食品ロス問題

2026年2月23日(月・祝日)



2025/10/16打合せに行った日のパン夜市めぐる(北区鞍馬口烏丸) 店外と店内でのパン販売の様子



206/2/23 パンから考える食品ロス会場全景

京都市の食品ロスへの取組について



パン夜市めぐる主催の二人からの活動紹介

対談、質問タイム



活発な意見交流会

- 12 - 希望者のみ記念写真

事業名】文化芸術交流連携事業 レコードを聴く会 2025

1 事業の概要

- 1 開催日時：①レコードを聴く会 4/26 5/24 6/28 7/26 8/23 9/19
9/27 10/25 11/22 12/20 R8年 1/24 2/28 3/28（全日 14：00～15：45） ②レコードをカケル会 12/27（14：00～15：30） ③企画者交流会（春のレコ祭り）R8年 3/7（14：00～15：30） ④お出かけレコードを聴く会 5/31 9/12 9/21 10/30 12/12（5/31 10/30・13：45～15：00、9/12・14：00～14：45、9/21・11：00～12：45、12/12・14～15：30）
- 2 開催場所：①②③センター和室 ④東山老人福祉センター、ともいき京都、東山青少年活動センター創造活動室、東山総合庁舎北館 1F 展示ホール
- 3 参加人数：①4/26：21名 5/24：26名 6/28：30名 7/26：17名 8/23：27名 9/19：36名 9/27：35名 10/25：25名 11/22：19名 12/20：30名 R8年 1/24：25名 2/28：22名 3/28：27名 ②12/27：23名 ③R8年 3/7：25名 ④5/31：15名 9/12：10名 9/21：6名 10/30：15名 12/12：50名（①②③④計 484名）
- 4 協力団体等：岡崎レコードを聴く会サークル、東山区役所、東山老人福祉センター、ともいき京都、東山青少年活動センター
- 5 予算：441,920 円 決算：440,096 円

2 事業内容

- ・①全 13 回「レコードを聴く会」の開催。
- ・②来場者が企画者となり企画発表する「レコードをカケル会」の開催。
- ・③の企画者交流会の「春のレコ祭り」の開催。
- ・④当センター以外の場所でレコードを聴く会を開催する「お出かけレコードを聴く会」の開催。
- ・新規企画者の育成、市民企画者の自立・自走支援

3 準備段階での工夫

- ・企画者のスキルに応じて、自立に向けたサポートをした。
- ・②で会のマンネリ化の打開策として新しい企画者を探した。
- ・③を企画者同士で運営できるようにリーダー的な企画者をまとめ役として事前にレクチャーした。
- ・新規来場者が増えるように「お出かけレコードを聴く会」で当会の広報に力を入れた。

4 事業実施による効果・達成度

（2）当初の事業効果、目標等

- ・企画者の自立自走へ向けてのサポート。新企画者の発掘。

（3）事業実施による目標の達成度

- ・それぞれの企画者のスキルを見極めた上で、スキルの高い企画者が不慣れな企画者のサポート側に回るように調整したり、企画者同士の交流を作りながら、自立に向けてさらに一歩前進できた。
- ・②の来場者が新しい企画者の仲間入りとなった。
- ・「お出かけレコードを聴く会」で会の取り組みを周知する事ができ、当センターでの会にも足を運んでくれるようになった。
- ・会の取り組みに共感を持った漫画家が会を題材とした漫画を連載した。その事により会を広く周知するきっかけができた。
- ・PC が苦手でチラシが作れなかった企画者が PC を使わず手づくりで作る手法をこの数年アドバイスした甲斐あり、ここ数年で見える人にも評判のいいチラシを作れるようになった。

5 今後の抱負

- ・会を自身で進行できる企画者には会を任せるように努めていきたい。
- ・リーダー的な企画者をまとめ役とし、来場者と企画者同士で一丸となり作り上げる会を築いていきたい。
- ・当センターだけではなく他の場所でも会を運営できるということをお出かけレコードを聴く会で伝え、市民活動の場へと繋げていきたい。
- ・手助けが必要になってきた年配の企画者のフォローができる企画者を育成し、企画者同士が支え合える会を目指していきたい

文化芸術交流連携事業 レコードを聴く会2025



05/24(土)Peter.Paul and Mary.平和を愛したMusicを聴こう
会に参加した参加者が自発的に会場の片付けのサポートをした。参加者も当会を作り上げていこうという雰囲気が出てきた。



06/28(土) 洋版『紅白歌合戦』蓄音機コンサート
自主的なレコードを聴く会も開催している企画者のため知名度も出てきたこともあり、盛況な会となった。



09/12(土)お出かけレコードを聴く会①

場所:ともいき京都

初めて行く施設だったこともあり、手慣れた企画者に会の出演を任せた。その甲斐あり、施設の利用者には大変喜ばれた。



10/30(金) お出かけレコードを聴く会②

場所:東山老人福祉センター

東山老人福祉センターの映像機材を利用し、映像にも力を入れた会を作り上げることができた。



12/12(土) お出かけレコードを聴く会③

場所:東山総合庁舎北館1F展示ホール

参加人数が多い会となった。また初めてレコードを聴く会を知る人が多く、会の周知に繋げることができた。



12/27(土)レコードをカケル会

普段は来場者として会に来ている人達に声をかけ、レコードをカケル企画者としてレコード発表を行った。サポートは会のサークルメンバーが行った。



03/07(土)春のレコ祭り

リーダー的な企画者をまとめ役とし、来場者と企画者同士で一丸となり作り上げる会を楽しみ上げた。



漫画に連載

会の取り組みに共感を持った漫画家が会を題材とした漫画を連載した。その事により会を広く周知するきっかけができた。

昨年度は、角川書店から発刊のコミックビームに掲載されていた「レコード大好き少年カケル」(2023/6～2026/1)に、当センターのレコードを聴く会やスタッフが大きく取り上げられた。単行本4巻のあとがきには、以下のように書かれている。

「レコードを聴く会」の舞台となった”うきうき市民活動センター”のモデルは、京都市岡崎いきいき市民活動センターです。こちらでは実際にレコードを聴く会が定期的に開催されており、作中に登場するレコードもそこで紹介されたものを元にしていきます。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひ検索してみてください。



本館の前でスタッフナイトウさんと主人公カケルくん



実際の本館外観。レコードを聴く会のポスターも



名称「レコードを聴く会」も同じ



レコードを聴く会オリジナルチラシ



うきうき市民活動センター和室



実際の和室でのレコードを聴く会

【事業名】多世代交流事業 岡崎ワールドミュージック

1 事業の概要

- 1 開催日時：①ワールドミュージックを聴く会・ワークショップ：5/17、6/14、7/19、9/13、9/15、10/13、11/15、11/24、12/13、2/14 ②新春・ワールドミュージックを聴く会・三味線三昧編：1/10（①②14：00～15：30（9/15、10/13、11/24 は 10 時半～12 時半と 13 時半～15 時半））③実行委員会打合せ：5/17、10/13、12/13、1/10、2/14 の会の終了後、または SNS でのメッセージなど
- 2 開催場所：①②岡崎いきいき市民活動センター和室 ③岡崎いきいき市民活動センター和室・会議室 1
- 3 参加人数：①5/17：13 名、6/14：18 名、7/19：35 名、9/13：21 名、9/15：10 名、10/13：17 名、11/15：12 名、11/24：6 名、12/13：14 名、2/14：27 名
②1/10：26 名 ③5/17：5 名、10/13：5 名、12/13：5 名、2/14：4 名
（①②計 199 名）
- 4 協力団体等：京都市国際交流会館
- 5 予算：201,000 円 決算：200,695 円

2 事業内容

①ワールドミュージックを聴く会・ワークショップ：

- ・ワールドミュージックにまつわるミニコンサートやトークイベントを約 2 か月に 1 回程度で開催。またペットボトルを用いた手作り三味線ワークショップや民族楽器演奏体験など参加者がより楽器と身近になるワークショップも開催。

②新春・ワールドミュージックを聴く会・三味線三昧編：

- ・実行委員が広報から企画運営まで手がける自主的なワールドミュージックを聴く会を開催。

3 準備段階での工夫

- ・「レコードを聴く会」の来場者にチラシ配布したり、口頭で宣伝することにより、「レコードを聴く会」のリピーターがワールドミュージックを聴く会に足を運ぶようになった。
- ・広報としてうまくいっている「レコードを聴く会」に習って、会の年間のスケジュールを来場者に知ってもらえるように、年間スケジュールチラシを毎回会で配布するようにしている。

4 事業実施による効果・達成度

（4）当初の事業効果、目標等

- ・京都市国際交流会館の留学生や大学生との連携する会を作り、地域関係機関とのネットワーク構築を進める。
- ・少人数の実行委員の自立自走化に向けての側面的サポートを行った。
- ・多世代が集まり自然に交流する機会を作り、相互理解を深める。

事業実施による目標の達成度

- ・京都市国際交流会館の留学生や大学生との連携する会を作り、地域関係機関とのネットワーク構築を進めることができた。
- ・当センターの高齢の利用者や、子どもと子育て世代の親など、幅広い世代の交流ができた。
- ・実行委員が広報から企画運営まで自主的に会を開催し、自立自走化に向けて一歩進むことができた。

5 今後の抱負

- ・少数の実行委員が運営する会のため、メンバーの手が足りない日は来場者を巻き込んでサポートするメンバーを増やしていきたい。
- ・実行委員の自主的な会が増えるように側面的サポートをしていきたい。

多世代交流事業 岡崎ワールドミュージック



京都市国際交流会館との連携で海外留学生の講演を行った(5/17)



珍しいタイのお琴の音色を聴く来場者(6/14)



南シベリアの音楽鑑賞後、質疑応答の交流の中、会が進んだ(9/13)



子供と子育て世代が集まった楽器作りWS(10/13)



実行委員会ミーティングで今後の企画を話し合った(10/13)



会の終了後、出演者と来場者と実行委員で音楽談義(12/13)



実行委員主催の自立した会は大盛況となった(1/10)



レコードを聴く会と当会がコラボしてイベントを企画した(2/14)

【事業名】地域連携事業 岡崎わいわい文化祭

1 事業の概要

- 1 開催日時：①文化祭：R8年2月7日(土)13時～16時半
②会場スタッフ会議：R8年1月8日(木) ③出演者会議：R8年1月19日(月)
④実行委員スタッフ会議：R8年1月28日(水)
- 2 開催場所：①京都市国際交流会館メインホール、ホワイエ ②京都市国際交流会館
③岡崎いきいき市民活動センター会議室1 ④岡崎集会所
- 3 参加人数：①わいわい文化祭入場者数：約400名（出演者：岡崎中学吹奏楽部、京都文教中高ダンス部、錦林児童館、岡崎女性会、紫苑平安コーラス、太極拳「朝練清清」、あおい苑など13団体約250名）
②会場スタッフ会議：実行委員長、会場スタッフ2名
③出演者会議：各出演団体代表12名
④実行委員スタッフ会議：地域の方々14名
- 4 協力団体等：岡崎中学校、京都文教中高、錦林児童館、あおい苑、京都市国際交流会館等
- 5 予算：405,000円 / 決算：404,410円

2 事業内容

- ・岡崎地域の福祉施設、教育機関等が連携し、歌や踊りの発表を行った。
- ・地域の魅力を伝える写真と絵画展、地域の小学生と中学生の書道、また岡崎地域に滞在制作する若手作家の現代アートの発表、地域の特産品の販売等催し物をホワイエで同時開催した。
- ・上鳥羽北部いきいき市民活動センターとの連携のもと同センター主催のロケットストーブの実演展示の側面的サポートを行った。

3 準備段階での工夫

- ・実行委員長のPCスキルの向上に向けて、苦手とされる書類作成のサポートをし、アナログ作業をなるべく減らしていく事で、準備がスムーズにいくようになった。
- ・作品展の作品ジャンルに広がりが出るように地域で活動する若手現代美術作家に声掛けをした。

4 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・地域実行委員の文化祭自主運営を目指す。
- ・実行委員が文化祭を自主運営していくための資金調達。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・地域住民が一丸となって企画から当日の運営までを行い、地域住民同士の繋がりの中、築き上げた文化祭を開催できた。
- ・実行委員のPCスキルの向上に力を入れることで、広報物の作成やスケジュール調整がスムーズできるようになった。
- ・実行委員の積極的な寄付金の呼びかけを行った結果、昨年度より運営資金を調達する事ができた。
- ・文化祭のアンケートから昨年同様、毎年楽しみにしているという回答が多数あった。10年以上継続して毎年開催したことで、地域に根付いた文化祭になっていることがわかる。

5 今後の抱負

- ・文化祭が継続できるよう引き続き運営資金調達に向けて寄付金を促す呼びかけをし、自主運営を目指した実行委員の育成のサポートをしていきたい。

地域連携事業 岡崎わいわい文化祭



出演者会議では出演団体と当日の動きを確認し合う



文化祭開催前のミーティングにてスタッフの持ち場を確認する



スタッフ同士協力し合い会場の設営を行った



地域の福祉施設利用者による演奏の発表



ホワイエでは地域の方々の作品展示が行われた



ロケットストompの実演を行い、地域住民に災害時の活用法を伝えた



地域の方々のステージの発表を客席の来場者も一緒になって楽しんだ



客席は満席の中、ラストを飾る地域の中学校吹奏楽部の演奏

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和 7 年度実績：2,539,540 円 令和 6 年度 2,578,840 円

内訳 会議室等：2,333,800 円（前年度 2,349,000 円）
 付属設備：205,740 円（前年度 229,840 円 ※自主事業分を除く）

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和 7 年 11 月実施 【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

ア) センター独自にアンケートを実施(令和 7 年 11 月実施)

イ) ご意見箱を会議室 1 と分室ロビーに設置 (R5 年 11 月より)

ウ) 事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

	案内表示は分かりやすかったですか	あいさつやお声がけはきちんとしていましたか	身だしなみは業務にふさわしいものでしたか	表情や態度は感じが良かったですか	言葉づかいや説明は、親切でていねいでしたか	説明は的確で分かりやすかったですか	整理、整頓は行き届いていましたか
満足	43.1%	67.9%	64.2%	67.9%	71.6%	65.1%	59.6%
普通	54.1%	31.2%	35.8%	32.1%	28.4%	33.9%	39.4%
不満	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
無回答	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

案内表示以外は「満足」が多い。今後も利用者対応について丁寧に行っていききたい。

(2) センター独自アンケート 【令和 7 年 11 月実施】

ア) センター独自アンケート(108 枚) 利用者の地域や年代について

①利用者の地域について

左京区 38 (学区：錦林 22 岡崎 7 松ヶ崎 1 四錦 3 北白川 1 養徳 1 下鴨 1 葵 1 吉田 1)

北区 2 上京区 5 中京区 11 東山区 4 山科区 11 下京区 7

南区 3 右京区 4 西京区 3 伏見区 5

京都府下 4 (宇治 2 城陽 1 向日市 1) 他府県 11 (兵庫 3 大阪 3 滋賀 4 未 1)

左京区の利用者が全体の 35%で多い。市内全域だけでなく他府県からの利用も 10%あった。

②利用者の年代

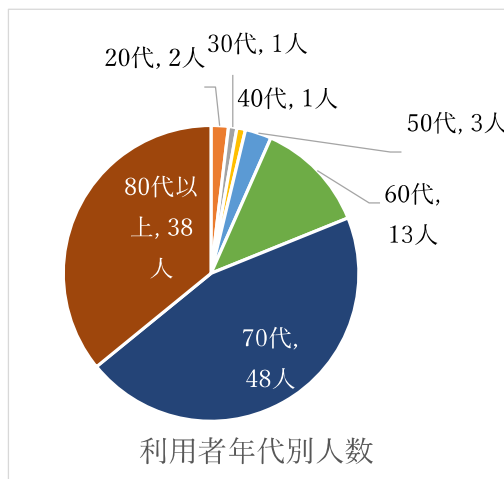
10 代以下	20 代	30 代	40 代
0 人	2 人	1 人	1 人
50 代	60 代	70 代	80 代以上
3 人	13 人	48 人	38 人

60 代以上のシニア層が 93%（70 代：45%、80 代 36%、60 代 12%）を占めている。

③助成金、補助金の情報をセンターが発信していることの認知

知っている：39 人 知らない：57 人 無記入：12 人

サークル関係での利用が多い当センターだが、36%が助成金等の市民活動情報の発信の認知があることがわかった。



イ)事業実施時にアンケートを実施

事業報告書に添付している。

3 意見等への主な対応状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

自由記述欄に「AED の設置を希望」と書かれた方が 3 名おられた。当センターでは今年度 2 月末から導入した。

また早く来た時に 10 時より早く入館したい。準備のために事前に入りたいと早めの入館・入室を希望される方がおられたが、時間通りであることを丁寧に説明していきたい。

(2) センター独自アンケート

年に 1 回、100 名以上の利用者を対象とした独自アンケートを聞いており、自分が参加している活動以外に要望しているサークルや市民活動について問合せたところ、社交ダンスや健康麻雀、音楽演奏会などの要望があった。

常時置いているご意見箱で、スタッフへの直接要望しにくいことや、気づかれた点、気になることなど様々な意見を集めているが、今年度投稿はなかった。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

1 取り組んだ事業等の総括の記載

「市民活動自立自走事業」だけでなく、すべての事業において参加者による自主運営や自立自走に向けての支援に取り組んでいる。また、サークル活動でもメンバー募集チラシのアドバイスや、活動先の紹介など活動の発展に尽力している。

「レコードを聴く会」では「レコードをかける会」の新規企画者の参加が、今までの市民企画者に良い刺激となり、さらに盛り上がりを見せている。市民企画者は、自身で広報をするスキルをつけてもらうためにチラシは自作してもらい、当日運営も一定のルールが確立し市民企画者自ら運営できるようになった。さらにポータブル機材を持って老人福祉施設等にでかける「おでか

けレコードを聴く会」の回数も増えたほか、自分で部屋を借りてレコードを聴く会を企画するメンバーも増えてきた。

また、ワールドミュージックを聴く会に、当センターの利用者をコーディネートして企画者と関わり、市民活動への積極的な関与を創出している。

自立自走に向けた支援は、個人やグループの状況に合わせてきめ細やかに行う必要がある。センターでは長期に渡る利用者や関係者とのコミュニケーションから臨機に対応ができ、自立自走支援の成果が現れている。

2 今後、解決すべき課題等

【貸館利用者増】

チラシやインターネットを活用し、市民に向け広く周知に努め、新規利用者を増やす努力を続けてきた。さらに自主練習への呼びかけなど細やかな声がけに努め、利用者増につなげていきたい。また近隣の施設等での利用者増への呼びかけを増やしていきたい。

3 次年度に向けた対応

次年度も、引き続き事業や支援の内容の充実を図り、さらなるグループの自立自走に取り組む。

施設運営に関しては新規に雇用したアルバイトスタッフ等も含め、全員のスキルアップを目指し、研修を充実させたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項はありませんでした。

ローム・スクエア ライブ

2025.10.4 & 10.5 @ロームシアター京都 ローム・スクエア

無料
申込不要

タイムテーブル

13:00

あおい苑

13:30

子どもコーラスComodo

岡崎リトルポップスターズ

キャナリアンヴォイセズ

シャイニングスターズ

14:30

Kyopella

15:00

錦林児童館

京都文教中高ダンス部

13:00

Kyo響Beat

13:45

翠響

14:15

歌って健康コーラス

14:45

Duo Elle

15:15

バルヴィノク

15:45

岡崎中学校吹奏楽部

出演者情報

あおい苑

障がいがある18歳以上の仲間が通う、岡崎にある作業所です。仲間たちのミュージックケルの演奏と一緒に楽しみください。



子どもコーラスComodo 岡崎リトルポップスターズ キャナリアンヴォイセズ シャイニングスターズ

NPO法人音の風のミュージックサロンメンバーです。地域の活動にも積極的に参加しています。今回は4つの個性豊かなチームが歌を披露します。メンバー募集中ですので気になるチームがあればお声がけください！



Kyo響Beat

輪になってタイコをたたこう！みんなでつくろうドラムサークル！誰でも楽しめる 即興のリズムアンサンブルと一緒に楽しみましょう！



翠響

箏・三味線などの和楽器による小規模合奏団「翠響」（すいきょう）。古典から明治～昭和期の楽曲、モダンな現代曲まで、瑞々しく響く和の音色をお楽しみください。



歌って健康コーラス

歌うの大好き！おしゃべり大好き！ハーモニーを合わせ、メロディーを楽しみながら和やかに歌っています。皆さんにお伝えしたい歌を選びました。ぜひ聴いて下さい！



Kyopella

多国籍メンバーによるアカペラサークルです。心を込めて多言語で歌って世界の様々な曲を皆さんに届けます。



錦林児童館

こどもクラブから、竹馬、歌、ダンスのクラブが参加します。みんなで力を合わせてたのしく頑張ります！



京都文教中高ダンス部

今年には出演時間が少し長くなり、各チーム気合が入っています。応援をお願いします。



Duo Elle

ヴァイオリンとヴィオラのデュオです。クラシックからポピュラーまで、いろいろな曲を演奏しています。当日はなじみのある曲を演奏しますので、手拍子などでご参加ください。



バルヴィノク

ウクライナの民族舞踊チーム「バルヴィノク」、ツルニチニチソウの花の意味です。ダンスを通じて芸術、音楽、習慣など、さまざまな地域の文化を紹介しています。



岡崎中学校吹奏楽部

夏の京都府吹奏楽コンクールでは中学校小編成の部において2年連続金賞を受賞しました。1・2年生だけの初ステージですが精一杯頑張ります！



《開催場所》

ロームシアター京都 ローム・スクエア
京都市左京区岡崎最勝寺町13
雨天時はピロティで開催、荒天時は中止です。

《お問合せ》

岡崎いきいき市民活動センター
京都市左京区岡崎最勝寺町2
指定管理者：特定非営利活動法人 音の風
TEL:075-761-4484 E-mail:okazaki@inetsbb.com



JAPAN
CULTURAL
EXPO 20



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ
京都市印刷物 第071392号 令和7年9月
発行：京都市文化市民局地域自治推進室

岡崎いきいき市民活動センター

秋空の下で一緒に
音楽を楽しみましょう！



青空 おんがく会 2025



2025. 10/19 sun. 12:30 start

16:00 終了予定

岡崎いきいき市民活動センター 音の庭
(雨天時：会議室1)

荒天時中止の可能性あり HPまたは電話でご確認ください



青空おんがく会

2025

プログラムは変更になる可能性があります。
最新情報はHPでご確認ください。



星のブランコ 12:30ごろ

今回は誰がブランコに乗って登場するかな？
え？ラブソングもあるかも？お楽しみに～



チルチル 12:45ごろ

初めまして！
いつも2人で楽しく歌っています。
若い人の歌もチャレンジ中～

ジェリーズ 13:00ごろ

ゴスペルで出会った3人で
初めて歌います♪
ドキドキワクワクとても楽しみです！



ka-ki 13:20ごろ

様々な年代の曲をギターで弾き語りしています。
一緒に口ずさんでいただくと嬉しいです♪



ひと休み



ハッピーソーダ 13:45ごろ

ウクレレ、ギターの女子3人組。
「歌いつなく」を中心に、ハッピーソングで
やってけソーダと、左京区にて生存中。

KEIKO&AI 14:20ごろ

北インド古典音楽のラーガを
二つの楽器で演奏します。



こもれび 14:45ごろ

昭和なフォークや歌謡ポップスが大好き。
歌は気持ちだ！シニアパワーでいくぞー！



ホシノカケラ 15:10ごろ

ゴスペルを中心にいろいろな曲に挑戦、
心震えるハーモニーを目指して日々精進中！

お問合せ

TEL : 075-761-4484 E-mail : okazaki@inetsbb.com

岡崎いきいき市民活動センター 検索



京都市岡崎いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人 音の風）

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町2番地 TEL : 075-761-4484

アクセス：地下鉄「東山駅」2番出口を出て三条通を横断し古川町通を北上 徒歩 10分

開館時間：月～土曜日 10:00～21:00（祝日も同様）／日曜日 10:00～17:00

休館日：火曜日、年末年始（12/29～1/4）



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ
京都市印刷物 第071160号発行：京都市文化市民局地域自治推進室 令和7年9月



★当センターは様々な市民活動に利用できる
貸しスペース（3部屋）を設けています。
お気軽にお問い合わせください。

岡崎ギャラリー巡りツアーシリーズ

岡崎いきいき市民活動センター企画

作品を文字にして岡崎の魅力と共に発信してみよう！

アーティスト講座



画像は以前のギャラリー巡りツアーのものでイメージになります。

開催日時 2025 **11/24** 月・祝 START **13:00**-16:00 (OPEN 12:40)

開催場所 岡崎いきいき市民活動センター（会議室2） 参加費/定員 無料/先着20名（要申込み）

岡崎近隣の展示会場に出かけて作品鑑賞をし、作品を文字にして表現するコツや、情報発信をする方法をワークショップ形式で学びます。

■ 当日のスケジュール（予定）

13:00～13:30 講義

13:30～15:00 当センター近くの展示会場に出かけて作品鑑賞

15:00～16:00 まとめ、質疑応答、アンケート

11/29(土)と12/6(土)は
岡崎ギャラリー巡りツアーも開催！
当イベントと併せてどうぞ！

■ 講師

ヒロ忠之 Hiro Tadayuki



立体造形作家。芸大で日本画を専攻。元聴覚支援学校美術講師。自身の作家活動の合間にギャラリー巡りをし、作品から受けた気づきや刺激が薄れないよう、また自身が感じた作品の魅力を他の人にも伝えていきたいと、展覧会のレビューをSNSで発信している。岡崎ギャラリー巡りツアー講師。

■ 講師

小林 中 Kobayashi Ataru



京都市京セラ美術館副館長。兵庫県生まれ。1997年京都市役所入庁。行財政局勤務等を経て2023年より現職。土器や仏像から西洋美術、現代アートまでなんでも鑑賞。美術館・ギャラリー&ビル店を巡り、インスタグラム@ataru_kyotoで情報発信中。岡崎ギャラリー巡りツアー講師。

お申込みはコチラ 岡崎いきいき市民活動センターまで



TEL : 075-761-4484 E-mail : okazaki@inetsbb.com HP : <https://okazaki-iki-iki.org/>



《お申込み・お問合せ》京都市岡崎いきいき市民活動センター

《住所》京都市左京区岡崎最勝寺町2番地

《アクセス》地下鉄「東山駅」2番出口を出て三条通を横断し古川町通を北へ徒歩10分

《主催・企画》岡崎いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人 音の風）

京都市印刷物 第071555号 発行：京都市文化市民局地域自治推進室 令和7年10月
この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ



★当センターは様々な市民活動に利用できる貸しスペース（3部屋）を設けています。お気軽にお問い合わせください。

作家さん、美術館副館長と一緒に ギャラリー巡りツアー 2025

作品鑑賞しながらアート取材
アートのまちを歩いて
深く知ろう！

ギャラリー&美術館の多い岡崎
アートを巡って
地域の魅力を再発見！

開催日時

① 11月29日 土

作家さんと巡ろうツアー（担当：立体作家 ヒロ忠之）

② 12月06日 土

美術館副館長と巡ろうツアー（担当：京都市京セラ美術館副館長 小林中）

（開催日両日共）

13:00 ～ 16:30

ギャラリー巡りツアーは
全2コースあります！

1日のみの参加でも、両日の参加でも大丈夫です。
お申込み時にお伝えください。

参加費 / 定員

無料 / 先着10名（要申込み）

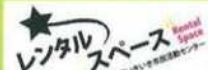
内容

両日とも岡崎近辺のギャラリーまたは美術館を巡り、作家やギャラリースタッフからアートの楽しみ方や作品鑑賞のお話しなどを聞きます。また ギャラリーに取材をし、ギャラリー巡り後に参加者の皆さんで記事をまとめます。取材した記事は後日、当センターで作成するギャラリーマップに掲載させていただきます。当日は約 1 km程度をのんびり歩いて取材しますので、歩きやすい靴を着用のうえ、筆記具と飲み物を御持参ください。雨天が予想される場合は雨具をお忘れしないようお願いします。

11/24（月・祝）は——
アートライター講座も開催！
併せてどうぞ！

※多少開催時間の延長等がある場合があります。また荒天の場合は中止とさせていただきます。御了承ください。

🚌 裏面もご覧ください →



当日の動き

作家さん、美術館副館長と一緒に ギャラリー巡りツアー 2025

ギャラリー
または美術館集合



秋の岡崎を歩きます



ギャラリーや
美術館で作品鑑賞



みんなで
ギャラリー取材



当センターにて
取材内容を発表



画像は当日のイメージになります。
以前のギャラリー巡りツアーより

講師紹介

①作家さんと巡ろうツアー (11/29) 講師：作家 ヒロ忠之 Hiro Tadayuki



北海道出身。京都で日本画を学び、その後、大阪市の中学校や特別支援学校で美術を教えました。生徒といろいろなものを作る中で、立体制作が楽しくなってきました。しかし自身の制作と両立が難しくなってきたので、教職を早期退職することになりました。現在は立体作品の制作を行なっています。ギャラリー巡りは自分の制作にとってもいろいろな刺激を得られるとても楽しいひと時。いろいろな作家がどのようにアプローチしているのか、見せてもらって自分自身の制作に生かしています。

②美術館副館長と巡ろうツアー (12/06) 講師：京都市京セラ美術館副館長 小林中 Kobayashi Ataru



京都市京セラ美術館副館長。兵庫県生まれ。1997年京都市役所入庁。行財政局勤務等を経て2023年より現職。イタリア旅行をきっかけに美術鑑賞に目覚める。ルネサンス、印象派などの西洋美術から徐々に興味が広がり、近年は日本美術や現代アートも積極的に鑑賞。年間500件以上の展覧会に訪れている。趣味は美術館・ギャラリー＆クラフトビール巡り。Instagram @ataru_kyoto で展覧会情報を発信中。



お申込みはコチラ

TEL : 075-761-4484 E-mail : okazaki@inetsbb.com HP : <https://okazaki-iki-iki.org/>



《お申込み・お問合せ》京都市岡崎いきいき市民活動センター

《住所》京都市左京区岡崎最勝寺町2番地

《アクセス》地下鉄「東山駅」2番出口を出て三条通を横断し古川町通を北へ徒歩10分

《主催・企画》岡崎いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人 音の風）



パンから食品ロスのこと一緒に考える
おいしく学ぶ



食品ロス

申込期間

12.22(月)

~ 2.9(月)

2026.

2/23(月祝)

PM 1:00-3:30

会場:岡崎いきいき
市民活動センター

定員:20名(先着)

★飲み物各自持参

12:30 開場

13:00 開会

資源循環推進課よりお話
パン夜市めぐるのお話

14:40 交流・質疑応答

(パンを食べながら、持ち帰りもOK)

参加費 **600円**

パン夜市めぐるのパン付



夜のパン販売というユニークな取組を通して、私たちにもできる小さな工夫や、食品を大切にする暮らし方を一緒に考えてみませんか？

お問合せ & 申込み

岡崎いきいき市民活動センター

指定管理者：NPO法人音の風

〒606-8414 京都市左京区岡崎最勝寺町2

T) 075-761-4484 F) 075-752-3351

M) okazaki@inetsbb.com

<https://www.okazaki-iki-iki.org>

京都市印刷物 第071779号 京都市文化市民局地域自治推進室 令和7年12月

講師

パン夜市めぐる主催

田村 泰雅 さん



パンシエルジュ2級。パンが好きすぎて、パン屋さんを紹介する写真展を何度も開催。京都新聞で2年間パンのコラムを担当したほか、パン屋さんを巡るツアーガイドやテレビにも出演あり。

京都市環境政策局 資源循環推進課

田中 真弓 さん



ごみの分別や減量の部署5年目で、食品ロス問題を担当。朝はパン派。おいしく食べられるのに捨てられてしまう、食べ物の「もったいない」を減らす取組や工夫を皆さんと一緒に考えたいです。

パン夜市めぐるとは...

朝早くから働くパン屋さんの多くは夕方には閉店します。時間内に手に取ってもらえなかったまだまだおいしいパンを、夜に届けるために2023年10月から始まったパンの販売会です。様々な店の、材料にこだわったり、職人技がひかる手作りパンを詰め合わせにして、パン屋のファンになってほしいと願い販売されています。



〈岡崎いきいき市民活動センター〉〜ワールドミュージックを聴く会〜特別企画

公益財団法人 音楽文化創造助成事業 『国際音楽の日』記念イベント

ペットボトル三味線ワークショップ

ペットボトル三味線を 作って弾いてみよう!

ペットボトル
三味線とは?



子どもでも気軽に体験してもらえるように
考えて作りました。2Lサイズと
1Lサイズがあります。
どんな音色がするかは左記の
QRコードの動画で聴いてみてね!

けっこう
ひけるよー!

つくれるよ!

ペットボトル
三味線って誰でも
作れるの?

邦楽くん

きつね川さん

たぬき田
さん

弾くの
難しい?

開催
日時

2025

9/15 月・祝

午前の部

10:30 ~ 12:30

10/13 月・祝

午後の部

13:30 ~ 15:30

各日1日2回実施

11/24 月・祝

会場 岡崎いきいき市民活動センター

対象 ペットボトル三味線を作って弾いてみたい方
大人の方も子どもさんもお参加いただけます!

定員 各回 8 名

参加費 お一人様 3,500 円 (材料費込)

お問い合わせ・お申し込み ▶

岡崎いきいき市民活動センター ✉ okazaki@inetsbb.com ☎ 075-761-4484

ペットボトル 三味線を 作って弾いてみよう!

普段、数居の高いイメージがある三味線
実はペットボトルを使って作れるんです。
「難しいんじゃないかしら?」と心配しなくても大丈夫。



かえる池さん

みんなで一緒に組立てて、
最後は楽しく曲を演奏することができます。
本物の三味線に触れたり演奏も聴けます。

日本の伝統文化に身近に触れられる
この機会にぜひご参加ください!

講師 紹介



三宅 良 みやけ しょう

ペットボトル三味線

2006年より長唄三味線を始める。京都市を中心に邦楽のライブやワークショップイベントを企画している。
ペットボトルを用いた自作三味線「ペットボトル三味線」は、NHKワールドTVが製作している『Core Kyoto』にも紹介された。
また、ライフワークとなっている「ペットボトル三味線ワークショップ」は野外音楽イベントやマルシェなどでも出張開催しており、子供も大人も気軽に参加して楽しめる企画として人気を集めている。
他にも三味線をBGMにした自作の紙芝居もマニアックな人気を得ている。
※紙芝居作家名は「やけおこし」



itaru いたる

津軽三味線

岐阜県高山市出身。小学生の頃、高山祭や盆踊りの影響を受け、三味線を始める。
2014年夏プロ活動を開始。民謡や童謡などの邦楽に限らず、ジャズ、ポップスなど幅広いジャンルを得意とし、三味線の独奏での表現にとどまらず、ジャズバンドや民族楽器等とのライブを行う。
上賀茂神社・金戒光明寺等の寺社仏閣での演奏、ライブハウスや祝宴や記念行事等イベントにも多数出演。KBS京都テレビ「紅白歌の競演」では審査員も務めた。
国民文化祭「清流の国ぎふ」文化祭、大阪・関西万博 出演。



椿紅 静月 つばい しずき

津軽三味線&唄

津軽三味線を高橋静山・静女、地歌・上方唄を松浪千壽、義太夫三味線を豊澤住輔の各師に師事。
古典の舞台に出演する一方で、ジャンルの枠を超えて「三味線」の可能性を追究しながら、様々なコラボレーションも行う。
和楽器ユニット「響喜」主宰。上方唄松浪流師範。女流義太夫「瑠璃の会」所属。



山田 白米 やまだ はくまい

三味線唄音楽家

1982年生まれ。京都中心に唄と三味線でたびたびの音体験を届けている。出張演奏、唄・三味線教室、音源提供等を行う。2002年長唄を始め、2007年より歌舞伎等で演奏後、2014年よりソロ活動開始。2019年オリジナルアルバム発表(配信中)。
寺社、BAR、ホテル、劇場などで長唄や唱歌、ブルースやアンビエント等を演奏をする。



NHKワールドTV『Core Kyoto』で
ペットボトル三味線が紹介されました!
(23:00頃からペットボトル三味線の紹介です)

会場 岡崎いきいき市民活動センター別館 和室

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町2番地
TEL: 075-761-4484

開館時間: 月~土曜日10:00~21:00 (祝日も同様)
日曜日 10:00~17:00
休館日: 火曜日
年末年始(12/29~1/4)

アクセス

地下鉄「東山駅」2番出口を出て
三条道を横断し古川町道を北上
徒歩10分
※駐車場はありませんので、近隣の
コインパーキングをご利用ください。



お問い合わせ・お申し込み

岡崎いきいき市民活動センター

okazaki@inetsbb.com

075-761-4484

【共催・企画】
三味線三味+
(しゃみせんさんまいプラス)



べんぎん村さん



★当センターは様々な市民活動に利用できる
貸しスペース(3部屋)を設けています。
お気軽にお問い合わせください。

レコード^o を聴く会 2025

岡崎いきいき市民活動センター

市民の皆さんの手でつくるレコードを聴く会！
13名の企画者による多種多様な企画が今年度も登場！

年間スケジュール

- 4/26(土) 尾張名古屋は
- 5/24(土) Peter.Paul and Mary. 平和を愛した Music を聴こう
- 6/28(土) 洋版『紅白歌合戦』 蓄音機コンサート (映像付)
- 7/26(土) 作曲家 山下達郎
- 8/23(土) “西部劇” 特集「駅馬車」から「明日に向かって撃て」まで
- 9/19(金) いいしんじ☆スペシャル
- 9/27(土) 魂を揺さぶるブルース&ジャズを愉しもう
- 10/25(土) 日本の歌手も歌ったカンツォーネ
- 11/22(土) 『Love Like aiko vinyl』～aikoのレコードを聴く会～
- 12/20(土) ジャズボーカル
- 1/24(土) 2026 #オシゲのビートルズを聴いて歌お！ 8Th
- 2/28(土) アメリカのルーツを聴こう Vol.11
- 3/07(土) 春のレコ祭り
- 3/28(土) ヘヴィメタルホース

OPEN 13:30 / START 14:00

〈申込制〉〈参加料 無料〉

お申込みは開催日1箇月前から

※日時・内容が変更になる場合があります。
あらかじめ御承ください。

お申込みはコチラ 岡崎いきいき市民活動センター

TEL : 075-761-4484 E-mail : okazaki@inetsbb.com HP : <https://okazaki-iki-iki.jimdo.com/>



《お申込み・お問合せ》京都市岡崎いきいき市民活動センター

《場所》〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町2番地

《アクセス》地下鉄「東山駅」2番出口を出て三条通を横断し古川町通を北上 徒歩10分

《主催・企画》岡崎いきいき市民活動センター／岡崎レコードを聴く会サークル

(指定管理者：特定非営利活動法人 音の風)



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ

京都市印刷物 第070617号発行：京都市文化市民局地域自治推進室 令和7年4月

★当センターは様々な市民活動に利用できる貸しスペース(3部屋)を設けています。お気軽にお問い合わせください。

京都市岡崎いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

指定管理者名 特定非営利活動法人 音の風
代表者名 代表理事 西野桂子

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
【収入の部】				
指定管理料収入		12,612,590	12,612,590	0
利用料金収入		2,510,000	2,539,540	29,540
	会議室等	2,350,000	2,333,800	▲ 16,200
	スモールオフィス			0
	付属設備（自主事業を除く）	160,000	205,740	45,740
その他収入	光熱水費分担金			0
	個別事業参加費			0
当期収入合計		15,122,590	15,152,130	29,540
【支出の部】				
1. 施設運営業務				
人件費		7,950,000	8,388,458	▲ 438,458
	職員1名、非常勤職員9名	7,950,000	6,942,712	1,007,288
	法定福利費		1,445,746	▲ 1,445,746
	福利厚生費			0
光熱水費		800,000	588,807	211,193
	電気代	665,000	510,591	154,409
	ガス代	15,000	10,413	4,587
	水道代	120,000	67,803	52,197
施設管理費		470,000	400,510	69,490
	樹木剪定			0
	定期清掃等	100,000	68,750	31,250
	機械警備	260,000	271,260	▲ 11,260
	消防保守点検	60,000	33,000	27,000
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物			0
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検	50,000	27,500	22,500
	空気環境測定等			0
				0

事務費		850,000	946,984	▲ 96,984
事務消耗品費		200,000	137,348	62,652
備品消耗品費		100,000	11,600	88,400
賃借料		100,000	0	100,000
通信運搬費		200,000	120,121	79,879
印刷製本費		50,000	0	50,000
旅費交通費		30,000	4,410	25,590
新聞図書費		50,000	58,800	▲ 8,800
研修費		30,000	0	30,000
会議費		10,000	0	10,000
会計税務管理費		60,000	82,500	▲ 22,500
支払手数料		20,000	64,918	▲ 44,918
業務委託費		0	467,287	▲ 467,287
雑費		0	0	0
修繕費		500,000	0	500,000
小規模修繕		495,000	0	495,000
その他の修繕		5,000	0	5,000
				0
備品購入費（5万円以上の物品）		0	0	0
				0
				0
租税公課		700,000	680,939	19,061
未払消費税		700,000	680,939	19,061
				0
				0
その他		15,000	11,375	3,625
賠償責任保険保険料		10,000	5,000	5,000
諸会費		5,000	6,375	▲ 1,375
施設運營業務支出合計		11,285,000	11,017,073	267,927
2. 事業実施業務				
市民活動支援・活性化事業費		3,483,920	3,460,502	23,418
1. 市民活動自立自走事業		2,436,000	2,415,301	20,699
2. 文化芸術交流連携事業		441,920	440,096	1,824
3. 多世代交流事業		201,000	200,695	305
4. 地域連携事業		405,000	404,410	590
				0
サロン運営・活用事業費		0	0	0
				0
その他 事業実施業務繰越				0
事業実施業務支出合計		3,483,920	3,460,502	23,418
当期支出合計		14,768,920	14,477,575	291,345
当期収支差額		353,670	674,555	320,885

令和 7 年度 事業報告書 北いきいき市民活動センター

【指定管理者:NP0 法人くらしネット 2 1】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 12 名（常勤 2 名、非常勤 10 名）

【人材育成の取組】

- ・施設連絡会で各団体の取り組みについて研修。
- ・ツラッティ千本特別展・講演会、「きたけん」の参加。
- ・職場ミーティングで、ハラスメントや個人情報保護について研修。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
292	318	293	298	280	292	327	309	270	261	273	314

(年間)

3529 件（前年度比 103%） 前年度 3417 件

イ 利用状況

- 昨年度はマイナスであったが、今年度は「空き状況のお知らせ」を HP で紹介し利用申込者が増えた。
- 多目的ホールの利用が増えて、20 時間枠の改善が必要。

ウ 利用促進に向けた取組

- HP・SNS の積極的な発信・活用。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- 各活動を、FM ラジオミックスで紹介していただくことができた。
- 船岡山一帯に関わる活動として、佛教大学や HAPS・フナゴラとの連携強化

イ 取組の効果

- アの取組により、障がい者施設・高齢者施設・市民団体の利用が増えている。

(4) 管理運営

- 共生館団体との施設連絡会を毎月実施し、防火管理・建築物の保守管理・建築設備の保守管理について共通理解を行い、職員ミーティングにおいても伝達等を実施。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」で実施したもの。
 - ・利用者の目線に立った施設案内・掲示の工夫。
 - ・「空き状況のお知らせ」を随時 HP で更新する。
 - ・スタッフミーティングを充実させて共通理解を図り、利用者にも協力をお願い（利用後の片付けや、自転車・バイクの停め方など）を徹底できるようにする。
 - ・各利用者の取り組みに耳を傾け、団体間の協力・交流（進化）を進めた。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】①-1 団体交流「いきいき市民活動祭」(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 9 月 27 日（土）10 時～12 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 150 名（11 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只社会福祉協議会・楽只児童館・楽只保育所等）
- 5 予算： 400,000 円 / 決算：370,924 円

1 事業内容

- ・センター利用団体の発表と交流 ダンス・音楽の発表と交流
- ・幼児児童とお年寄りとの交流 簡単な手遊びゲームや運動
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・「北区全体に視野を広げる」をめざし、センター利用団体の中から広く出演団体を募集している。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも
 - ・地元老人福祉委員による PR。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・各利用団体とも、普段の練習の成果を十分に披露していただくことができた。
 - ・介護予防センターの健康体操も、効果的であった。
 - ・児童館や保育所の子どもたちによる発表ステージも、和やかで好評であった。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・少人数のグループであっても、質の高い発表ステージが見られた。
 - ・出演者と参観者との密な交流（コラボや協働活動など）を工夫する。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・昨年の反省をもとに、保育所と児童館の子どもたちについては、参加者にプレゼントを配るなど交流する機会ができた。
 - ・参観者の少ない時間ができてしまうため、できるだけ出演者にも会場で参観していただくようにする。
 - ・各利用団体の発表に終わらせず、出演者と参観者との交流がもう少しできる工夫や仕掛けが必要と考えている。

事業風景の写真

- 写真は、事業風景がよく分かるように、できる限り大きくしてください。
- A4サイズ1枚までとしてください。



児童館の子どもたちによる歌のプレゼント



いきセン利用団体による発表（演奏）

市民活動祭アンケート 集計 (市民活動祭 実施日9/27日 集計9/27～10/3 回答数71)

アンケート項目	よかった		ふつう ○		もう少し △		未回答
①市民活動祭に観覧・出演していかがでしたか。	59	83%	11	16%	0	0%	1 (7%)
②音楽や発表を楽しめましたか。	59	83%	11	16%	0	0%	1 (7%)
③他の出演者やお客様との交流ができましたか。	28	40%	25	35%	13	18%	5 (7%)
④また次の機会に來たいと思いましたか。	52	73%	14	20%	2	3%	3 (4%)

■その他、お気づきの点やご意見など

感想・催し全体について…

- ・とてもよかったと思います。参加できてうれしく思います。
- ・足が悪いのでそれでも来られてよかったと思います。
- ・あっとホームの中で楽しかったです。来年は他の団体も見たいです。
- ・楽しませていただきました。ありがとうございました。
- ・音楽がとてもよかったです。・すべてに日本一
- ・多世代に渡って集える場になって、地域の交流が深まる場としてのしませていただきました。
- ・お年寄りが出掛ける機会になって、とても良い企画だと思いました。
- ・出演しただけで（交流の）機会がなかった。・今までの中で一番最高でした！
- ・毎日1人、生活しているので、とても楽しめました。
- ・楽しい半日を過ごさせていただき、ありがとうございました。お世話になりました。
- ・皆様、頑張っておられる姿が浮かびます。楽しく見させて頂きました。ありがとうございました。
- ・参加させてもらった子どもたちは、緊張しつつものしめていてよかった。
- ・他の出演者との交流は主催者がその場を作ってくれるといいのでは…？

会場について

- ・マイクを入れていただいておりますが、聴きにくいときがあり残念（特にお話（最初の挨拶）のとき）。こちらが悪いのですが、補聴器つけます。
- ・少し照明がくらかったかなと思いました。・音が聞きにくい。

ダンスや踊り演奏について…

- ・FDFは皆様の頑張りが勇氣となりました。リズムによくのって楽しそうで、とてもよかったです。もっと発表の場があるといいですね。
- ・楽只保育所の園児さんのダンスもかわいくて表情も明るく心癒されました。ありがとうございました。
- ・児童館の児童もとても良かったです。子どもはいいですね。
- ・子どもたちのクイズが子どもらしくてかわいかったです。ありがとうございました。
- ・色々な楽器が聴きたいです。・しの笛と和太鼓がとてもよかった。・楽しくさせていただきました。
- ・初めて参加させて頂きました。今後も出席させて頂きたいと思いました。
- ・フルートとギターを聞きにきました。とても良かったです。時間の都合で観覧できず残念でした。
- ・初めての発表会出場させて頂きました（FDF）。楽しんでいい経験ができました。ありがとうございました。
- ・炎が最高でしたが♡ ユーフォの美しさがきわだっていて良かったです♡
- ・音楽集団がじろう、とてもよかったです。いやれました。
- ・FDF元氣いっぱい楽しそうなダンス最高でした。
- ・楽しい時をありがとう。しの笛と和太鼓とても良かった。
- ・最後の太鼓の連だん素晴らしかった。どこで練習できるのか？気になりました。
- ・皆様とても笑顔で、楽しく演技発表させていただきました（フラ）。
- ・皆様の笑顔を見せていただきありがとうございました。
- ・観て下さる方々が、きちんと前向いて観て下さり、とっても嬉しく楽しく踊れました。感謝！
- ・楽しく演奏させていただきました。交流はできませんでした。
- ・同様のもののがもっとと広がると良いなと思いました。
- ・参加させてもらった子どもたちは、緊張しつつも楽しめていてよかった。

その他…

- ・健康でありつづけるようにがんばりたいと思います。・（聴ける）機会がなかった。
- ・出演しただけで（聴ける）機会がなかった。・もう少しお客様が多いとよかった。

■今後おこなってほしいイベントや活動

- ・FDFや保育所の出演、来年もお願いします。
- ・前はカラオケの教室がありました。それに参加させて頂いておりましたが、無くなったので又取り組んで頂きたいと思います。
- ・無理かもしれませんが、コラボとかがあればいいのではないかと思います。
- ・地元の吹奏楽の演奏 ・ダンス ・発表 ・手芸品やおかしの発表会をしてほしいです。
- ・敬老だけでなく、ふれあいなどの集いもあればお誘いください。
- ・若い世代向けの交流イベント ・音楽鑑賞や人形劇など

【事業名】①-2 地域交流「いきいき楽ちゃんフェスティバル」(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 8 月 9 日 (土) 17 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 700 名 (8 団体)
- 4 協力団体等： 実行委員会 (楽只社会福祉協議会・児童館・保育所・FUNAGORA)
- 5 予算： 500,000 円 / 決算： 496,753 円

1 事業内容

- ・ステージ発表 (和太鼓・こどもたちのダンス・バンド演奏等の発表) と参加者も含めた盆踊りダンスフェスティバル。 ・遊びコーナー等の実施。
・子ども神輿を地元青年の協力をえて実施。
- 評価委員会から指摘された事項があれば。
・「より多様な団体との連携」をめざし、協賛団体を増やす声かけなど出向いた活動続ける。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
・地元みこし会青年による「神輿担ぎ体験」の実施
- 他センターにはない独自の広報
・学生スタッフが FM ラジオミックスに生出演して PR。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・参加者の動線を考慮し、発表ステージを園庭北側に配置した。
- ・事前に「盆踊り」の練習時間を取り、子どもたちにも関心を持ってもらうことができた。・出店が増えたため、電源の確保が必要。
- ・インドネシアの影絵 (「ワヤン」) も新鮮で異文化に触れる機会として好評だった。

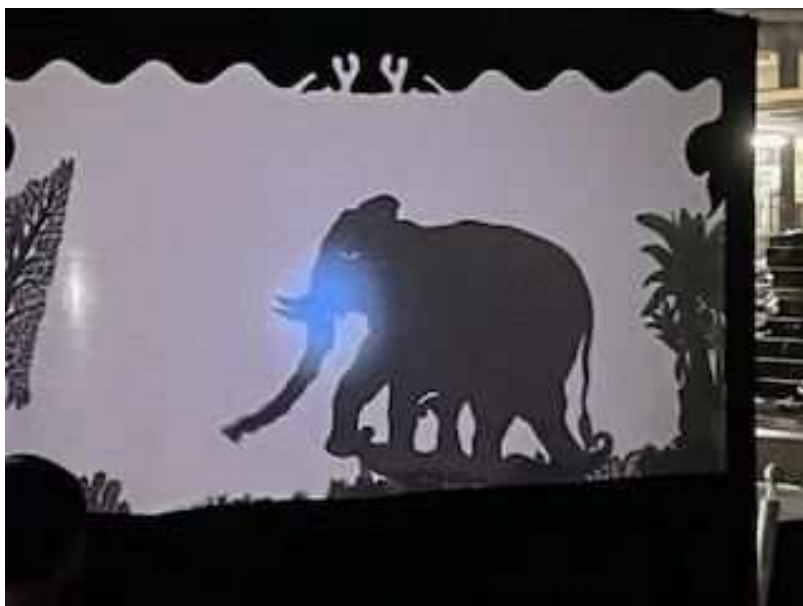
(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
・昨年に比べ高齢者・外国人の参加が増え、多くの世代の交流の様子が見られた。
- ・実行委員会による運営により、スムーズに準備・設営・進行を行うことができた。
- ・盆踊り保存会にも、新しい若い世代の参加を得ることができ、踊りを盛り上げていただいた。・いきセンのフェスティバルとして、新しい出演団体にも参加していただくことができた。・地元の青年による子ども神輿は、子どもたちの関心も高くおおいに盛り上がった。・地域の中学生高校生のボランティアが活躍できた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
・参加者の拡大・江州音頭の普及・イベントコーナーの充実に向けて、新年度早い時期から実行委員会を開催して、よりよいフェスティバルを作り上げたいと考えている。

事業風景の写真



影絵
インドネシア「ワヤン」



江州音頭
参加者全員で総踊り

夏祭アンケート集計 ※ 出演31（児童館9／保育所4）／出店8／参加者27／総数66								
アンケート項目	よかった◎		ふつう○		もう少し△		無回答	
①夏まつりに参加して（出演・出店含む）。	62	94%	4	6%				
②夏まつりを楽しめたか。	51	77%	15	23%				
③他の出演者やお客様との交流ができたか。	25	38%	29	44%	12	18%		
④また次の機会に参加したいと思ったか。	59	89%	6	9%			1（2％）	
■その他、お気づきの点やご意見など								
・ ご感想								
・ 楽しかったです ・ 今年もありがとうございました。自家製感のあるこのお祭りが大好きです。								
・ 初めての参加でしたが元気をもらいました。地域の広がり、まとまり、積極性が感じられた。これからも続けていってほしい。								
・ こどもを楽しませることを重視されていて、とても活気のあるまつりです。								
・ たのしかったです。子どもたちもたのしそう良かったです。 ・ 暑い中準備大変と思いますがごくろう様でした。								
・ 来場者数の多さに驚きました！ こどもも大人も楽しんでいる様子をみながらの出店はとても楽しかったです。								
・ オープン時より、多くの人が来場され、始終盛り上がっていたと思います。								
・ 若い人たちのがんばりが素敵でした。助かりました。 ・ 楽しませていただきましたありがとうございました。								
・ すごく盛大なおまつりでおどろきました。参加されている方たちは、とても楽しんでおられた様子でした。								
・ 大人とこどもの夏まつり楽しかったです。だけど両親の参加少なかったです。 ・ Ce est bien ・ good								
・ ダンスやステージ、盆踊り（プログラム）について…								
・ 盆踊りの櫓がほしい。 ステージが元気いっぱい良かったです。 盆踊りが楽しかった。								
・ ステージ演出も常に盛り上げてくださり、会場全体の雰囲気がとても良かったです。								
・ 楽しそうにきて下さる方の顔が近くでみられて良かったです。もう少し時間があっても良かったです。								
・ お客様との距離が近く、たくさんの手拍子、笑顔にふれることができました！								
・ ししまい、たいこに喜んで下さる姿にこちらも元気いただきました。ありがとうございました。								
・ ありがとうございました。見ていただいた方たちも暖かくて楽しかったです。								
・ 影絵が楽しかった。またみんなで踊りたいです。 ・ 盆踊りもたくさんの方が踊ってくれてもり上がっていた。								
・ 本格的なバンドや歌は素晴らしく、聴衆の方々も楽しく踊っておられたのが印象的でした。								
・ 保育所のステージの時間、もう少し早いとうれしいです。（17:30頃）								
・ ステージの影絵は、初めて見ましたが、とてもすてきでした。こどもたちもよく見ていて、楽しんでいたので良かったです。								
・ ステージとても盛り上がっていて、みんな楽しそうでした。								
・ 会場について…								
・ 座席が欲しい ・ 去年までとレイアウトがかわって新鮮みがあつた。								
・ キッチンカーなどは各自で電源を用意してもらえないのでしょうか。								
・ 事前の打ち合わせや出店内容についての相談などをする機会がなかったので、ポスターを作る前に何コーナーをするか伝えられると、もっとよいと思いました。								
・ 園庭の草引き								
・ 出店内容について…								
・ かき氷の重複がありました。事前にかぶりがないように伝えていたのですが、ウチ（竹村）の他に2店舗さんありまして、ロスが出てしまいましたので、来年はその点の品目を気をつけてくださると助かります！！								
・ ビールがうれしかったです。やみきゅうポテトとかおつまみもっとほしいです。ビアガーデンばくて楽しかったです。								
・ ゲームはいまいちでした。								
・ 出店ブースも増え、皆さん楽しんでいたのがよかったです。 ・ 去年より出店の数も多くすごくにぎやかに見えてよかった。								
・ テント一張りに二つの団体が入って出店していたが場所が狭く身動きがとれなかったのもう少し広いスペースが欲しかった。								
・ 園庭にラムネのびん、フィルムがたくさん落ちていたので、ラムネの販売は次年度は考えていただけたら嬉しいです。								
・ 出店数が多くてお客様が分散していた。								
・ その他								
・ プログラムに「募集」を書いてもらったのが嬉しい。								
・ 腰を痛めて歩き回れないので私の都合です（盆踊りに参加しなかったのは）。								
・ 今後おこなってほしいイベントや活動								
・ 隣の船岡山の活用。 ・ 出来るだけ多く開いてほしい。 ・ かみずもうをつくっていろんなひととしようぶしたい。								
・ 屋外映画の上映があるとたのしそうだと思いました。								
・ ゲームをふやしてほしいです。 ・ 琉球まつり太鼓また来てほしい。								
・ 新たに影絵を楽しませてもらいました。参加者からの希望があれば、取り入れてもいいと思います。								
・ 的当て、射的コーナー（遊べるコーナー）を無料か100円でできるようにしてほしい。もしくは「1回無料」など。								

【事業名】①・3 福祉体験交流「パラスポーツのつどい」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2026 年 3 月 21 日（土）13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 90 名（3 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（ライトハウス・アイアイ教室・FDF・放デイさんりん舎
佛教大学車いすバスケットボール部）
- 5 予算： 300,000 円 / 決算：298,518 円

1 事業内容

○ 佛教大学サークルの協力サポートにより、車いすバスケットについての体験をとおりて障がいの有無にかかわらず楽しめるスポーツについて理解を深める機会とする。

- ・車いすバスケットの実演。（大学車いすバスケットチームの紹介と模範演技）
- ・車いすバスケットの体験。（車いすの体験・おにごっこからミニゲームの実施まで）

○ 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

- ・地元、佛教大学との連携を深める。

2 準備段階での工夫

○ ボランティアや他団体に協力いただいたこと

- ・佛教大学車いすバスケットボールとの事前打ち合わせ。（学生支援課も協力いただき、大学一体となった協力をいただいた。）

○ 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

- ・佛教大学車いすバスケットボールの活動が、「24 時間テレビ」でも評価された。
- ・ラジオミックスでも取り上げていただき、広報することができた。
- ・児童館・放デイ・地域・一般・他の地域から、多数・多様な参加者が見られた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

○ ・北いきいき市民活動センター利用団体を中心に障がい者スポーツ活動の発表と交流の場を設け、実行委員会によって市民活動の活性化を促す。

（実行委員会） 京都ライトハウス アイアイ教室 FDF ダンスチーム
放課後等デイサービスさんりん舎 佛教大学等

（2）事業実施による目標の達成度

○ ・昨年以上に参加者も増えて、共にスポーツを楽しむことができた。

4 今後の抱負

- ・障がいのある参加者については、事前に確認し支援者がつけるように配慮する。
- ・硬いボールや柔らかいボールなど、参加者によってボールの使い分けも必要。

事業風景の写真



パラスポーツのつどい「車いすバスケットボール」

アンケート 集計 (パラスポーツ 3/21 集計 3/27 回答数22)

アンケート項目	よかった ◎		ふつう ○		もう少し △	
①車いすバスケットに参加していかがでしたか。	19	86%	3	14%	0	0%
②車いす体験やゲーム試合を楽しめたか。	20	91%	2	9%	0	0%
③他の参加者との交流ができましたか。	13	59%	7	32%	2	9%
④また次の機会に来たいと思いましたか。	21	95%	1	5%	0	0%

イベント参加へのご感想

- ・車いすやパラスポーツの体験は授業で座学として学ぶことはあっても実際に行うことはあまりないと聞いています。地域の子どもたちにとって実際に車いすバスケットをすることは大変貴重なものになったと思います。(佛大スタッフ)
- ・たくさんの方に参加いただき本当に嬉しく思います。(佛大スタッフ)
- ・この活動を通して車いすバスケットを知ってもらえたらいいなと思いました。(佛大スタッフ)
- ・佛大の戦力として2回目なのですが、1回目と同様、むしろ1回目以上に今日は盛り上がり、とても楽しく過ごさせていただきました。お忙しい中ですが、今回のイベントに携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(佛大スタッフ)
- ・なんかボールをいれるところ(ゴール)に13回シュートできた。
- ・楽しかったこぐのが。 ・リレーが楽しかった。 ・またやりたいです。
- ・やってなかったときはできるかしんばいだったけど、やってみたら楽しかったです。
- ・子どもたちも楽しそうにできて、とてもいい時間でした。
- ・障がいのない子やある子どもが楽しく交流してるのがすごく良いと思った。
- ・たのしかった。いっぱいたのしかった。車イス動かすのが楽しかった。
- ・くるまいすバスケットができてたのしかったです。まえきたときよりもボールをうまく投げれてうれしかったです。おにいさんがやさしくおしえてくれてうれしかった。
- ・ぼーるをたくさんなげられてたのしかった。くるまいすではんたいのほうだけまわすのをがんばりました。またいきたいです。

もう少しと思うところ、お気づきの点やご意見…

- ・低学年から幅広く参加した中で低学年の子からしたら、ボールが固く、怪我のリスクが高いと思った。実際に顔にボールが当たり、鼻血を出した子もいたので、低学年専用のボール、高学年専用のボールで分けるなど工夫が必要だと思った。

今後行ってほしいイベントについて…

- ・引き続き本イベントの継続をよろしくお願いいたします。
- ・佛教大学に車いすバスケットの体験をしに来てもらう。子どもだけでなく親も参加し、よりパラスポーツ(車いすバスケット)を広げたい。
- ・来年度も第三回として、パラスポーツのつどいを開催してほしいと思います。開催されると佛大に伝えていただけると、今回と同様に佛大車いすバスケット部として参加したいと思います。
- ・来年も車いすバスケットでよろしくお願いいたします。
- ・お祭り(あそべる) ・かわりおに(3) ・車いすバスケット

【事業名】②-1「船岡山西通りまちづくりワークショップ」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025年11月16・30日12月13・27日1月15日（土）17時～21時
- 2 開催場所： 楽只児童館・船岡山西通り 等
- 3 参加人数： 延べ100名（4団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（交通対策協議会・児童館・保育所・親の会）
- 5 予算： 185,000円 / 決算：181,400円

1 事業内容

- ・子ども、高齢者、障がいのある方の船岡山西通りにおける安全確保と環境改善。
 - ・地域住民や利用者への危機意識や問題提起の推進。
 - ・HAPSやMONAKAなどの関連施設との協働。
 - ・船岡山に関わる関連施設や北土木事務所をはじめとする関係機関の協力を得ながら、船岡山西通りで実践。
 - ・事業の継続として「美しい・気持ち良い」一斉清掃などを実施し、ストリートとしての機能やデザインを明確にする。
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・地元「学区社協だより」で取り上げていただき、認知度を高める。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・社協（交対協）、児童館、保育所、親の会・府立盲学校やライトハウも一体となり実行委員会を形成し、「安心安全なまちづくり」ワークショップを実施。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・ふなおかやまパークアップ事業を展開する多くの団体とのつながりを深めることができた。・社協による街灯設置をはじめ、地元地域団体に関心を持っていただくことができた。・児童館や保育所の子どもたちや保護者の思いや意見を尊重した取組を進めることができた。・北警察署の交通安全指導員も応援にきていただき、安全についての意識が高まった。

（2）事業実施による目標の達成度

- 交通安全に関わる内容でなく、紫野小学校においてもこどもたちの公園利用が可能となり（これまでは遊んではいけない区域だった）船岡山公園全般について「より良くしていこう」という関心が高まっている。

4 今後の抱負

- ・ふなおかやまパークアップ事業を展開する多くの団体とのつながり、船岡山に関わる多くの人との交流を進めていく。

事業風景の写真

船岡山西通り 保育所の入り口

駐車車両と乗用車の離合。



北警察署と安全指導員さんの協力による

「安全な横断歩道のわたり方教室」



【事業名】②-2 紙屋川探検（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 10 月 10・18 日 11 月 8 日 1 月 17 日（土）
10 時～12 時
- 2 開催場所： 紙屋川河川敷・楽只児童館・HAPS スタジオ等
- 3 参加人数： 延べ 250 名（4 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・HAPS・アーティスト等）
- 5 予算： 190,000 円 / 決算：189,614 円

1 事業内容

- ・元 HAPS スタジオのアーティストと開キ町住民などによる「紙漉きプロジェクト」を立上げ、文化的側面からの発信を通し「開キ町問題」への社会的関心を高める取組の支援しながら「紙屋川安心・安全のまちづくり」構想を明らかにする。さらに、トロロアオイの栽培と紙すき・和紙作りの活動を通して「紙漉き文化」を次世代につなぐとともに、「多文化共生のまちづくり」の展望を明らかにし、多文化共生のネットワーク化を目指し、地域住民による主体的・継続的な取組を支援する。

（紙屋川砂防ダム探検）

- ・トロロアオイの栽培 ・和紙作り（紙すき）
- ・藍染めや拓本作りの体験の実施・美濃市の老人団体や保育所との交流。
- ・河川敷での写生会の実施 ・「楽ちゃんフェスティバル」への出品
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・市民も紙屋川についての関心も高く、歴史や文化・環境についても取組をひろめていく。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・「紙屋川問題を考える会」との交流
 - ・保護者や大学職員などの関心も高まっている。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・紙屋川の流域や周りの自然・人々の暮らしに関心を持っていただく大人や子どもが増えてきている。・探検遊びや水遊びだけでなく、栽培活動や写生会の計画など、多彩な活動に進化している。・栽培の水やりなど、開キ町住民の協力も得られるようになった。・こどもたちの作品や「紙屋川だより」をイキセンギャラリーに掲示し、センター利用者にも関心を持っていただくことができた。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・単なる「探検遊び」ではなく、こどもたちの作品や「紙屋川だより」をイキセンギャラリーに掲示し、センター利用者にも関心を持っていただくことができた。

4 今後の抱負

- 今後、「ふなおか一帯」に関わる取り組みと関連させて事業を展開していきたい。

事業風景の写真

紙屋川探検ワークショップ



トロロアオイの紙すき



紙屋川河川敷での写生会



【事業名】②-4

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 7 月 5・12・19・26 日 8 月 2・9 日
9 月 20 日 12 月 6・13 日 2 月 7 日（土） 18 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 楽只保育所園庭等
- 3 参加人数： 延べ 100 名（3 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会形式（保存会・社会福祉協議会・楽只児童館）等
- 5 予算： 450,000 円 / 決算：449,940 円

1 事業内容

- ・江州音頭 踊りの講習会 （保育所・児童館・イキセン）

音楽バンドとの合同練習会

- ・ 「いきいき楽ちゃんフェスティバル」で披露 8 月
- ・ 「市民活動祭」で披露 9 月
- ・ 音頭とりや太鼓方の募集と育成 10 月～
- ・ 反省会 来年度へ向けて 2 月

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・ 地元の音楽バンドサークルからの申し出があり、江州音頭の生バンド演奏が実現した。その後、このサークルもセンター利用団体となった。
- 他センターにはない独自の広報の工夫
 - ・ イキセンを利用する音楽バンドとの共演を行うことができた。
 - ・ バンドとの共演のため、音頭の「楽譜づくり」にとりくんだ。
 - ・ みこし会の青年も、熱心に参加していただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- 保存会はかつて千本地域にあった「音頭取り育成ネットワーク」の再構築として 2003 年より地元・佛教大学教育学部生・楽只小学校教職員によって組織化され今まで 20 年以上活動している。音頭取り集団の育成と千本における踊り文化の継承に取り組む保存会の支援を行う。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・イキセンを利用する音楽バンドとの共演を行うことができた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
中学生高校生のバンド演奏にも「江州音頭」を取り上げていただき、伝統文化をひろめていきたい。

事業風景の写真



○音楽バンドによる
演奏

○江州音頭を
楽譜に起こしたもの

ハヤシ Am G Am G Am

ソ リヤー ヨイト ヨイヤ マツカ ドツ コイ サー ノ セー ああ

一の節 Am G Am

あ あ さー て はー この ば の み な さー ん へ

二の節 G Am Am G Am G

ちよーいと コレ でー ま し たー わ た く ウ シ イ は

本祭文 Am G Am Am G Am G Am G

これ だ け た こ オ でー あ り まー す けー れ イ イ どー イ イ イ

【事業名】②-5 ラクシノクラシ・マンガプロジェクト「京都本」（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 12 月 17 日 2026 年 1 月 14 日 2 月 12 日（木） 18 時～21 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 ・ ふれあい共生館 会議室
- 3 参加人数： 延べ 150 名
- 4 協力団体等： 実行委員会 「千本の赤」マンガプロジェクト
- 5 予算： 450,000 円 / 決算：445,500 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

（NPO くらしネット21の独自事業への支援）

冊子「ラクシノクラシ」を、現代を生きる人々の様々な人権問題と多文化共生の観点から教育資料・教材として活用し、大学を中心とする教育機関等との教育ネットワークを再構築した教育のまちづくりを支援する。

- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

「センターの事業としての範疇を超えた活動とならないように」（評価委員会）という指摘を踏まえて、来年度以降は提案業務の計画からは外し、地域の歴史・文化的背景を生かし発展させる事業としてマンガプロジェクトを進めていきたい。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと

楽只小学校教員 OB

ツラッティ教育の会

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

冊子「ラクシノクラシ」については多くの関係者からの関心も高く、「学校での教材としていかしたい」という要望が多い。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- マンガ化制作作業にあたっては、共生館 HAPS アーティスト・元製作者らの協力をいただき、多文化共生の視点から人権の将来展望を提言する内容を検討してきた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 「イキセン」としては、編集にかかわる資料収集・情報提供、取材協力、製本作業等について支援をしてきた。

4 今後の抱負

- 地域の歴史と伝統を、絵本のマンガ化制作を通して人づくり・まちづくり・多文化共生の観点から「ふれあい共生館」の各施設の協働を目指したい。

しかし、指定管理審査による「団体独自の活動とセンターの事業との棲み分けを明確にし、より広く北区全体を視野に入れた施設運営」を工夫するという指摘を踏まえて、次年度からは提案業務から外すこととなった。

事業風景の写真



マンガ千本の赤の制作
に関するアピール



北野天満宮での講演会・
フィールドワークへの
参加による情報交換

【事業名】③-1 子どもの教育支援ボランティア養成（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 8 月 14・21 日（木）13 時～17 時
2026 年 1 月 6・7 日 10 時～12 時 …他
- 2 開催場所： いきいき市民活動センター 会議室 ・ 児童館
- 3 参加人数： 児童・学生・スタッフ 計 70 名
- 4 協力団体等： 佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミ ツラッティ教育の会
- 5 予算： 101,680 円 / 決算：101,004 円

1 事業内容

- 佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミの協力により
 - ・ 児童生徒の理解の基本や障がいのある子どもへの理解
 - ・ 子どもの学習習慣や基本的な生活習慣の大切さについて
 - ・ 集団活動や仲間づくりの基本について
 - ・ 近隣小学校での授業参観と指導案の作成などの体験
 - ・ 子どもたちと書き初めや昔の遊び大会など、一緒に楽しむ
 - ・ 園庭を使つての小中学生とのバスケットボール交流 など

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・ ツラッティ教育の会（教員 OB）によるアドバイス

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- - ・ 支援の必要な子どもへの理解と支援のあり方について理解を深める。
 - ・ 大学生の将来展望に向け、教育と福祉のボランティアの重要性への理解を深める。
 - ・ 地域活動や市民活動のボランティアとしての実践力を身につける。

（2）事業実施による目標の達成度

- - ・ ツラッティ教育の会メンバーによる講義等も実施し、子どもの居場所づくりにつながる情報を共有することができた。
 - ・ 近隣の大学生を積極的に受け入れ、ボランティアとしての自発的な活動を支援することができた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
学校に行きにくい子ども・親の都合で十分に食事の取れない子どもにとって、学生ボランティアの必要性が高まっている。食事提供や学習支援のみならず、子どもたちにとって多様な支援を考えていきたい。

事業風景の写真



「よくわかる」学習の
ポイント

「子どもたちは、どん
なことで困っている
のかな?」



書初め大会

「大きな紙に
大きな筆で
元気いっぱい
書きました。」

【事業名】③・2「わんぱくキッズプログラムボランティア指導員養成」(タグラグビー)

(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025年6月8日 9月7日 1月25日 2月13日
(日) 10時～12時
- 2 開催場所：楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 各回 30名(団体)
- 4 協力団体等： 実行委員会(楽只児童館・保育所・体育振興会)
- 5 予算： 475,000円 / 決算：460,314円

1 事業内容

- ・京都市の北部におけるラグビーフットボール普及の拠点となる、またクラブチームの立ち上げを視野に入れた取組をめざし、障がいのある・なしに関係なく、自然に触れたり、自由に走り回ったりする機会を大幅に奪われた子ども達の感性・体力・コミュニケーション能力を回復させるべく取組を児童館、保育所、大学と連携して進めることを支援する。
- ・運動・球技を通したタグラグビークラブの設立のための体験会を支援し、加えて「親の会」設立を支援する。将来、発展的に地域子ども会化や居場所づくりに取り組む。

「体験会の内容」

- ・ラグビーボールに触れ、パスやタグ取りの楽しさを体験する。
- ・簡単なゲームをする。

(当日のタイムスケジュール)

8:30 スタッフ集合 10:00 開会 準備運動 体験活動 12:00 閉会 後片付

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・京都府タグラグビー協会の支援により、指導者を派遣していただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 地元でラグビーを経験したことのある保護者が多く、うまく子どもたちのサポートをしてくださっている。

(2) 事業実施による目標の達成度

- タグラグビーについての関心が高まっている。指導者養成と合わせて、広い地域からの参加を呼びかける。

4 今後の抱負

- 保育所園児から小学生まで、多くの子どもたちが参加している。協会の支援の下、指導ボランティア養成を進めるとともに、地域子ども会化や居場所づくりに取り組んでいきたい。

タグラグビー体験会の様子



楽只保育所 園庭



京都朝鮮第二初級学校
グラウンド



北いきセン
多目的ホール

【事業名】③-3「高齢者見守り・声かけ活動ボランティアリーダー養成」

(楽ちゃんキッズデリ)(市民活動支援・活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 11 月 29 日 12 月 20 日 1 月 24 日（土）9：30～11：30
- 2 開催場所： 楽只学区を 3 ブロックに分けて
- 3 参加人数： 60 名（5 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（社会福祉協議会・民生児童委員・老人福祉委員・自主防災会・共生館各団体）
- 5 予算： 120,000 円 / 決算：118,107 円

1 事業内容

- ・地域活動や市民活動の担い手の育成として、地域の独居高齢者を対象に年 3 回の配食サービスを行う。
- ・事前に案内状を作成・配布する中で、見守り活動と声かけ活動を行う社会福祉協議会・民生児童委員・老人福祉委員・自主防災会・共生館各団体・学生・スタッフの活動を支援する。
- ・配食の案内チラシの配布（75 歳以上の独居高齢者）対象者全員
- ・当日 申込者の数と住所の確認
お弁当と手拭き・お茶の準備
グループに分かれて配食
児童館に戻って、配食の振り返りを行う。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・以前は家庭科室で調理していたが、今は地元のお弁当屋さんの協力を得ている。
 - ・ふれあい共生館に関わる団体（HAPS・FUNAGORA）

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・世代間交流をしながら、企画・運営を支援し、若い世代に継承・発展を促し、自立・自走組織としての継続を目指す。地域の実態に目を向け、顔の見える関係性の構築・災害時の支援体制など地域に働きかける人材育成に取り組みながら、地域福祉を多世代で支援していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 「子どもたちの声掛けが温かい」と、高齢者には毎回たいへん好評である。

4 今後の抱負

- 元々は楽只小学校の人権教育からスタートした活動。今後も、地域と子どもたちをつなぐ活動として、いろいろな団体を巻き込んで継続していきたい。

事業風景の写真

子どもたちによる 配食サービス



「お弁当をどうぞ」

「お変わりありませんか」

【事業名】③-4 地域福祉ボランティア養成（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 10 月 18 日 11 月 15 日 1 月 17 日 3 月 28 日
(土) 13 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 10～15 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（居宅介護支援事業所まのあ・ライトハウス）
- 5 予算： 128,320 円 / 決算：124,378 円

1 事業内容

- 「準備会」の開催に向けての実行委員会への支援。
「そらいろのたね」委員会を立ち上げる。
日程調整・内容について・広報の仕方・当日の運営や進行について 等
地域で必要としている障がい者支援について(研修会)
- ・「プレ事業」（制作活動）の実施
紙工作などの制作活動をととして、障がい者の居場所づくりを進めると共に、
支援ボランティアの育成をめざす。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
ライトハウス・FDF ダンスチーム・放課後等デイサービス
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
令和7年度については、独自の広報はできていない（口コミによる）。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・福祉ボランティアや介助ボランティアの養成講座として人材開発・人材確保の支援を進め、福祉のまちづくりと福祉の仕事をマッチングさせ、自立的な活動の推進と自走化に向けて進んできている。

（2）事業実施による目標の達成度

- 「プレ事業」（制作活動）の段階ではあるが、確実に準備を進めている。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
2026年度からの本格的な実施に向けて、ボランティア養成もあわせて、スタッフの得意とする芸術分野での制作活動を具体的に進めていく。

事業風景の写真

「そらいろのたね」仮面・張り子で動物を作ろう ワークショップ



【事業名】③-5 地域の歴史・文化活動ボランティア養成（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 7 月 12 日（土）8 月 23 日（土）14 時～16 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 共生館和室 等
- 3 参加人数： 30 名
- 4 協力団体等： 老人福祉委員 学生ボランティア 等
- 5 予算： 450,000 円 / 決算：449,383 円

1 事業内容

- ・高津本屏風の研究を柱に、資料収集・分析を協働する人材確保を支援する。
- ・地域の寺院の成立からの移り変わりについて調査研究を行う。
- ・地域のお年寄りから、地域の歴史・文化風俗についての聞き取りを行い、アーカイブ化をめざす。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
- ・老人福祉委員からの声掛け
- ・学生ボランティアのよるお年寄りの送迎のお手伝い 等

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・「ふれあい共生館」内のツラッティ千本と連携し、歴史的資料、記録保存を活かし、現代を生きる人々の様々な人権問題、地域の歴史・伝統・文化を研究、分析・検証・蓄積することによって、それらを生かした歴史・伝統のまちづくりを推進し、歴史・文化に関わろうとするボランティア養成を支援する。

（2）事業実施による目標の達成度

- ・地域のお年寄りが一堂に会し、子どもの頃の思い出や家族のことなどいろいろお話ししていただき、貴重な資料として記録することができた。
- ・「舟木本」（国宝第 2 号）に関わる資料を入手することができ、比較研究することができた。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
今年は 1626 年の後水尾天皇の「寛永行幸」から 400 年にあたり、京都においては何かと関心も高まっている。しかしながら、評価委員会の「特定の分野に偏らないように」という指摘を踏まえて、次年度からは提案業務から外すこととなった。

事業風景の写真



お年寄りの会

「ふれあい共生館」に集まっていたいただき、昔の地図やスライドを見ながら地域の歴史をふりかえり、楽しいひと時となりました。



紹介パンフレット

洛中洛外図屏風高津本について解説したパンフレットを作成。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：4,235,880円（前年度比100.8）4,201,519

〔内訳 会議室等：4,033,000円
附属設備：202,880円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：0円〕

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

自転車置き場1 利用者満足度の把握状況

(1) 全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和7年11月実施

【調査項目】窓口サービス

(2) センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

(1) 全センター共通窓口サービス

満足	ふつう	不満	無回答
53.7%	44.4%	1.7%	0.2%

(2) センター独自アンケート

○結果の概要（概ね満足）

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したものを記載してください。

「各部屋への案内が分かりにくい」 → 館内の案内表示を増やした。

「自転車置き場にバイクが止めてある」 → バイク置場の案内。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

提案業務に関わる各実行委員会の話し合いも順調に運び、自走化が進んでいる。

- 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

予約システムが新しくなったため、予約済を入力するのに時間がかかる。

左京東部いきセンの閉鎖に伴い、多目的ホールの利用が増えている。

- 次年度に向けた対応について記載してください。

指定管理審査・評価委員会による「団体独自の活動とセンターの事業との棲み分けを明確にし、より広く北区全体を視野に入れた施設運営」を工夫する。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。
- 例）重大な事故やコンプライアンス違反等 特になし
- 例）年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業 なし（すべて実施）

【締め切り】

5月22日（金）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙18部提出

※ 収支決算書は、5月15日（金）までに提出してください。

京都市 北 いきいき市民活動センター
指定管理料等に関する収支決算書（令和7年度分）

指定管理者名 NPO法人くらしネット2
代表者名 後藤 直

①指定管理業務の収支状況

項目	内訳	予算額	執行額	差引
指定管理料収入		19,342,280	19,342,280	0
利用料金収入		4,200,000	4,235,880	35,880
	会議室等	4,000,000	4,033,000	33,000
	スモールオフィス	0	0	0
	付属設備（自主事業を除く）	200,000	202,880	2,880
その他収入	光熱水費分担金	0	0	0
	個別事業参加費	0	0	0
	自動販売機電気料	24,000	24,000	0
				0
				0
当期収入合計		23,566,280	23,602,160	35,880
人件費		14,350,000	14,166,774	183,226
	職員2名	4,800,000	3,609,699	1,190,301
	非常勤職員12名	7,800,000	8,815,017	▲ 1,015,017
	法定福利費	1,300,000	1,298,111	1,889
	福利厚生費	450,000	443,947	6,053
光熱水費		2,730,000	2,637,751	92,249
	電気代	2,500,000	2,418,141	81,859
	ガス代	130,000	91,025	38,975
	水道代	100,000	128,585	▲ 28,585
施設管理費		0	0	0
	樹木剪定			0
	定期清掃等			0
	機械警備			0
	消防保守点検			0
	E V保守点検			0
	空調保守点検			0
	受水槽・高架水槽の清掃及び点検			0
	自家用電気工作物			0
	雑用水用給水設備			0
	建築設備点検			0
	空気環境測定等			0
				0

事務費		2,072,280	2,068,774	3,506
	電話代	320,000	297,438	22,562
	事務用品	950,000	933,588	16,412
	雑費	802,280	837,748	▲ 35,468
修繕費		250,000	462,050	▲ 212,050
	ガラス修繕	40,000	0	40,000
	掲示板・門扉修繕	90,000	362,500	▲ 272,500
	多目的ホール床ワックス	120,000	99,550	20,450
備品購入費（５万円以上の物品）		60,000	0	60,000
		60,000	0	60,000
				0
				0
租税公課		160,000	82,292	77,708
	源泉徴収税	160,000	82,292	77,708
				0
				0
その他		194,000	169,835	24,165
	賠償責任保険保険料	70,000	69,360	640
	諸会費	124,000	100,475	23,525
施設運営業務支出合計		19,816,280	19,587,476	228,804
市民活動支援・活性化事業費		3,750,000	3,685,835	64,165
	交流事業	1,200,000	1,166,195	33,805
	地域・社会貢献事業	1,275,000	1,266,454	8,546
	地域活動・ボランティア・活動家養成事業	1,275,000	1,253,186	21,814
				0
				0
サロン運営・活用事業費		0	0	0
	〇〇事業			0
	〇〇事業			0
	〇〇事業			0
その他	事業実施業務繰越			0
事業実施業務支出合計		3,750,000	3,685,835	64,165
当期支出合計		23,566,280	23,273,311	292,969
当期収支差額		0	328,849	328,849